

履 修 要 項

国 文 科  
英 文 科  
放 射 線 科

平 成 5 年 度

駒 澤 短 期 大 学

# 学 年 曆

## 前 期

- 4月8日(木) 入学式
- 9日(金) } 新入生オリエンテーション
- 12日(月) }
- 9日(金) } 在校生身分証明登録
- 16日(金) }
- 9日(金) } 在校生成績発表
- 10日(土) }
- 9日(金) } 体育実技II受講届(種目選択届)
- 10日(土) } 受付(学部2年次生)
- 12日(月) } 時事外国語受講届受付  
(経済学部3年次生)
- 13日(火) }
- 19日(月) } 在校生成績質疑応答
- 13日(火) } 前期授業開始
- 20日(火) }
- 23日(金) } 履修届受付(学部・短大)  
(学部により受付日が異なる)
- 19日(月) }
- 23日(金) } 春季健康診断(卒業年次生対象)
- 5月25日(火) }
- 6月10日(木) } 卒業論文論題受付(仏教・文学部の  
4年次生)(締切日は正午まで)
- 7月14日(水) }
- 20日(火) } 中間試験及び前期終了定期試験  
(授業平常どおり)
- 20日(火) } 前期授業最終日
- 21日(水) } 夏季休業第1日(9月15日まで)
- 21日(水) }
- 25日(日) } 体育実技II集中授業コース  
(学部2年次生)
- 23日(金) } 前期終了科目定期試験欠試届(追試  
験申込)受付締切
- 9月6日(月) }
- 10日(金) } 補講期間

## 後 期

- 9月16日(木) 後期授業開始
- 16日(木) } 前期終了科目定期試験成績発表(質  
疑応答)および再試験申込受付
- 17日(金) }
- 24日(金) } 外国語指定届受付(仏教・文<除英米  
文>・法学部・短大国文・英文の1年  
次生および昭和63年度以前入学の経  
済学部の2年次生)
- 30日(木) }

- 24日(金) } 専攻コース指定届受付
- 25日(土) } (歴史・社会学科の1年次生)
- 25日(土) }
- 10月1日(金) } 前期終了科目追・再試験  
(授業平常どおり)
- 4日(月) }
- 7日(木) } 秋季健康診断(卒業年次生以外対象)
- 15日(金) } 第111回開校記念日(全学休業)
- 27日(水) }
- 29日(金) } 転部・転科試験願書受付
- 25日(月) }
- 29日(金) } 編入学願書受付
- 11月20日(土) } 転部・転科試験
- 12月1日(水) }
- 10日(金) } 卒業論文受付(仏教・文学部の4年  
次生)(締切日は正午まで)
- 5日(日) } 編入学試験
- 20日(月) } 冬季休業第1日(1月7日まで)
- 20日(月) }
- 24日(金) } 体育実技II集中授業コース  
(学部2年次生)

## 平成5年

- 1月8日(土) 後期授業再開
- 14日(金) 後期授業最終日
- 17日(月) }
- 26日(水) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 27日(木) }
- 2月3日(木) } 定期試験(一般・外国語・保健体育  
科目)
- 4日(金) } 卒業論文口頭試問(仏教・文学部  
の4年次生)
- 4日(金) } 定期試験欠試届受付締切(学部4  
年次生・短大生)
- 4日(金) } 定期試験欠試届(追試験申込)受付  
締切(学部1~3年次生)
- 15日(火) }
- 19日(土) } 体育実技IIシーズン・コース(ス  
キー)(学部2年次生)
- 17日(木) }
- 18日(金) } 成績発表(質疑応答)および追・再試  
験申込受付(学部4年次生・短大生)
- 23日(水) }
- 3月1日(火) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)  
および追試験(学部1~3年次生)
- 19日(土) } 卒業者名簿発表
- 25日(金) } 卒業式

## 授 業 時 間

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

# 目 次

## I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制 ..... (1)
2. 授業科目の単位数 ..... (1)
3. 授業科目の区分 ..... (1)

## II 卒業に必要な単位数

1. 卒業に必要な単位数 ..... (2)
2. 卒 業 ..... (3)

## III 授業科目の履修方法

1. 一般教育科目の履修方法 ..... (3)
2. 外国語科目の履修方法 ..... (5)
3. 保健体育科目の履修方法 ..... (7)
4. 専門教育科目の履修方法 ..... (7)
5. 授業科目一覧表 ..... (8)
6. 他学部科目の履修方法 ..... (15)
7. 随意科目の履修方法 ..... (17)
8. 再履修科目の履修方法 ..... (17)
  - ※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法 ..... (17)
  - ※ 授業科目のコード番号について ..... (18)

## IV 履修科目の登録（履修届）

1. 履修科目の登録 ..... (19)
2. 履修届記入上の注意 ..... (20)
3. 授業時間 ..... (21)

## V 試験および成績評価

1. 定期試験 ..... (22)
2. 中間試験 ..... (22)
3. 追・再試験 ..... (22)
4. 受験心得 ..... (22)
5. 成績評価・単位認定 ..... (23)
6. 試験時間 ..... (23)

7. 成績発表 .....	(24)
VI 進級について .....	(25)
VII クラス制およびクラス主任 .....	(25)
VIII 教職課程・資格講座 .....	(26)
IX 診療放射線技師国家試験受験資格の取得について .....	(26)
X 事務取扱いについて	
1. 事務室の事務受付時間 .....	(27)
2. 休    講 .....	(27)
3. 掲示・連絡 .....	(27)
4. 問い合わせ .....	(27)
XI 学籍について	
1. 修業年限と在学年数 .....	(28)
2. 休    学 .....	(28)
3. 復    学 .....	(28)
4. 退    学 .....	(29)
5. 除    籍 .....	(29)
6. 懲    戒 .....	(29)
7. 編  入  学 .....	(29)
8. 再  入  学 .....	(29)
9. 留    学 .....	(30)
10. 学生氏名・保証人 .....	(30)
11. 学生番号 .....	(30)
XII 既修得単位の認定について .....	(31)
XIII 届書・願書について .....	(32)
XIV 各種証明書取扱い窓口 .....	(33)
試験実施規程（抜粋） .....	(34)
講義内容 .....	(37)

# I 単位制と学年制

## 1. 単位制と学年制

短期大学では単位制が採用されている。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することにより、各授業科目ごとに定められている単位を修得する制度である。また、学年制とは、単位制に基づく学修過程を国文科・英文科は第1学年から第2学年、放射線科は第1学年から第3学年の段階を追って計画的に修学し、一定の単位を修得すれば上級学年に進級していく制度である。

本学では、授業科目の履修と単位の修得を体系的、かつ合理的に進められるように単位制と学年制を併用した教育システムを採用している。

## 2. 授業科目の単位数

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して短期大学設置基準を基に学則において定めている。

## 3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

- |           |                          |             |
|-----------|--------------------------|-------------|
| 1. 一般教育科目 | (人文分野・社会分野・自然分野) ……………   | 選択必修科目      |
| 2. 外国語科目  | ……………                    | 必修科目・選択必修科目 |
| 3. 保健体育科目 | (講義・実技) ……………            | 必修科目        |
| 4. 専門教育科目 | (専門的知識を内容とする科目) ……………    | 必修科目・選択科目   |
| 5. 他学部科目  | (履修可能な他学部公開設置科目) ……………   | 選択科目        |
| 6. 随意科目   | (卒業に必要な単位に含まれない科目) …………… | 選択科目        |

- ※ 必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目  
選択必修科目 …… 数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目  
選択科目 …… 自由に選び履修できる科目

## Ⅱ 卒業に必要な単位数

### 1. 卒業に必要な単位数

#### 国文科

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	6	12	67以上
	社会分野	1~2	4		
	自然分野	1	2		
外国語科目		2	4	4	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	10	30	48	
	選択	-	18		

#### 英文科

##### A. 平成5年度以降入学生適用

##### 【一類】

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	6	12	67以上
	社会分野	1~2	4		
	自然分野	1	2		
外国語科目		3	6	6	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	10	30	46	
	選択	-	16		

##### 【二類】

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	6	12	67以上
	社会分野	1~2	4		
	自然分野	1	2		
外国語科目		3	6	6	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	11	30	46	
	選択	-	16		

## B. 平成4年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	6	12	67以上
	社会分野	1~2	4		
	自然分野	1	2		
外国語科目		3	6	6	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	11	32	46	
	選択	—	14		

## 放射線科

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	2	4	10	105以上
	社会分野	1	2		
	自然分野	1~2	4		
外国語科目		2	4	4	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	39	82	88	
	選択	—	6		

## 2. 卒業

国文科・英文科は2年以上、放射線科は3年以上在学して卒業に必要な単位を修得した者には、卒業を認定し、卒業証書を授与する。

## Ⅲ 授業科目の履修方法

各科の学生は、それぞれの教育課程から次のように授業科目を履修し、単位を取得しなければならない。

### 授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、「授業科目一覧表」(P. 8~P. 14)を参照のこと。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が示されている科目は、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし、再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない。
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

### 1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は特定の科目以外は1年次において所定の単位数・科目数を履修しなければならない。
- ロ. 国文科・英文科は人文分野「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次の必修科目とする。

なお、放射線科は「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」とも1年次の必修科目とする。

ハ、放射線科の「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」の授業は金曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

ニ、各科、一般教育科目の所要単位数・授業科目は次のとおりである。

一般教育科目の卒業所要単位数

科	人文分野	社会分野	自然分野	計
国 文	6 (3)	4 (1~2)	2 (1)	12 (5~6)
英 文	6 (3)	4 (1~2)	2 (1)	12 (5~6)
放 射 線	4 (2)	2 (1)	4 (1~2)	10 (4~5)

(注意) ( ) 内の数字は科目数

一般教育科目の授業科目および履修学年

科目名・単位数	人文分野					社会分野					自然分野									
	宗	宗	哲	倫	文	歴	法	社	文	法	心	一	一	一	一	生	地	心	情	生
	教	教		理	学	史	学	会	化	学	理	般	般	般	般	物	物	理	報	活
科	I	II	学	学	学	学	法	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	論	学
	2	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2
国 文	1 必	2 必	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	/	/	/	/	/	/	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年
英 文	1 必	2 必	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	/	/	/	/	/	/	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年
放 射 線	1 必	1 必	/	1 年	/	/	/	1 年	/	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	/	/	/	/	/	/

(注意) イ、「法学憲法（日本国憲法2単位を含む）」と「一般数学」は通年で、その他は半期の授業科目である。

ロ、上記表の『1必』『2必』または『1年』と年次の指定されている授業科目が本人の所属する科の開講科目である。

- (1) 1必 …… 1年次生の必修科目
- (2) 2必 …… 2年次生の必修科目
- (3) 1年 …… 1年次生の履修科目（2年次生の履修可）



## 2. 外国語科目の履修方法

### A. 国文科

- イ. 英語・ドイツ語・フランス語・中国語およびスペイン語のうち入学手続の際に指定した1か国語（1年次2単位・2年次2単位）4単位を選択必修とする。
- ロ. 必修とした科目以外の外国語の履修を希望するものは1か国語（1年次2単位・2年次2単位）4単位まで選択履修することができるが、この場合の単位は卒業に必要な単位に含めることができない。ただし、必修を英語以外の外国語にしたときは選択を英語とする。
- ハ. 1年次の9月24日（金）～30日（木）までの期間内に、2年次で履修する外国語の登録を必ず行うこと。
- なお、登録後の変更はできないので、十分考慮の上行うこと。

授業科目	単位	備 考
英 語 I	2	同一語を1年次I，2年次II とし合計2科目4単位を選択 必修
英 語 II	2	
ドイツ語 I	2	
ドイツ語 II	2	
フランス語 I	2	
フランス語 II	2	
中 国 語 I	2	
中 国 語 II	2	
スペイン語 I	2	
スペイン語 II	2	

### B. 英文科

#### 1年次の履修

4か国語のうち「英語I」と入学手続の際に指定した外国語Iの計2科目4単位を必修とする。

授業科目	単位	備 考
英 語 I	2	必 修
ドイツ語 I	2	入学手続の際指定した外国語 (1か国語)を必修
フランス語 I	2	
スペイン語 I	2	

## 2年次の履修

1年次で履修の2か国語のうち、いずれか1か国語1科目2単位を必修とする。

授業科目	単位	備 考
英 語 II	2	} 1年次で履修の外国語のうち 1か国語(1科目)を必修
ドイツ語 II	2	
フランス語 II	2	
スペイン語 II	2	

(注意) 1年次の9月24日(金)～30日(木)までの期間内に、現在履修の外国語(英語と他の1か国語)の中から2年次に履修する外国語(第1外国語)を指定し、登録すること。なお、登録後の変更はできないので、十分考慮の上行うこと。

また、登録をしない場合、外国語の履修ができなくなることもあるので、必ず行うこと。

## C. 放射線科

1年次に英語2単位、ドイツ語2単位の計2科目4単位を必修とする。

授業科目	単位	備 考
英 語	2	} 1年次2科目4単位を必修
ドイツ語	2	

※「英語」・「ドイツ語」の授業は金曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照)で行う。

### 3. 保健体育科目の履修方法

#### A. 国文科・英文科（1年次必修）

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は「保健体育理論」を1科目2単位、実技は「体育実技」を1科目1単位、計2科目3単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体育実技	1	通 年

※ 実技についての種目等の説明は、最初の授業に『体育実技受講要領』を配布して行うので、必ず出席すること。なお、当日の服装は普段着でよい。

#### B. 放射線科（1年次必修）

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は「保健理論」を1科目2単位、実技は「体育実技」を1科目1単位、計2科目3単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健理論	2	前期または後期
実 技	体育実技	1	通 年

※ 「体育実技」の授業は金曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

※ 実技についての種目等の説明は、最初の授業に『体育実技受講要領』を配布して行うので、必ず出席すること。なお、当日の服装は普段着でよい。

### 4. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は、必修科目と選択科目とに分かれ、次表による単位数・科目数を履修すること。

また、各年次で履修できる授業科目は「授業科目一覧表」のとおりになっているので、履修する授業科目の選択については、専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。

専門教育科目の卒業所要単位数

	国文科	英 文 科			放射線科
		平成5年度以降入学生適用		平成4年度以前 入学生適用	
		一 類	二 類		
必修科目	30 (10)	30 (10)	30 (11)	32 (11)	82 (39)
選択科目	18	16	16	14	6
計	48	46	46	46	88

※（ ）内の数字は科目数

5. 授業科目一覧表

A. 国文科

科目区分	年次・科目・単位	1 年 次		2 年 次		履 修 方 法	卒 業 要 件		
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位		計	合 計 単 位	
一般教育科目	人文分野	宗 教 学 I 学 哲 学 文 倫 理 歴 史	2 2 2 2 2	宗 教 学 II	2	「宗教学 I」・「宗教学 II」の 2 科目を含めて 3 科目 6 単位を選択必修	12		
	社会分野	※ 法 学 社 会 人 類 文 化 類	4 2 2						4 単位を選択必修 ※教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」（日本国憲法 2 単位を含む）を必修とする。
	自然分野	生 物 学 地 心 理 学 情 報 科 学 生 活 科 学	2 2 2 2 2						1 科目 2 単位を選択必修
外国語科目	必修科目	英 ド フ 中 ス イ ン 国 イ ラ ベ	2 2 2 2 2	英 ド フ 中 ス イ ン 国 イ ラ ベ	2 2 2 2 2	5 か 国 語 の うち 1 か 国 語 を 選 び 1 年 次 I, 2 年 次 II の 2 科 目 4 単 位 を 選 択 必 修	4		
	選択科目	英 ド フ 中 ス イ ン 国 イ ラ ベ	2 2 2 2 2	英 ド フ 中 ス イ ン 国 イ ラ ベ	2 2 2 2 2	1 か 国 語 1 年 次 I, 2 年 次 II の 2 科 目 4 単 位 まで 選 択 履 修 で き る が, こ の 場 合 の 単 位 は 卒 業 に 必 要 な 単 位 に 含 め る こ の 外 国 語 に し た と き は 選 択 を 英 語 と す る。			
保健体育	講義実技	保 健 体 育 理 論 技 術	2 1			2 科目 3 単位を必修	3		
専門教育科目	必修科目	国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	4 2 4 4 4	国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	4 2 4 4 4	10 科目 30 単位を必修	30		
	選択科目	※ 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	2 2 2 2 2	※ 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	2 2 2 2 2	※国文講読 I~V は, I~IV のうち 1 科目 2 単位, V を 1 科目 2 単位, 計 2 科目 4 単位を選択必修とする。			
門外教育科目	選 択 科 目	国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	4 4 4 4 4	有 職 故 実 書 道 集 実 編 集 務	4 2 2 2	18 単位以上を選択必修	18		
	選 択 科 目	※ 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	2 2 2 2 2	※ 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習 国 文 学 史 演 習	2 2 2 2 2	※教員免許状取得を希望するものは国文特別演習 I~III の中の 1 科目を履修すること。			
年次別履修制限科目数		17 科 目		15 科 目		半期科目（専門教育科目） 「文化概論」・「秘書概論」・「秘書実務」			

(注意) 本年度休講科目

「国文特別演習 II」・「国文特別演習 III」

◇履修上の注意事項

イ. 「国文演習Ⅰ」・「国文演習Ⅱ」・「国文学史Ⅰ」は、各科目とも先着順・定員になり次第締め切る。

なお、教務部に『単位履修届』を提出する前に、受講希望の科目担当の先生に本人が直接届け出て、『単位履修届』に捺印を受けること。

[担当の先生に届け出る日・時・場所については、教務部の掲示板に掲示するので注意すること。]

ロ. 「情報概論」の受講については、教務部に『単位履修届』を提出する前に、受講希望の科目担当の先生に本人が直接届け出て、『単位履修届』に捺印を受けること。

なお、受講希望者は最初の授業で受講者（30名）を決定するので、『単位履修届』用紙を持参し必ず出席すること。

B. 英文科

平成5年度以降入学生適用

【一類】

年次・科目・単位 科目区分	1 年 次		2 年 次		履 修 方 法	卒業要件		
	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位		計	合計 単位	
一般教育科目	人文分野 宗 教 学 I 哲 学 学 学 文 倫 理 史 学 学 学	2 2 2 2 2 2	宗 教 学 II	2	「宗教学I」・「宗教学II」の2科目を含めて3科目6単位を選択必修	12		
	社会分野 ※法社会学憲法学 社 会 人 類 学	4 2 2 2						4単位を選択必修 ※教員免許状取得しようとするものは「法学憲法」（日本国憲法2単位を含む）を必修とする。
	自然分野 生 地 物 学 学 心 情 報 科 学 学 生 活 活 動 概 論 学	2 2 2 2 2			1科目2単位を選択必修			
外国語科目	英 ド フ ス ド フ ス イン ラ ペ イ	2 2 2 2 2	英 ド フ ス ド フ ス イン ラ ペ イ	2 2 2 2 2	・1年次：英語と入学手続の際に指定した外国語の2科目4単位を必修 ・2年次：1年次で履修の2か国語のうち、いずれか1科目2単位を必修	6	卒業に必要な単位数 67以上	
保健体育	講義 実技	保 健 体 育 理 論 技 術	2 1		2科目3単位を必修	3		
専門教育科目	必修科目	英 文 講 読 I 英 文 文 学 概 論 英 文 文 学 概 論 英 文 文 学 概 論 Freshman English	2 4 4 4 4 2	英 文 講 読 II 英 文 文 学 概 論 英 文 文 学 概 論 Spoken English	2 4 2 4 2 2	10科目30単位を必修		30
	選択科目	1・2年次	2年次		16単位以上を選択必修	16		
時 事 英 語 I 英 文 行 徒 語 論 英 文 秘 書 概 説 英 文 秘 書 概 説 英 文 秘 書 概 説 メジャー時評 イア西国情報	4 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4	英 文 行 徒 語 論 英 文 秘 書 概 説 英 文 秘 書 概 説 英 文 秘 書 概 説 メジャー時評 イア西国情報	4 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4	英 文 行 徒 語 論 英 文 秘 書 概 説 英 文 秘 書 概 説 英 文 秘 書 概 説 メジャー時評 イア西国情報				2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
年次別履修制限科目数	17 科目	15 科目	半期科目（専門教育科目）		「秘書概論」・「秘書実務」・「秘書英語」			











## 6. 他学部科目の履修方法

所属している科以外の科または大学の授業科目の履修を希望する学生は、次の要領で履修することができる。

なお、履修に際しては授業科目担当教員の受講許可を必要とする。

### イ. 履修科目

他の科または大学に開設されている授業科目のうち、他学部履修科目として公開された授業科目の中から所属する科が履修を認めた授業科目とする。（他学部履修科目一覧表P.16参照）

### ロ. 履修年次

1年次生からとし、授業科目開設する科の定める年次とする。

### ハ. 履修科目数

履修できる科目数は、卒業までに2科目8単位以内とする。

なお、その履修科目は所属する科の履修制限科目数に含める。

### ニ. 履修方法

- (1) 「履修要項」の講義内容を参考に、『他学部履修科目授業時間表』の中から履修科目を選択し、『他学部履修願』用紙に必要事項を記入の上、必ず最初の授業に出席し担当教員の受講許可を受ける。

なお、『他学部履修科目授業時間表』および『他学部履修願』用紙は、教務部⑩番窓口で配布する。

- (2) 『単位履修届』に記入し、『履修許可書』を添えて、所定の期日（単位履修届提出時）に提出すること。

### ホ. 履修登録上の注意

- (1) 所属する科の開設科目は、他学部科目として履修登録できない。
- (2) 他学部科目は、『他学部履修科目授業時間表』に記載の専用コード（005…）で登録すること。
- (3) 同一名称（開設学科が異なる）の授業科目は、1科目のみ履修することができる。

### ヘ. 再履修

他学部科目が不合格となり再度履修を希望する場合は、改めて前項の手続きを経なければならない。

なお、再履修の取扱いについては『再履修科目の履修方法』（P.17）を参照のこと。

### ト. 単位認定

修得した単位は、所属する科の専門教育科目の選択科目の単位として認定し、卒業所要単位に算入することができる。

※ 平成5年度、放射線科の学生は、他学部科目を履修することができない。

他学部履修科目一覧表

開学	設科	授業科目	単位	履修年次	備考	開学	設科	授業科目	単位	履修年次	備考
禅学	禅学	禅学特講Ⅰ	4	2・3		経済学	経済学	ロシア・東欧経済論	4	3	※イ 国文・英文科除く
		禅学特講Ⅱ	4	2・3				社会政策	4	1・2・3	英文科除く
		禅学特講Ⅲ	4	2・3				国民所得論	4	3	国文・英文科除く
		禅学特講Ⅳ	4	2・3				中国経済論	4	3	国文・英文科除く
		禅学思想史	4	2・3				アジア経済論	4	3	国文・英文科除く
		哲学史	4	2・3				日本経済史	4	1・2・3	英文科除く
仏教	仏教	インド仏教史	4	2・3		商学	商学	中小企業論	4	3	国文・英文科除く
		中国仏教史	4	2・3				教育経済論	4	3	国文・英文科除く
		日本仏教史	4	2・3				アメリカ経済論	4	3	国文・英文科除く
		日用経典	4	1・2・3				財務会計論	4	2・3	
		仏教美術	4	2・3				管理会計論	4	3	国文・英文科除く
国文学	国文学	現代哲学概説	4	2・3		政治学	政治学	会計監査論	4	3	国文・英文科除く
		上代文学	4	2・3				商業政策	4	3	国文・英文科除く
		中世文学	4	2・3				貿易論	4	3	国文・英文科除く
		近世文学	4	2・3				マーケティング	4	1・2・3	英文科除く
		近代文学	4	2・3				原価計算論	4	3	国文・英文科除く
		中国文学	4	2・3				労務管理論	4	3	国文・英文科除く
英米文学	英米文学	英文学特講Ⅰ	4	2・3		法律学	法律学	行政法Ⅱ	4	3	国文・英文科除く
		英文学特講Ⅱ	4	2・3				民法Ⅳ(1)	4	1・2・3	
		英文学特講Ⅲ	4	2・3				民法Ⅳ(2)	4	1・2	※イ 英文科除く
		英文学特講Ⅳ	4	2・3				比較憲法	4	1・2・3	英文科除く
		英文学特講Ⅴ	4	2・3				地方自治法	4	1・2・3	英文科除く・休講
		英文学特講Ⅵ	4	2・3				経済法	4	3	国文・英文科除く
		英米演劇特講	4	2・3				国際関係論	4	1・2・3	英文科除く
		米文学特講Ⅰ	4	2・3				西洋政治史	4	3	国文・英文科除く
		米文学特講Ⅲ	4	2・3				宣伝広告論	4	1・2・3	英文科除く
		時事英語	4	2・3	英文科除く			比較社会構造論	4	2・3	休講
地理学	地理学	地質学	4	3	国文・英文科除く	経営学	経営学	政 党 論	4	3	国文・英文科除く
		地形学Ⅰ	4	2・3				国際経営論	4	3	国文・英文科除く
		人口地理学	4	3	国文・英文科除く			経営統計	4	3	国文・英文科除く
		応用地理学Ⅰ	4	3	国文・英文科除く			保険経営論	4	3	国文・英文科除く
		文化地理学	4	3	国文・英文科除く			財務会計論	4	3	国文・英文科除く
歴史学	歴史学	日本仏教史Ⅱ	4	2・3	休講	短大 国文科	短大 国文科	経営分析論	4	3	国文・英文科除く
		日本史特講Ⅶ(近代)	4	2・3				税金論	4	3	国文・英文科除く
		東洋史特講Ⅹ(近・現代)	4	2・3				経営労務論	4	3	国文・英文科除く
		西洋文化史Ⅰ	4	2・3	休講			商業史	4	1・2・3	英文科除く
		考古学特講Ⅲ	4	2・3	隔年開講・休講			国文講読Ⅰ(上代)	2	1・2・3	国文科除く
		歴史哲学	4	2・3				国文講読Ⅱ(中古)	2	1・2・3	国文科除く
		哲学史	4	2・3				国文講読Ⅲ(中世)	2	1・2・3	国文科除く
		日本民俗学	4	2・3				国文講読Ⅳ(近世)	2	1・2・3	国文科除く
社会学	社会学	マスコミュニケーション	4	2・3		国文講読Ⅴ(近・現代)	2	1・2・3	国文科除く		
		産業社会学	4	2・3		国文特講Ⅴ(近・現代)	4	1・2・3	国文科除く		
		都市社会学	4	2・3		短英	英文タイプライティングⅡ	2	2・3	英文科除く	
		社会福祉発達史	4	2・3		時 事 英 語	4	1・2・3	英文科除く		
短大 放射線科	短大 放射線科				大科	英語演習Ⅰ	4	1・2・3	英文科除く		
					短大	計算機言語概論	2	1・2	放射線科除く 半期科目 ※ロ		
					短大	臨床放射線特論Ⅰ	2	2	放射線科除く 半期科目		

※イ、「ロシア・東欧経済論」旧「ソビエト経済論」ソビエト経済論の単位を修得した学生は履修できない。

※ロ、計算機言語概論については、機器数の関係上選抜により受講者を決定する。

## 7. 随意科目の履修方法

2年次および3年次（放射線科）で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授業科目	単位	備考
英会話Ⅱ	2	※ロ
英語LLⅡ	2	※ロ
英語（海外演習）	2	※イ

※イ。「英語（海外演習）」は、海外姉妹校で行なわれる短期留学セミナーで、1年次生より履修できる。なお、詳細については、講義内容（P.46）を参照のこと。

※ロ。「英会話Ⅱ」・「英語LLⅡ」の履修を希望する者は、最初の授業に『単位履修届』用紙を持参し、担当教員の捺印を受けること。

## 8. 再履修科目の履修方法

イ。再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を再度履修することをいう。この場合、授業科目名が同じであれば担当教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ。必修となっている科目については同じ授業科目を再履修するか、または再試験により単位を補わなければならない。

ハ。再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届け出なければならない。

ニ。放射線科の学生が外国語科目・宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱを再度履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。なお、体育実技を再履修する場合は、教務部⑨番窓口で相談すること。

ホ。1年次生は「再履修クラス」を履修することはできない。

### ※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法

『外国人留学生』・『海外帰国子女』学生対象の科目で、原則として1年次において履修すること。

○国文科の学生は、日本語科目を2科目4単位履修すること。

修得単位は、外国語科目の卒業所要単位に算入する。

また、日本事情科目を履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

○英文科の学生は、日本語および日本事情科目を各1科目2単位ずつ履修すること。

修得単位は、外国語科目・一般教育科目の各卒業所要単位に算入する。

○放射線科の学生が履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

○各所属学科の定める一般教育科目および外国語科目の代替できる単位の範囲を超えて履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

（注）詳細は、『日本語・日本事情科目の履修要項』を参照すること。

### ※ 授業科目のコード番号について

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 科目コードの区分

--	--	--	--	--	--

短大 科 系列 分野 一連番号

ロ. 短大・科番号は「学生番号 (P.30参照)」での説明のとおりである。

ハ. 系列・分野区分

授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1 (必修)・2 (選択)
社会分野		3
自然分野		4
外国語科目	2	
保健体育科目	4	
体育実技		1
保健体育理論, 保健理論		2
専門教育科目	5	
必修科目		1・2・3
選択科目		5・6・7・8
随意科目	7	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3・4・5・6・7

## IV 履修科目の登録（履修届）

### 1. 履修科目の登録

毎学年次所属する科、学年に開講されている授業科目のうち履修を希望する科目を授業時間表から選び、所定の『単位履修届』用紙に必要な事項を記入し届け出ることにより、通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数（制限科目数）は次のとおりとする。

科		年次			
		1年次	2年次	3年次	
国 文	新履修科目数	17科目	15科目	/	
	課程・講座登録者科目数	21科目	21科目		
英 文	新履修科目数	17科目	15科目		
	課程・講座登録者科目数	21科目	21科目		
放射線	新履修科目数	24科目	18科目		18科目

イ. 再履修科目および随意科目は、上記表の制限外とする。

（注）再度履修する科目であっても、前年度において履修登録していない場合は、新履修科目数に含める。

ロ. 国文科・英文科で課程・講座科目を履修する場合。

例) 1年次の場合

認める …… 新履修制限科目数 17科目以内+課程・講座科目数=21科目

認めず …… 新履修制限科目数 18科目以上+課程・講座科目数=21科目

ハ. 放射線科で「診療放射線技師国家試験」受験資格取得希望者は、卒業所要単位数(105単位)を取得すれば受験資格が得られる。

ニ. 放射線科2年次・3年次の病院実習の科目は制限外とする。

ホ. 実験ⅠA～ⅠDは実験Ⅰとして制限科目数上は1科目とする。ただし、履修届には実験ⅠA～ⅠDそれぞれ1科目として記入し合計科目数に含む。実験Ⅱ・Ⅲについても同様とする。

ヘ. 半期科目も1科目とする。

### II) 登録上の注意

イ. 履修届は必ず本人が記入捺印し、指定された日時に学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は、学業の意志のないものとして処理する。なお、指定日時に提出できないものは事前に教務部⑨番窓口で相談すること。）

ロ. 履修届は、4月20日(火) 9時30分から16時まで教務部臨時窓口で受付ける。

ハ. 所属する科以外の授業科目は登録できない。ただし、他学部履修科目(P.16参照)は、履修登録できる。

また、国文・英文科で教職課程・資格講座資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが、その場合は『課程・各種講座授業時間表』（教職係窓口で配布）から履修し、教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講、受験しても単位は与えない。

ホ. いったん提出（登録）した履修科目の変更は認めない。

ヘ. 『単位履修届』用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

### Ⅲ) 履修確認表の配布

下記の日・時に教務部臨時窓口において履修確認表を配布する。

(記) 5月13日(水)・14日(木)…… 9:30~16:00 昼休み除く

履修届(本人控)と照合の上、誤りのある場合は、5月15日(金)~18日(月)までに教務部⑨番窓口で訂正すること。

※ 受付時間(9:30~16:00 昼休み除く, 土曜日は9:30~正午まで)

## 2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

曜日	時限	科目名	科目コード	担当者名	担当者コード
月	1	ドイツ語 I	812201	栗原万修	310
		~~~~~			
月	2	保健体育理論(前期)	814203	長濱友雄	A10
		保健体育理論(後期)			622
		~~~~~			
月	3	宗教学 I(後期)	810101	和田謙寿	978
		~~~~~			
月	4	国語表現法	815508	大室英爾	151
		古典文学概説	815511	川上順子	236
		~~~~~			
月	5	体育実技	814101	松村 誠	860
		~~~~~			

正しい記入例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担当	担当コード	
(1)	1		ドイツ語 I	8 1 2 2 0 1	栗原	3 1 0	
			保健体育理論(前期)	8 1 4 2 0 3	長濱	A 1 0	
	2		~~~~~				
			~~~~~				
	3		宗教学 I(後期)	8 1 0 1 0 1	和田	9 7 8	
4	○	国語表現法	8 1 5 5 0 8	大室	1 5 1		
5			体育実技	8 1 4 1 0 1	村松	8 6 0	

イ. 楷書体で正確に記入すること。

ロ. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。

ハ. 授業時間表のとおり記入すること。ただし、「担当」欄には、担当教員の姓のみを記入すること。

ニ. 半期終了の科目は「再履」から「担当コード」欄までの中央に点線(上記、正しい記入例参照のこと)を入れ、前期終了科目は上段に後期終了科目は下段に記入すること。

ホ. 再履科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。

ヘ. 履修届は電算機で処理しているため、下記の場合には、登録が無効となるので注意すること。

(1) 科目名・科目コード, 担当名(姓のみ)・担当コードが一致しない場合

(2) 時限を誤って記入した場合

(3) 判読できない数字で記入した場合(例として間違い易い数字 0と6, 1と7)

(4) その他, 不明瞭に記入した場合

ト. 体育実技の記入方法は、授業時間表に載っている科目コード・担当名(姓のみ)・担当コードを正しく記入すること。

チ. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。

リ. 履修届の本人控を正確に記入し、紛失ないように保管すること。



### 3. 授業時間

授業時間は、次のとおりである。

時 限	第 1 時限	第 2 時限	第 3 時限	第 4 時限	第 5 時限
時 間	9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	12 : 50～14 : 20	14 : 30～16 : 00	16 : 10～17 : 40

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月14日(水)～7月20日(火)に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月17日(月)～2月3日(木)に実施する。
- ロ. 正規の手続きを経て履修登録した授業科目のみ受験できる。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、論題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担当教員名・論題・科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとじた上で提出すること。  
なお、指定された日・時以外は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注意) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目担当教員が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I) 追 試 験

- イ. 追試験は、やむを得ない理由があり定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその理由を記入し、自分の全ての試験終了後直ちに届け出ること。〔締切日は前期7月23日(金)、後期2月4日(金)〕
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II) 再 試 験

- イ. 定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目1,000円とする。  
(注意) (1) 体育実技、外国語随意科目の追・再試験は行わない。  
(2) 前期終了科目の追・再試験は9月25日(土)～10月1日(金)に、後期および通年科目の追・再試験は卒業年次生・在校生とも2月23日(水)～3月1日(火)に実施する。

### 4. 受験心得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日・時・試験場(教場)で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 科・学年・学生番号・氏名の記入はペンまたはボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。

- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
- (1) 代人として受験したり、または代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机・壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作・メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。
- ワ. 学生証を忘れた場合は仮受験票により受験することができる。仮受験票の発行については、教務部⑨番窓口にて手続きをすること。

## 5. 成績評価・単位認定

イ. 定期試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)および不可(59点～0点)とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。

なお、素点に関する問い合わせは一切受付ない。

ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。

ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。

ニ. 再試験の成績評価は良(70点)以下とする。

## 6. 試験時間

定期試験実施時間(前期)			
1時限	9:20～10:20	4時限	14:40～15:40
2時限	10:50～11:50	5時限	16:10～17:10
3時限	13:10～14:10		

定期試験実施時間(後期)			
1時限	9:30～10:30	4時限	14:30～15:30
2時限	11:00～12:00	5時限	15:50～16:50
3時限	13:00～14:00		

追・再試験実施時間(前期)	
1時限	16:10～17:00
2時限	17:10～18:00

追・再試験実施時間(後期)	
1時限	9:30～10:20
2時限	10:50～11:40
3時限	13:00～13:50
4時限	14:10～15:00
5時限	15:20～16:10

試験実施規程(抜粋)が掲載されている(P.34)ので参照のこと。

## 7. 成績発表

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については、成績質疑応答期間内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし、評価の質疑については直接担当教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を提示すること。

前期成績発表                      9月16日（木），17日（金）

後期成績発表                      2月17日（木），18日（金）

”                      （在校生） 4月9日頃

## Ⅵ 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得単位数が基準単位数に達しない場合は原級とし、同一学年に留め置くものとする。

### 修得単位基準

#### A. 国文科・英文科

- イ. 1年次から2年次に進級する場合は、修得単位数が25単位以上とする。
- ロ. 修得単位数が24単位以下は原級留置とする。

#### B. 放射線科

- イ. 1年次から2年次に進級する場合は、1年次必修科目42単位のうち修得単位数が33単位以上とする。  
ただし、1年次の専門必修科目25単位のうち18単位以上を含むものとする。
- ロ. 2年次から3年次に進級する場合は、病院実習を除いた1・2年次必修科目74単位のうち修得単位数が62単位以上とする。ただし、1年次の専門必修科目25単位を含むものとする。
- ハ. 修得単位数が上記の基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

- ※ 各科目区分・分野における卒業所要単位を超える単位を除いた修得単位数を計算する。
- ※ 随意科目・課程・講座の修得科目を除く。

## Ⅶ クラス制およびクラス主任

- イ. 各年次、科毎にクラス制をとっている。
- ロ. クラスにはクラス主任（教員）が1名ずつおり、学生の学習指導、生活相談等にあたっているから遠慮なく相談されたい。

## VIII 教職課程・資格講座

短大（国文科・英文科）で開講されている資格取得のための課程・講座は、次のとおりである。

課程・講座名	開講年次	備 考
教 職 課 程	1年次より	教員資格取得のためのもので教職課程の所定単位を修得した者は、中学校2種の普通免許が取得できる。
学校図書館司書教諭講座	”	学校教育を充実することを目的とする学校図書館の専門職としての資格。

課程・講座の履修希望者は、入学年次の4月に課程・講座科目履修の登録をしなければならない。オリエンテーションのときに「教職課程・資格講座の履修要項」を配布し、履修等の説明を行う。

（授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること。）

また、教育実習前年ガイダンスは1年次の5月に行う。

## IX 診療放射線技師国家試験 受験資格の取得について

### 1. 診療放射線技師の免許

免許取得は毎年厚生大臣の行う試験に合格しなければならない。（官報告示）

### 2. 受験資格

短大放射線科において卒業に必要な単位を取得すること。

## X 事務取扱いについて

### 1. 事務室の事務受付時間

- イ. 事務受付時間は、9時から16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表等各申込の受付は、9時30分から16時までとする。

### 2. 休 講

- イ. 休講は担当教員より連絡があり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。従って、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、JR東京近郊区間（山手・中央・京浜東北）もしくは東急がストライキを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 3. 掲示・連絡

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 4. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。

## XI 学籍について

### 1. 修業年限と在学年数

- イ. 修業年限とは、短期大学の教育課程修了に必要な期間のことをいう。(本学の修業年限は国文科・英文科2年、放射線科3年)
- ロ. 在学年数とは、短期大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本学の在学年数は休学期間を除き4年(放射線科5年)と定めている。

### 2. 休学

傷病その他の事由で引き続き2か月以上修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければならない。

#### I) 休学の手続き

- イ. 休学願に添えて次の書類を提出すること。
  - (1) 傷病の場合は、医師の診断書
  - (2) 外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届
  - (3) その他の理由の場合は、保証人連署の休学を必要とする理由書
- ロ. 休学の手続き期限は当該年度の11月30日までとする。
- ハ. 休学理由が休学許可日より2か月未満の期間内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがある。

#### II) 休学の期間

- イ. 休学の期間は1学年を区分とし、休学の許可を受けた日から当該年度の3月31日までとする。
- ロ. 引き続き休学を要する特別な事情があるときは、許可を得てさらに1年に限り休学することができる。
- ハ. 休学期間は通算2年を超えることはできない。
- ニ. 休学が許可された年度は在学年数に算入しない。

#### III) 休学する場合の学費

休学を願い出る者は当該期の学費を納入していること。

休学願提出日	学費
4月1日～9月20日	I期(前期)分納入済のこと。(II期分免除)
9月21日～11月30日	I期(前期)分・II期(後期)分共納入のこと。

#### IV) 休学原級

休学を許可された者は、翌年度は現学年に原級留置とする。

### 3. 復学

- イ. 休学した者が復学する場合は、I期(前期)学費を納入の上、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得ること。
- ロ. 傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の証明書を添えること。



#### 4. 退 学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得ること。

- イ. 退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出ること。
- ロ. 退学願提出時に学生証を返却すること。
- ハ. 退学年月日は次のとおりとする。
  - (1) 当該期学費納入者 ……… 退学願提出日
  - (2) 当該期学費未納者 ……… 学費納入済学期の最終日

#### 5. 除 籍

次の事項に該当する者はこれを除籍する。

- イ. 在学年数を越えた者
- ロ. 休学期間を越えた者
- ハ. 学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

#### 6. 懲 戒

- イ. 本学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、情状により譴責、停学、退学の処分をする。
- ロ. 退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行う。
  - (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
  - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 7. 編 入 学

本短期大学卒業生（卒業見込者を含む）で、各学部学科の3年次に編入学を希望する者があるときは、選考の上入学を許可することがある。

ただし、編入学者の学年は、単位を修得した授業科目によっては、2年次となる場合がある。

#### 8. 再 入 学

本学を退学した者または除籍された者で、再入学を希望する者があるときは選考の上許可することがある。

- イ. 入学後1年未満で退学した者または除籍された者は対象としない。
- ロ. 退学または除籍後3年以内の者とする。（出願時を基準とする）
- ハ. 再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し4年（放射線科5年）以内とする。

## 9. 留 学

本学の学生で、外国の大学または短期大学の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経てこれを許可することがある。

イ. 履修した授業科目の修得単位については、本学において修得したものとみなし、卒業所要単位に算入することができる。

ロ. 留学期間は在学年数に算入する。

## 10. 学生氏名・保証人

イ. 学生氏名は、住民票記載事項証明書または外国人登録済証明書に基づき J I S 第 1 水準・第 2 水準文字で運用する。

ロ. 外国人登録済証明書に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得ること。

ハ. 通称名使用の許可を得た者は、本学在学中一貫して通称名を使用することとし、本学発行の証明書、成績表、各種名簿等はすべて通称名で表示する。

ニ. 保証人は原則として、父、母とし、やむをえない場合は独立の生計を営む親族あるいは縁故者とする。

ホ. 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとする。

ヘ. 学生・保証人の氏名・住所等に変更があったときは、すみやかに所定の変更届を提出すること。

## 11. 学 生 番 号

イ. 学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておくこと。

ロ. 学生番号は 6 桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせてある。

学生番号区分

--	--	--	--	--	--

⋮    ⋮    ⋮    ⏟  
 短 科 入    一  
 期 学 学    連  
 大 年 西    番  
 学 曆 暦    号  
   度    度

短期大学・科の番号

	短期大学	科
短 期 大 学	8	
国 文 科		1
英 文 科		2
放 射 線 科		3

(例) 1993年度入学・短大國文科13番の場合

8	1	3	0	1	3
---	---	---	---	---	---

⋮    ⋮    ⋮    ⏟    13  
 短 国 一    番  
 期 文 九    番  
 大 科 九    番  
   科    三    年  
   学    年    入  
   学    入    学

## XII 既修得単位の認定について

### イ. 新たに第1年次に入学した者

- (1) 他の大学または短期大学（外国の大学または短期大学を含む）を卒業または中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した者は、従前在学した大学等において修得した授業科目の単位のうち、一般教育科目、外国語科目および保健体育科目については、合計15単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認定を受けることができる。
- (2) 既修得単位の認定を受けようとする者は、申請書（所定様式）に成績（単位修得）証明書を添えて、教務部長に願い出なければならない。
- (3) 既修得単位の認定は、教務部長を経て当該教授会がこれを行う。

### ロ. 編入学者

従前在学中に修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書により当該教授会が認定する。

### ハ. 再入学者

従前在学中に修得した全授業科目の単位を認定する。

### ニ. 留学者

本学から外国の協定校・認定校へ派遣された学生が、留学先で修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書・履修要項等により当該教授会が認定する。認定した単位は、卒業所要単位の算入される。

## ⅩⅢ 届書・願書について

（教務部扱いのもの）

種 類	要 領 （ 必 要 書 類 ）	本人 印	保証 人印	取扱 窓口	
届       書	単 位 履 修 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・各年度に単位修得しようとする授業科目を指定 期日に必ず届け出ること</li> </ul>	要	不要	掲示
	欠 試 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・本人履修全科目の試験終了後直ちに届け出ること （締切日は掲示参照）</li> </ul>	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・戸籍抄本添付</li> <li>・変更後1週間以内</li> </ul>	要	不要	⑤
	本籍地（都道府県 名）変更届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・住民票記載事項証明書添付</li> <li>・変更後1週間以内</li> </ul>	要	不要	
	保証人変更届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・在学誓書（保証書）添付</li> </ul>	要	要	
	保証人住所変更届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・変更後1週間以内</li> </ul>	要	不要	
	死 亡 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・死亡が証明できる書類（写し可）添付</li> </ul>	/	要	
願   書	休 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・傷病による場合は、医師の診断書添付</li> <li>・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在 留期間を証明する書類および在留地届</li> <li>・その他の場合は、保証人連署の理由書</li> </ul>	要	要	⑤
	復 学 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・傷病による休学をした場合は、医師の通学可能 である証明書添付</li> <li>・4月10日までに提出すること</li> </ul>	要	要	
	退 学 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり</li> <li>・学生証添付</li> </ul>	要	要	

## XV 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教務部④番	在学者にかかわる 証明書 1通200円 （英文 500円）  卒業者にかかわる 証明書 1通300円 （英文 600円）
成 績 証 明 書		
卒 業 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
教職・講座単位修得（見込）証明書		
そ の 他 の 諸 証 明 書		
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口で申し込むこと。発行は原則として2日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から9月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

※ 成績証明書は、卒業年次生以外は原則として発行しない。

## 試験実施規程（抜粋）

（昭和59年7月13日制定）

### （目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験（以下「追試験」という。）病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。
- (1) 学部1・2・3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をとまなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験届及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき。
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき。
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき。
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき。

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(59点～0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

この規程は、昭和59年7月13日から施行する。





## 講 義 内 容 目 次

一般教育科目（共通） .....	(40)
保健体育科目（共通） .....	(44)
随 意 科 目（共通） .....	(45)
国 文 科 .....	(48)
英 文 科 .....	(58)
放 射 線 科 .....	(68)
他学部履修科目（共通） .....	(79)

### 〔 卷 末 〕

教職および資格講座  
（国文科・英文科）



## 一般教育科目（共通）

### 人文分野

宗教学Ⅰ（国）（高橋 秀栄）	40
宗教学Ⅰ（英）（松田 文雄）	40
宗教学Ⅰ（放）（志部 憲一）	40
宗教学Ⅱ（国）（高橋 秀栄）	40
宗教学Ⅱ（英）（鈴木 格禅）	40
宗教学Ⅱ（放）（志部 憲一）	40
哲学（国・英）（国嶋 一則）	40
倫理学（国・英・放）（国嶋 一則）	41
文学（国）（熊崎 久子）	41
文学（英）（田澤 英藏）	41
歴史学（国・英）（山口 一之）	41

### 社会分野

法学憲法（国）（長谷川 日出世）	41
法学憲法（英）（光田 督良）	41
法学（放）（織田 晃子）	41
社会学（国・英・放）（橋爪 敏）	42
文化人類学（国・英）（佐藤 憲昭）	42
心理学（放）（篠原 英壽）	42

### 自然分野

地学（国・英）（宇和川 正人）	42
生活科学（国・英）（田島 隆）	42
心理学（国・英）（篠原 英壽）	42
情報科学概論（国・英）（杉田 徹）	43
生物学（国・英）（清水 善和）	43
一般生物学（放）（清水 善和）	43
一般数学（放）（清水 忠良）	43
一般物理学（放）（清水 忠良）	43
一般化学（放）（田島 隆）	43

## 保健体育科目（共通）

保健体育理論（国・英）（村松 誠）	44
保健体育理論（国・英）（三幣 晴三）	44
保健理論（放）（吉田 稔）	44

## 随意科目（共通）

英会話Ⅱ（P. A. Bendinelli ・ T. A. Grange W. Hubbard ・ D. J. Nolan J. K. Wells ・ P. Ziegler）	45
英語LLⅡ（T. J. Cogan ・ 岩山 義春 大庭 直樹）	46
英語（海外演習）	46

# 一般教育科目(共通)

## 人文分野

### 宗教学 I (国)

高橋秀栄

仏教の開祖であるブッダの生涯と思想に視点を置き、日本の文学作品にみられる宗教関係の記述にも関心を払いながら、「宗教とは何か」「仏教とは何か」をさぐっていききたい。

〔教科書〕必要に応じてプリントを配布する。

### 宗教学 I (英)

松田文雄

人間生活と宗教とのかかわりあい、宗教学の学問的領域その研究方法、宗教の起源論、宗教の分類等について概説し、さらに史上にあらわれた宗教現象、特に世界宗教 (Universal Religion) といわれる仏教・キリスト教・イスラーム教等について各説する。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

### 宗教学 I (放)

志部憲一

釈尊の生涯を中心として、仏教の発生とその伝播を説明する。また仏教の基本思想を平易に解説する。

〔教科書〕水野弘元著『仏教の基礎知識』(春秋社) ¥1,545

### 宗教学 II (国)

高橋秀栄

この講座では、日中両国の禅宗史上の名僧の伝記や逸話、墨跡・宗教行事などをとりあげながら、禅を求めた人々の生きざまを発掘し、「禅とは何か」をさぐっていききたい。

〔教科書〕必要に応じてプリントを配布する。

### 宗教学 II (英)

鈴木格禅

仏教ないし禅の歴史や伝統を軸にしなが、できるだけ広く、且つ具体的な問題をえらび、これを「人間の学」として、共に考え一緒に学んでゆきたい。

〔教科書〕本学禅研究室編『宗教学 II』(更生社) ¥1,950

### 宗教学 II (放)

志部憲一

禅の基礎知識を中国禅の発生と展開の上で説明する。また日本への禅伝来とその果たした役割を、思想・文化の面から具体的に解説する。

〔教科書〕曹洞宗青年会編『禅へのいざない』第三巻-日本仏教と禅-(大東出版社) ¥2,650

### 哲学 (国・英)

国嶋一則

哲学は生きるための支え、拠り所を求めつつ、同時にそれが確かめられた学問的知識であることを求める。その意味で、哲学は諸学と経験の基礎づけをめざし、それにより生きることを学ぶものである。授業では、最初、この哲学的思索がいかに行われ、いかなる問いが立てられねばなら

ないか、について一般的な要点を説明する。それを、更に、具体的に過去の哲学の営みを通して検討し、現代的視点から過去の哲学 — 古代ギリシア哲学から現代哲学にいたるまで — の意味を学ぶことにする。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 歴史学(国・英)

山口 一之

この科目は半期授業であるので、講義時間数に合せ、近代の日本を象徴するような事例を選んで、お話ししようと思っている。

## 倫理学(国・英・放)

国嶋 一則

## 社会分野

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理(人生観)や世界の原理(世界観)に基づく行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主要な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の確立に努める。哲学思想の基礎的概念や考え方の解明を重視し、教材の重要な個所を解説して読解力を養成する。

〔教科書・参考書〕その都度指示する。

## 法学憲法(国)

長谷川 日出世

前期は、法の基礎的概念の分析、後期は、日本国憲法について、我々との具体的係わり合いを検討する。

## 文学(国)

熊崎 久子

東欧の文学を中心に世界文学の流れを、政治・思想・宗教の変遷等を背景に概観する。

〔教科書〕教場で説明します。

## 法学憲法(英)

光田 督良

「法」はマイナスなもの、怖いものなど、日常生活においてよく見聞きする「法」という言葉のイメージは決してよいものとは言えない。しかし、私たちは「法」とかかわりなく社会生活を送ることができない。「法」は、私たちの生活にとって必要不可欠なものである。そこで、本講座では、「法」とは何か、ということを中心に知識としてでなく、いろいろな観点から考える。その際、主として日本国憲法の保障する基本的人権を例にとりながら、日常生活とのかかわりを考えながら、具体的に検討する。

〔教科書〕小林弘人・松村 格『法学・憲法』(八千代出版)

〔参考書〕六 法

## 文学(英)

田澤 英藏

日本近代文学の文章の変遷を概観しながら、日本文学の特徴について考察する。また、小説以外のジャンルに触れることもあるだろう。

〔教科書〕開講後に指示する。

## 法学(放)

織田 晃子

いまだ社会生活の経験の少ない学生に、法の役割や機能を理解させ、しかも興味をもたせるため

に、日常生活の中でおこるさまざまな法律問題、特に判例に現われた事例を多数とりあげて授業を進めたいと思っている。判決は人間社会の具体的な紛争解決をめざすものであり、そのなかにみられるさまざまな事実と判例理論は生きた社会そのものであるからである。

〔教科書〕阿南成一編『法学会案内』（青林書院）  
¥3,193

〔参考書〕共著『判例法学』（有斐閣ブックス）  
¥2,060

## 社会学（国・英・放）

橋 爪 敏

“社会現象”とは、結局のところ人間関係の問題であると言えよう。人と人が相互に作用し、そのつみ重なりとして、われわれの前に展開をする様々な、“社会現象”が生じてくるのである。家族、学校、会社、労働組合、政党、病院など、そして地域社会やひいては全体社会と呼ばれるような人間関係のネットワークがあらわれてくる。「社会学」とは、こうした“社会現象”をその主たる研究対象とする学問であって、高等学校までの「社会科」とはかなり性格を異にしている。そこで、本講義においては、このような社会学的アプローチの基礎を、テキスト等を参照しながら理解をしていくこととしたい。

〔教科書〕安藤喜久雄ほか編『生活の社会学』（学文社）

〔参考書〕高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）

## 文化人類学（国・英）

佐 藤 憲 昭

文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに諸民族の婚姻・家族・親族および世界観・宗教観などに関して、他の文化諸要素と関連させながら考えてみたい。

〔教科書〕村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』（有斐閣）¥1,545

〔参考書〕授業中に適宜紹介する。

## 心理学（放）

篠 原 英 壽

人とは何か、という問題を心理学的立場からア

プローチし、解説してゆきたい。しかしこの講座は半期の開講科目であるため、視点を人格心理学及び臨床心理学に置き、上記の問題を扱ってゆく。  
〔教科書〕『心理学概説』（八千代出版）

¥1,500

## 自然分野

### 地 学（国・英）

宇和川 正 人

水、気、地および生物圏を通じて人類とのかかわり合いを主軸に解説する。あわせて、自然環境の保全に関する諸問題について考察する。

〔参考書〕その都度紹介する。

### 生活科学（国・英）

田 島 隆

文科系学生のために、衣食住という物質文明にどう対処したらよいかを考える糸口にする時間にしたい。

1. プロローグ（科学的なものの考え方）
2. ダイヤモンドに目が眩む（分子の構造）
3. ヤカンとフライパンの話（金属の性質）
4. カセットテープの音楽（家庭電化製品）
5. オナラは燃えるだろうか（有機化合物）
6. ヴィーナスのお臍（生活の中の計測学）
7. 上手な洗濯法（界面活性と洗浄の理論）
8. 美容食で美人になれるか（健康と食物）
9. おふくろの味・日本の味（調理と味覚）
10. エピローグ（横光利一の自然科学観）

〔教科書〕プリント使用

### 心 理 学（国・英）

篠 原 英 壽

人とは何か、という問題を心理学的立場からアプローチし、解説してゆきたい。しかしこの講座は半期の開講科目であるため、視点を人格心理学及び臨床心理学に置き、上記の問題を扱ってゆく。  
〔教科書〕『心理学概説』（八千代出版）

¥1,500

## 情報科学概論 (国・英)

杉田 徹

21世紀は高度情報化社会であると言われる。その社会の「キーワード」はもちろん「情報」である。従って、「情報」なる言葉の概念を正しく把握することは、その時代に生きる者にとって極めて重要な事であるといえる。普段、何気なく使う「情報」と言う言葉もよく考えてみると奥が深い。この講義ではそうした立場から「情報の定義、発生、伝達」、「概念とシステム」、「情報処理技術」、「情報化社会の問題点」などをとりあげてみたい。

## 生物学 (国・英)

清水 善和

生物としてのヒトは進化の1つの頂点に位置している。ヒトの体には約35億年の進化の歴史が刻み込まれており、“ヒトとは何か”を極めることが生物学の1つの究極目標であるとも言える。一方で、自分の体のしくみについてはあまりに身近かすぎて、基本的な知識さえ知らないている場合が多い。そこで本講義では生物としてのヒトに焦点をあて、さまざまな角度(細胞、発生、免疫、脳、性、遺伝など)からヒトの体のしくみについて考える。

[教科書・参考書] なし

## 一般生物学 (放)

清水 善和

生物としてのヒトは進化の1つの頂点に位置している。ヒトの体には約35億年の進化の歴史が刻み込まれており、“ヒトとは何か”を極めることが生物学の1つの究極目標であるとも言える。一方で、自分の体のしくみについてはあまりに身近かすぎて、基本的な知識さえ知らないている場合が多い。そこで本講義では生物としてのヒトに焦点をあて、さまざまな角度(細胞、発生、免疫、脳、性、遺伝など)からヒトの体のしくみについて考える。

[教科書・参考書] なし

## 一般数学 (放)

清水 忠良

(1)実数・関数および極限 (2)微分・およびその応用 (3)積分・およびその応用 (4)多重積分 (5)数値計算法

[教科書] 矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)

## 一般物理学 (放)

清水 忠良

(1)古典力学の発生 (2)古典力学の誕生 (3)古典力学の発達 (4)新しい力学の発生 (5)新しい力学の誕生と発達

[教科書] ワインバーグ『電子と原子核の発見』(日経サイエンス社) ¥2,890

[参考書] 原 康夫『詳解 物理学』(東京教学社) ¥2,266

## 一般化学 (放)

田島 隆

高校で「化学」を履修しなかった学生や、化学の不得意な学生にとって、「放射線写真学」「放射化学」「生化学」等の化学領域の科目の習得は困難である。また、その関連科目の理解にも支障を来すことになる。そこで高校の「化学」の復習を兼ねた「放射化学序論」の基礎として演習方式を取り入れて行う。

従って、高校で「化学」を履修しなかったり、履修しても充分理解していない学生は、是非選択履修して欲しい。

[教科書] プリント使用。

## 保健体育科目（共通）

保健体育理論（国・英）

村 松 誠

現代は健康の時代と言われる。健康に関する情報は世に溢れている。テレビを見れば、健康番組は毎日のようにあり、健康雑誌も数多く発売されている。健康が商品になる時代である。また、民間療法の様な健康法も数多くある。しかし、現代は健康の時代の不健康な時代とも言われる。このような状況の中で健康とは何であるのか、しっかりした健康観を持つことは大切なことである。このような問題意識のもとに、まず健康とは何かと言うことを考えて行きたい。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期である。しかし、現代の健康問題とされる成人病はこの時期から始まると言われている。このようなことから将来にわたっての健康を考えて行きたい。

〔教科書〕石川哲也他著『新編公衆衛生学』  
（東京教学社）¥1,854

〔参考書〕『国民衛生の動向』（厚生指標臨時増刊）（厚生統計協会）

保健体育理論（国・英）

三 幣 晴 三

体育・スポーツに関する全般的知識、特に生涯体育、スポーツの文化的視点からの考察、人間の運動に関する実際の考察を中心とし、さらに現在および将来にむけての健康的内容をとりあつかう。

〔教科書〕『保健体育概論』（カツサ出版）

¥1,700

保 健 理 論（放）

吉 田 稔

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好（well-being）な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。我が国では21世紀に向かって、本格的な高齢社会を迎えようとしている。今やその時代のニーズに対応した保健活動が求められる。ここでは総合的な健康に確保に必要な問題について考える。



## 随 意 科 目 ( 共 通 )

### 英 会 話 II

P. A. Bendinelli · T. A. Grange  
W. Hubbard · D. J. Nolan  
J. K. Wells · P. Ziegler

全学で6クラスを設け、学部および短大の2年次生以上を対象とします。1年次で英会話Iを履修した学生を対象とするクラスとそれ以外の初修者も参加できるクラスがあります。各担当者の講義内容 (syllabus) を参考にし、場合によっては受講希望クラスの担当教師に相談してください。

担当者、曜日、時限、クラスは時間割表で確認してください。

P. A. Bendinelli

A course for highly motivated students. (UPPER LEVEL II CLASS). Class will be student orientated, not teacher orientated. Details in first meeting.

T. A. Grange

Some mottoes : It is better to be forced to learn than not to know (AElfric) ; ... gladly would he learn and gladly teach (Chaucer) ; a little learning is a dangerous thing (Pope) ; it takes all kinds of in and outdoor schooling to get accustomed to my kind of fooling (Frost) ; please don't be quiet — in English (tag).

You must learn to listen. Carefully. And you must talk, talk, talk, talk, talk, and talk some more. To your classmates. To yourself. To me.

W. Hubbard

This course presents the basic as well as more advanced language skills that one needs for everyday communication in English. The emphasis is on class interaction, comprehension, and application. A variety of dialogs, situations, topics and EIKEN oriented material will be used.

[教科書] The text material will be decided depending on the ability of the students assessed at class time.

D. J. Nolan

At the core of this course is

- 1) a series of dialogues that are topical and should prove interesting to Japanese students, and
- 2) language activities that are meaningful and intellectually rewarding.

The material is advanced in the sense that it takes for granted the considerable familiarity Japanese students already have with English but recognizes a need to provide further opportunities to internalize what students have learned at lower levels.

The course specifically intends to help students prepare for the STEP tests (Eiken), either second level or higher, the targeted level depending upon the qualifications of those who apply.

Grades are determined on the basis of attendance, participation, and occasional short tests.

Text to be announced in class.

J. K. Wells

Hello students! Welcome to my English Conversation II course. My class will be an extension of English Conversation I as Hiroshi Shimizu leaves his American host family and travels in the U.S.

Printouts will be handed out in each class, so join in the fun of learning English conversation through role-playing. We may have some future actors/actresses in the class!

- Requirements : any 2nd year student  
Attendance : only 3 absences will be allowed  
Tests/Quizzes : 2 major tests (role-playing) ; announced quizzes  
Class size : 40 students

See you in class  
[教科書] Printouts (Books will not be necessary)

P. Ziegler

The course will consist of exercises designed to expand student vocabulary and

improve oral communication skills. A wide variety of materials will be used.

〔教科書〕英語の新聞記事のコピー・その他

## 英語 L L II

T. J. Cogan ・岩山 義 春  
大 庭 直 樹

英語 L L I のアドバンスト・コースとして全学で3クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語 L L I を履修しなかった学生も参加できるようにしてあります。最後までやり通す意欲ある学生を歓迎します。

担当者及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認して下さい。

T. J. Cogan

In this intermediate-advanced course we will study American English through video. The materials for this year will probably include a recent, popular movie and a news program. Since the class will be small, there should be ample opportunity for students to discuss in English what they see on the screen. The purpose of the course is to improve each student's ability to comprehend and speak English at a fairly high level. The course will be conducted entirely in English. I will announce the text on the first day of class.

岩山 義 春

聞き取りと表現力の向上をめざします。毎週話題となっているニュースを選び、それを繰り返し聞き、英文でアウトラインを書いてもらい、毎回提出してもらいます。書くことなくして英会話上達はありませぬ。毎回の熱心なクラス参加を強く望みます。

テキストはプリントを使用します。

大 庭 直 樹

聞き取りと表現力のアップを目的とした中級から上級コースのクラスである。テキストは、内容理解を中心としたヒヤリング用のものと日常英語を中心とした会話用のもの、2冊を使う。クラスは毎回、両方のテキストを使って行なう。

## 英 語 (海外演習)

この授業科目は、クインズランド大学・ブリティッシュコロンビア大学・エクセター大学における

短期留学セミナーでの四週間に及ぶ現地演習を中心として行なわれる英語随意科目である。受講対象学生は、全学部の1年次生から卒業年次生までとする。

現地演習後に三大学より受講生の成績・評価等が出される。仏教学部、文学部、短期大学の受講生には単位認定がなされる。

# 国 文 科

## 専門教育科目

国文学概論 (安藤 幸輔) ……………	48	国文特講Ⅲ (中世) (坂口 博規) ……………	53
国文学概論 (坂口 博規) ……………	48	国文特講Ⅳ (近世) (菅野 一雄) ……………	53
国文学史Ⅰ (佐原 作美) ……………	48	国文特講Ⅴ (近・現代) (大室 英爾) ……………	54
国文学史Ⅰ (鈴木 裕子) ……………	48	戯曲演劇概説 (清田 啓子) ……………	54
国文学史Ⅰ (清田 啓子) ……………	48	国文特別演習Ⅰ (上代, 中古, 中世, 近世, 近・現代) (安藤 幸輔) ……………	54
国文学史Ⅰ (藺部 幹生) ……………	48	有 職 故 実 (大塚 英子) ……………	54
国文学史Ⅱ (大室 英爾) ……………	48	中国文学概説 (功刀 正) ……………	54
国文学史Ⅱ (田澤 英藏) ……………	48	中国文学講読 (功刀 正) ……………	54
国文講読Ⅰ (上代) (佐原 作美) ……………	49	中国文学講読 (清水 浩子) ……………	54
国文講読Ⅱ (中古) (鈴木 裕子) ……………	49	中国文学講読 (中村 璋八) ……………	54
国文講読Ⅱ (中古) (藺部 幹生) ……………	49	書道実習Ⅰ (富岳 智猛) ……………	55
国文講読Ⅲ (中世) (坂口 博規) ……………	49	書道実習Ⅱ (富岳 智猛) ……………	55
国文講読Ⅲ (中世) (藺部 幹生) ……………	49	情報概論 (小林 眞峰) ……………	55
国文講読Ⅳ (近世) (菅野 一雄) ……………	49	編集実務 (長谷川 孝) ……………	55
国文講読Ⅳ (近世) (清田 啓子) ……………	49	ジャーナリズム研究 (三好 崇一) ……………	55
国文講読Ⅴ (近・現代) (石割 透) ……………	49	文化概論 (大室 英爾) ……………	55
国文講読Ⅴ (近・現代) (田澤 英藏) ……………	49	秘書概論 (湯浅 陽子) ……………	56
国文講読Ⅴ (近・現代) (尾形 国治) ……………	50	秘書実務 (森本 正恵) ……………	56
国文演習Ⅰ (安藤 幸輔) ……………	50		
国文演習Ⅰ (石割 透) ……………	50		
国文演習Ⅰ (大室 英爾) ……………	50		
国文演習Ⅰ (片山 晴賢) ……………	50		
国文演習Ⅰ (佐原 作美) ……………	50		
国文演習Ⅰ (坂口 博規) ……………	50		
国文演習Ⅰ (鈴木 裕子) ……………	50		
国文演習Ⅰ (清田 啓子) ……………	51		
国文演習Ⅰ (藺部 幹生) ……………	51		
国文演習Ⅰ (田澤 英藏) ……………	51		
国文演習Ⅱ (安藤 幸輔) ……………	51		
国文演習Ⅱ (石割 透) ……………	51		
国文演習Ⅱ (大室 英爾) ……………	51		
国文演習Ⅱ (片山 晴賢) ……………	51		
国文演習Ⅱ (佐原 作美) ……………	51		
国文演習Ⅱ (坂口 博規) ……………	51		
国文演習Ⅱ (鈴木 裕子) ……………	52		
国文演習Ⅱ (清田 啓子) ……………	52		
国文演習Ⅱ (藺部 幹生) ……………	52		
国文演習Ⅱ (田澤 英藏) ……………	52		
国 語 学 (片山 晴賢) ……………	52		
国 文 法 (片山 晴賢・古瀬 順一) ……………	52		
言語学概論 (飯島 周) ……………	52		
古典文学概説 (川上 順子) ……………	52		
近代文学概説 (石割 透) ……………	53		
児童文学 (吉田 司雄) ……………	53		
国語表現法 (安藤 幸輔) ……………	53		
国文特講Ⅰ (上代) (川上 順子) ……………	53		
国文特講Ⅱ (中古) (佐原 作美) ……………	53		

# 国 文 科

## 専 門 教 育 科 目

〔教科書〕有精堂編集部編『日本古典文学史』  
(有精堂)

### 国文学概論

安 藤 幸 輔

古代から現代に至るまでの日本文学を概観する。  
• 文学作品に現われた「自然観」「死生観」をみる。  
• 知的活動としての「笑い」「遊び」から日本人の精神状況をみる。  
〔教科書〕追って指示する。  
〔参考書〕その都度指示する。

### 国文学史 I

清 田 啓 子

上代から近世までの文学の流れを概観する。このクラスに参加する人が、各自好きな作品をもちよって、このクラスなりの文学史観が構築されればすばらしいと思う。  
〔教科書〕山岸徳平編『作品中心 日本文学史』  
(新典社) ¥927

### 国文学概論

坂 口 博 規

日本文学について、文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等を中心に講じ、日本文学を概観したい。  
〔教科書〕麻生磯次、松田武夫、市古貞次著  
『日本文学概論』(秀英出版) ¥1,800

### 国文学史 I

蘭 部 幹 生

上代から近世までの国文学の流れを概観しながら、各作品間の関連や史的 position 付けを確認する。出来るだけ実際の作品に触れるように心懸けたい。  
〔教科書〕神谷吉行・佐々木 衛・高木 博著  
『新日本文学史要説』(双文社出版)  
¥1,400

### 国文学史 I

佐 原 作 美

作品の一端にふれながら、上代から中古前期を中心に国文学の流れを概観していきたい。  
〔教科書〕山岸徳平編『作品中心 日本文学史』  
(新典社) ¥1,030

### 国文学史 II

大 室 英 爾

近代から現代にいたる文学の流れを概観する。主要な作品の“読み”を通して進めてゆくので、あらかじめ指示された作品を読んでおくことが受講の条件となる。  
〔教科書〕高木市之助『日本文学の歴史』  
(武蔵野書院)

### 国文学史 I

鈴 木 裕 子

国文学の流れを、古代後期の国文学史を中心として、実際に作品にふれながら概観する。

### 国文学史 II

田 澤 英 藏

日本の近代・現代の文学について、その史的展

開を講ずる。小説を中心として、前代からの連続と非連続、西洋文学からの影響などに留意しながら講義をすすめたいと思っている。

〔教科書〕平岡敏夫・東郷克美編『日本文学史概説・近代編』（有精堂）

### 国文講読Ⅰ（上代）

佐原 作 美

『万葉集』の中から代表的歌人である柿本人麻呂や山上憶良などの歌を中心に鑑賞しながら講読していきたい。

〔教科書〕土橋 寛編『作者別 万葉集』（桜楓社）¥1,600

### 国文講読Ⅱ（中古）

鈴木 裕 子

今年度は、『源氏物語』を、若紫巻から読む。本文を正確に読みながら光源氏の青春期の喜びや苦悩というものについて考えてみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『源氏物語』一（新潮社）

### 国文講読Ⅱ（中古）

蘭 部 幹 生

『大鏡』を読む。歴史文学の代表作に触れながら、当時の社会や文学について考えてみたい。テキストは特に指定しないので、全文載っているものであれば何でもよい。むしろいろいろなテキストを持つ受講生がいて、その場で比較検討ができればよいと考えている。なお、授業では関連作品も可能なかぎり読み進めたい。

〔教科書〕特に指定しない。  
〔参考書〕その都度指示する。

### 国文講読Ⅲ（中世）

坂 口 博 規

鴨長明の歌論書『無名抄』を読み、長明の和歌に対する考えをさぐり、あわせて『方丈記』を参考にしながら長明の生涯を考える。

〔教科書〕菊地良一・村上光徳・坂口博規共編『方丈記 無名抄』（双文社出版）  
¥1,800

### 国文講読Ⅲ（中世）

蘭 部 幹 生

『発心集』を読む。本作品は鴨長明の有名な説話集であるが、本講座では、著者の思想そのものよりも、一つ一つの説話が担っている歴史的背景や意味、及び他作品との関連について考えてみたい。

〔教科書〕特に指定しない。  
〔参考書〕その都度指示する。

### 国文講読Ⅳ（近世）

菅 野 一 雄

松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」を読んで、芭蕉が、旅の中に何を発見しようとし、どのような俳諧を作り上げて行こうとしていたかを探る。

〔教科書〕萩原恭男校注『芭蕉おくのほそ道』（岩波文庫）¥460

### 国文講読Ⅳ（近世）

清 田 啓 子

安永天明期の知識人の機智をあつめて成立した黄表紙を、その生成から完成、下降まで、作者の個性を追いながらたどってみたい。

〔教科書〕プリント

### 国文講読Ⅴ（近・現代）

石 割 透

芥川龍之介の中期の代表的な作品を読む。「地獄変」「奉教人の死」「毛利先生」「枯野抄」などから「蜜柑」「舞踏会」「秋」などの作品を主にとりあげる。授業で扱う作品は前もって読んでおくこと。

〔教科書〕『芥川龍之介全集』Ⅱ・Ⅲ（筑摩文庫）

### 国文講読Ⅴ（近・現代）

田 澤 英 藏

「吾輩は猫である」（夏目漱石）を通読する。

また、同じ頃にかかれた「倫敦塔」「カーライル博物館」などにも触れてみたい。

〔教科書〕開講後に指示する。

### 国文講読V（近・現代）

尾形 国治

明治・大正・昭和期の名作を1年間でおおよそ12～3作品じっくりと読む。作者とその時代、生い立ちの問題、さらにはその文学的特色と可能性、その限界など、さまざまな角度から考察してみたいと思う。

〔教科書〕各種文庫本

### 国文演習I

安藤 幸輔

近代の小説（主として短篇小説）を扱う。時代を追って代表的な作家の作品を〈主人公〉の生き方を中心に考えてみたい。〈家〉と〈自我〉の問題。〈愛のかたち〉の問題が主たるものとなろう。

『近代の短篇小説』を終ったあと、現代の作家の作品に焦点を当てて考える。章太郎、淳之介、哲郎や女流新人の作品など。

〔教科書〕『近代の短篇小説』（菁柿堂）

¥1,500

〔参考書〕その都度指示する。

### 国文演習I

石割 透

近代文学の中の短篇小説を幾つか読んでいく。幸田露伴「対欄體」夏目漱石「夢十夜」泉鏡花「龍潭譚」内田百閒「冥途」森鷗外「うたかたの記」など。作品ごとに報告者を決め、その発表により授業を展開する。

〔教科書〕『短編の倫案2・近代小説のなかの異空間』（有精堂出版）¥2,000

〔参考書〕授業時に指示する。

### 国文演習I

大室 英爾

宮澤賢治の童話を読む。作品における主題や構想の卓抜さ、豊かさを味わいながら、詩及び短歌

を含めた賢治文学の特質を考える。

〔教科書〕『注文の多い料理店』『新編 風の又三郎』『新編 銀河鉄道の夜』  
『宮沢賢治詩集』（いずれも新潮文庫）

### 国文演習I

片山 晴賢

中世の作品を読み、国語の基礎的な力をつけるため、発表者の報告にもとづいて授業を進めたい。

〔教科書〕授業開始時に指示する。

### 国文演習I

佐原 作美

物語の祖と称される『竹取物語』の写本の複製本を用いて演習を行う。

〔教科書〕片桐洋一編『竹取物語』（新典社）

¥824

『実用変体がな』（新典社）¥600

### 国文演習I

坂口 博規

阿仏の安嘉門院に女房として仕えていた若き日の失恋の記『うたたね』を読む。

〔教科書〕永井義憲校注『うたたね』（新典社刊）

¥824

### 国文演習I

鈴木 裕子

『伊勢物語』を読む。一つの理想的な男性像として描かれた昔男の人生をたどりながら、歌物語のおもしろさを味わいたい。授業は、発表者の報告を中心として進める。

〔教科書〕校注古典叢書『伊勢物語』（明治書院）

〔参考書〕かな研究会編『実用変体がな』（新典社）

### 国文演習 I

清 田 啓 子

「世間胸算用」を読む。西鶴最晩年の傑作とされるこの作品は、作者の人間、社会観照の目が行届き、現代の私たちにも考えさせられるポイントを多々含む。宝探しの感覚で西鶴に挑戦してみよう。

〔教科書〕神保五彌編『世間胸算用』

### 国文演習 II

石 割 透

志賀直哉「暗夜行路」有島武郎「或る女」佐藤春夫「田園の憂鬱」谷崎潤一郎「痴人の愛」を読む。報告者を毎時間2人ほど決めて、その報告により授業を進めていく。

〔教科書〕それぞれ岩波文庫のを使用。

### 国文演習 I

蘭 部 幹 生

院政期から中世にかけて著された『古今和歌集』の注釈書類を読み、古代から中世にかけての文学理念や歌学の在り方その他について考える。授業は受講者の自発的研究発表を中心として進める。

〔教科書〕プリントを用いる。

〔参考書〕その都度指示する。

### 国文演習 II

大 室 英 爾

樋口一葉の小説。「大つごもり」「たけくらべ」「にぎりえ」「十三夜」「わかれ道」を初出誌本文にしたがって読む。

〔教科書〕山本 洋編『樋口一葉集』（和泉書院）

### 国文演習 I

田 澤 英 藏

近代の文芸評論（小説論、詩論、短歌論、俳句論）を読む。それぞれが関心をもつ領域の評論文を選んで、調べ、考えた結果を発表する。そういう方式で演習をすすめたい。

〔教科書〕開講後に指示する。

### 国文演習 II

片 山 晴 賢

中世の文学作品から国語の基礎学力をつけるため、発表者の報告にもとづいて授業を進めてゆきたい。

〔教科書〕授業開始時に指示する。

### 国文演習 II

安 藤 幸 輔

現代の代表的〈小説〉を時代順に扱ってゆきたい。主として短篇小说を〈方法〉の面から考えるようにしてゆきたい。

『昭和の短篇小说』が終ったあと、直哉、康成、由紀夫などの作家の作品に焦点を当てて考える。現代の女流新人の作品も取り上げる。

〔教科書〕『昭和の短篇小说』（菁柿堂）

¥1,500

〔参考書〕その都度指示する。

### 国文演習 II

佐 原 作 美

平安朝初期に成立したわが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』を対象に演習を行う。

〔教科書〕新潮日本古典集成『日本霊異記』

（新潮社）¥2,200

### 国文演習 II

坂 口 博 規

後深草院の後宮に生きた二条の回想の記『とはずがたり』を読む。院の寵愛を受けながら同時に三人の男性に愛され、後院御所を退いて諸国を行脚する数寄の半生を考える。

〔教科書〕次田香澄校注『とはずがたり』（明治書院）¥1,300

## 国文演習Ⅱ

鈴木裕子

古代、多くの男子官人たちは漢字漢文で日記を記した。そのような「備忘録」としての日記とは異なり、女性が自らの意志により自らの半生を仮名で生々と綴った『蜻蛉日記』は、文学史上特筆すべき作品の一つであろう。発表者の報告を中心に、精読しながら現代女性の意識にも通じるものを探ってみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『蜻蛉日記』（新潮社）

## 国文演習Ⅱ

清田啓子

近世前期、時代を同じくして活躍した西鶴と近松には同一の素材を用いた作品がいくつかある。その作品を取りあげ、作者の資質、ジャンルの違いによって、どのような作品に仕上げられているか、追求してみたい。

〔教科書〕松崎仁編『西鶴と近松』（和泉書院）

## 国文演習Ⅱ

藺部幹生

『世継物語』を読む。本書は『大鏡』や『栄華物語』といった歴史物語の異名としてのそれではなく、『小世継物語』ともいわれ、また異本に『宇治大納言物語』と題された伝本も存する説話集である。この作品は『枕草子』・『栄華物語』・『古本説話集』などといった平安時代から中世へかけての諸作品と密接な関係を持ちながらも、その存在価値については十分な認識がなされているとは言い難い。本講座では、受講生の自発的な研究発表を中心として、古典文学の研究法の獲得と作品そのものへのアプローチを試みてみたい。

〔教科書〕プリント  
〔参考書〕その都度指示する。

## 国文演習Ⅱ

田澤英藏

夏目漱石の「三四郎」と森鷗外の「青年」を読む。作品を熟読し、鷗外と漱石を比較して考えることもできるだけしてみたい。

〔教科書〕開講後に指示する。

## 国語学

片山晴賢

現代日本語の持つ特質・実態・問題点を歴史的に遡って考えてみたい。

〔教科書〕『国語学概説』（双文社出版）

¥1,800

## 国文法

片山晴賢・古瀬順一

助詞・助動詞を中心に、古典解釈に必要な基礎学力養成に主眼をおきたい。詳細は授業開始時説明したい。

〔教科書〕授業開始時に指示する。

## 言語学概論

飯島周

言語研究の歴史、方法、分野について略述し、“ことばの仕組み”や“ことばのはたらき”について具体的な分析を試みる。日本語を主な対象とするが、初歩的な英文法の知識を持つことが望ましい。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕V. マテジウス『機能言語学』

（桐原書店）¥2,890

## 古典文学概説

川上順子

日本古典文学のなかには、日本人の信仰の問題



が数多く記述されている。本講座では「観音信仰」の問題に焦点をあてて、この信仰が日本土着の信仰と習合し、人々に受容されていった様子を、古典文学作品の中から考えていく。上代から中古までの作品にふれつつ講義を進めていく。

〔教科書〕プリント

〔参考書〕適宜指示する。

## 近代文学概説

石 割 透

近代の評論の流れを追い、文学思潮の移りゆきを考察。あわせて、同時代の小説の傾向などを考える。坪内逍遙、二葉亭四迷、森鷗外、国木田独步、北村透谷、田山花袋などを扱いたい。

〔教科書〕『近代文学年表』（双文社出版）

¥980

## 児童文学

吉 田 司 雄

いわゆる「児童文学」に限らず、「子供」を描いた作品を広く読みすすめてゆく。近代日本における「児童」の発見、「児童文学」の確立とその変貌を辿ることになる。次から次へといろいろな作品を読んできてもらうことになるので、そのつもりで受講してほしい。また、童話の創作の方法についての指導も行なう。

〔教科書〕井上ひさし選『児童文学名作全集』

1, 2 (福武文庫)

1・¥600, 2・¥560

他は教場でそのつど指示。

## 国語表現法

安 藤 幸 輔

- 日本人の生活や愛の表現を、各時代の代表的な文学作品によって考える。(短歌、物語、日記、随筆など)。
- 手紙、案内状など日常生活に必要なものの書き方を指導する。
- 文芸的な作品(小説・詩・随筆)が、ある程度書けるように指導する。
- 成果としてこの作品を〈雑誌〉を発行して掲載する予定を持つ。

〔教科書〕葉山修平著『新しい文章作法』(笠間書院) ¥800

〔参考書〕その都度、指示する。

## 国文特講 I (上代)

川 上 順 子

『古事記』の講義を行う。日本最古の書物である『古事記』には、神話・祭式・民俗等々のさまざまな学問分野の要素が集合されている。本講座ではそれらの問題を視野に入れながらも、最古の「文学作品」としての『古事記』を中心に講義を行う。日本古典文学の各ジャンルの原点となる問題を指摘しつつ講義を進めていく。

〔教科書〕荻原浅男校注『古事記』(小学館日本古典文学全集1)

〔参考書〕西郷信綱著『古事記の世界』(岩波新書)

## 国文特講 II (中古)

佐 原 作 美

平安朝末期に成立した『今昔物語集』の「本朝仏法部」を読みながら、特に当時の人々の仏教とのかかわり方やものの見方、考え方などについて見ていきたい。

〔教科書〕角川文庫『今昔物語集』本朝仏法部 上・下巻 ¥各660

## 国文特講 III (中世)

坂 口 博 規

我が国の歌人の中でも、特に西行は親しまれ、その歌は愛誦されていよう。西行の生涯を、主にその旅を中心に考える。

〔教科書〕有吉 保著 王朝の歌人8『西行』(集英社) ¥1,400

## 国文特講 IV (近世)

菅 野 一 雄

人形浄瑠璃三大名作の一つと言われる「義経千本桜」を読む。このドラマに展開される、義経・知盛・維盛らの悲運の武將の物語や親を慕う仔狐のメルヘンの世界が、現代の我々の心に訴えるものが、果たしてあるだろうか。

〔教科書〕景山正隆著『校注義経千本桜』(笠間書院) ¥824

## 国文特講V (近・現代)

大 室 英 爾

島崎藤村の作品を読む。その人間と文学の統一されたかたちを長い作家生涯をかけてどのように作りあげていったか。詩及び散文の読みを通し、彼をとりまくあらゆる「外圧」を視野に入れつつ考えていきたい。本年度は「春」が中心となる。  
〔教科書〕各種文庫本。開講時に指示。

## 戯曲演劇概説

清 田 啓 子

本年度は「仮名手本忠臣蔵」をピークとする忠臣蔵ものと呼ばれる演劇作品をたどってみようと思う。併せて能、歌舞伎、人形浄瑠璃の時々の公演を紹介し、レポートを求める。  
〔教科書〕教室で指定。

## 国文特別演習I (上代, 中古, 中世) 近世, 近・現代)

安 藤 幸 輔

- ① 研究対象を選択するための講義を行なう。
- ② 上記の研究対象が決定したら、それについての必要な参考文献、資料を各自が収集したり、研修旅行(主として図書館や文学館)を行なう。
- ③ 論文の書き方を指導するが、その前段階として研究発表を行なう。研究発表は、面接的な方法で行なう。すなわち指導者と一対一で質疑応答を行なうこととなる。  
(注) 教場にての講義のあとは、各自が自宅あるいは研修旅行などで研究対象への研究を深めることが主体となる。

## 有 職 故 実

大 塚 英 子

平安貴族社会の文化について、儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度と、文学に描かれる風俗の関係を詳説する。  
〔教科書〕河籙実英『有職故実』(塙書房)  
¥1,900 とプリントを使用。  
〔参考書〕奥平英雄『源氏物語絵巻』(保育社)  
¥1,000

## 中国文学概説

功 刀 正

講読が、主として韻文を学習するので、概説では、前期は、先秦の諸子百家の代表的な文を、後期は、漢魏六朝より唐宋に至る代表的な散文を読み、中国の思想と文学の特色を把握させる。また、中国と日本の風土や習慣、更には中国語(漢文)と日本語の相違を考え、中国と日本の文化の特色を明らかにしてゆきたい。  
〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院)  
¥1,600

## 中国文学講読

功 刀 正

前期は、詩経・楚辞・漢魏六朝の古体詩を、後期は、唐宋の近体詩を文学史の流れを追いながら読んでゆく。これ等の韻文講読を通して、中国古典の読解力・鑑賞力を涵養する。また、中国の風土や習慣等も理解させ、これ等が作品に及ぼす影響をも考え、併せて、中国文学と日本文学との関連に就いても学習してゆきたい。  
〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院)  
¥1,600

## 中国文学講読

清 水 浩 子

詩経・楚辞・漢魏六朝の古詩と唐・宋の詩及び白氏文集や唐宋八家文などの作品の講読を中心に中国文学への理解を深め読解力を養う。また、中国文学の日本文学への影響なども考えてみたい。  
〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院)  
¥1,600

## 中国文学講読

中 村 璋 八

中国の代表的な韻文、すなわち詩経・楚辞・漢魏六朝の古体詩、唐・宋の律詩、絶句、それに日本文学に最も影響を与えた白氏文集などを教科書に従って時代を追いながら解読して行く。それらの韻文の解読を通して、中国古典の読解力を養うと共に、中国の風土や習慣、そこで生れた漢字や

文学の特色を明らかにし、それが如何に日本の文化に影響したかも考えて行く。

〔教科書〕『中国思想文学通史』（明治書院）

¥1,600

### 書道実習 I

富岳智猛

楷、行、草書の代表的古典を取り上げて、基本の筆法を学び、書の基礎知識や鑑賞力を養う。

かなの単体、連綿体に習熟し、かなの成立・発達の概略及び古筆の基礎的知識及び鑑賞力を養う。

〔教科書〕『書の古典美』（書芸文化新社）

『字典かな』（笠間書院）

### 書道実習 II

富岳智猛

古筆を基とし、かなの単体、連綿体に習熟し、代表的古筆である高野切古今集、関戸本古今集、寸松庵色紙などの概説と臨書を通して表現力、鑑賞力を養い、創作へ導く。更に随時に実用書（ペン字・書簡文等）の実習も加えてより幅広く書への関心を高める。

〔教科書〕『書の古典美』（書芸文化新社）

『字典かな』（笠間書院）

### 情報概論

小林眞峰

情報化社会に突入した今日、コンピュータに関する基礎知識やOA機器を駆使した情報処理基礎知識は、社会人としての必須知識である。

本講座では、時代要請に応え、情報処理とは何かを理解し、実社会にスムーズにとけこめる情報処理知識と技能の教授に主眼を置いて進める。

講義の前半は、ワードプロセッサを使った情報処理に重点を置き、ワープロ検定3級の合格を目指す。後半はコンピュータの基礎知識習得にポイントを置き、コンピュータを使用した情報処理の方法を中心に講義する。

欠席した場合は、相当の努力をしないと授業についてこれなくなる。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕前川良博編著『コンピュータ処理概論（改訂版）』（白桃書房）¥3,100

### 編集実務

長谷川 孝

情報社会の今、多様な情報を主体的に選択し活用できる力が求められ、さらに自分から情報を発信できる能力も大事です。自分の中にある知識や体験、意見や批判、感動や思いなどを、さまざまな社会の出来事や状況との関係の中でしっかりと握みとり形を与えて、他者に伝わるように表現することです。この講義では、物書き・編集者としての私の体験を語りながら、文章と印刷による表現（メディア）の担い手に必要な知識・技能や心構えと、なぜ・なにを・どう「伝える」のか、を考えていきます。また、個人のミニ新聞（雑誌）を作ってもらい、作り方とともに「ものごとを見る目」を育ててほしいと思っています。

〔参考書〕長谷川 孝編著『新聞をつくろう』

（さ・え・ら書房）¥1,236 を随時、使用します。

### ジャーナリズム研究

三好 崇一

現代の社会に生きる私たちは、さまざまな面で、マス・コミュニケーションの影響を大きく受けている。

この講義では、新聞や放送などを中心にした、現代ジャーナリズムの役割と問題点を多角的に考察し、「社会を見る眼」を養うことを目的とする。

毎回、授業のたびごとにプリントを配布し、教科書の代りとするが、ことに「人権と報道」「戦争と平和」「高度情報社会」「情報公開制度」など重要な問題にも言及したい。

希望者が多ければ、新聞社などの見学をおこなう予定。

また、随時、時事問題についても学生の理解がえられるよう講義したい。

### 文化概論

大室 英爾

・主題を「女性」とし、下記のような日程と担当者によって、それぞれの立場からのアプローチがなされることになる。

・4/14（水）オリエンテーション 大室 英爾

・4/14（水）4/21（水）

「女性と文学」

吉田 司雄

- 4/28 (水) 5/12 (水)  
「女性と宗教」 納富 常天
- 5/19 (水) 5/26 (水)  
「女性と服飾文化」 大塚 英子
- 6/2 (水) 6/9 (水)  
「女性と教育」 末藤美津子
- 6/16 (水) 6/23 (水)  
「女性の社会的地位Ⅰ」 茂野 隆晴
- 6/30 (水) 7/7 (水)  
「女性の社会的地位Ⅱ」 茂野 隆晴
- 7/14 (水) まとめ・評価 大室 英爾  
〔教科書〕 その都度指示する。  
〔参考書〕 その都度指示する。

## 秘書概論

湯 浅 陽 子

秘書学の学習は、秘書理論と秘書実務との学習によって成り立つ。秘書理論の学習目的は、秘書の概念をつかみ、より望ましい秘書実践のための指針を得ることである。一方、秘書実務の学習目的は、秘書実践に必要な知識や技術を習得し、秘書の個々の仕事をもつ目標・目的にかなった手段を的確に選択することである。従って片方だけの学習で終わらせてしまっては不十分なのである。

秘書学はまだ学問としての第一歩を踏み出したに過ぎない。しかし、これまでの研究の成果を取り入れ、次の点に留意して講義する予定である。

- 1) 秘書の基本的職能、2) 専門職としての秘書、
- 3) 秘書の資質の追求、4) 秘書と人間関係、
- 5) 秘書に要求される関連分野の知識。

〔教科書〕 田中篤子著『秘書の理論と実践』  
(改定版) (法律文化社)

## 秘書実務

森 本 正 恵

初級秘書のための実務を学ぶが、必ずしも秘書とならなくとも、社会で実務につく場合に必要な知識が身につくクラスである。

— 講義内容 —

- マナー・接遇
- 敬語
- 電話のかけ方・受け方
- 日程管理
- 出張事務
- 文書作成
- ファイリング
- 郵便の知識
- 一般知識
- その他

〔教科書〕 開講時に指示します。

# 英 文 科

## 専門教育科目

英文法論 (梅原 敏弘) .....	58
英文講読Ⅰ (滝 静寿) .....	58
英文講読Ⅰ (竹内 美恵子) .....	58
英語音声学 (R. A. Moe) .....	58
英米文学概論 (熊崎 久子) .....	58
Intensive English I (平成4年度以前入学生: オール・イングリッシュⅠ) (G. Dendo ・ E. M. Smith G. Wallace ・ 郷司正彦) .....	58
Intensive English II (J. G. Garrison ・ L. Mac Benneid E. M. Smith ・ G. Wallace) .....	58
Intensive English III (J. G. Garrison ・ L. Mac Benneid J. Pfeiffer ・ 郷司正彦) .....	59
Intensive English IV (J. G. Garrison ・ R. A. Moe) .....	59
Freshman English (平成4年度以前入学生: 英会話Ⅰ) (B. P. Georgi) .....	59
英語学概論 (岡本 誠) .....	59
オールイングリッシュⅡ (平成4年度以前入学生) (P. Allum) .....	59
オールイングリッシュⅡ (平成4年度以前入学生) (E. M. Smith) .....	59
オールイングリッシュⅡ (平成4年度以前入学生) (J. Pfeiffer) .....	59
オールイングリッシュⅡ (平成4年度以前入学生) (G. Dendo ・ L. Mac Benneid 郷司正彦) .....	60
英文学史 (滝 静寿) .....	60
英文講読Ⅱ (熊崎 久子) .....	60
英文講読Ⅱ (高野 秀夫) .....	60
英文講読Ⅱ (滝 静寿) .....	60
英文講読Ⅱ (竹内 美恵子) .....	60
英文講読Ⅱ (梅原 敏弘) .....	60
英文講読Ⅱ (吉沢 栄治郎) .....	60
英 作 文 (岡本 誠) .....	61
英 作 文 (梅原 敏弘) .....	61
英 作 文 (高野 秀夫) .....	61
英 作 文 (吉沢 栄治郎) .....	61
英 作 文 (E. M. Smith) .....	61
戯曲研究 (熊崎 久子) .....	61

時事英語 (岡本 誠) .....	61
英文タイプライティングⅠ (湯浅 陽子) .....	61
英文速記 (竹内 美恵子) .....	62
米文学演習 (吉沢 栄治郎) .....	62
英語演習Ⅰ (岡本 誠) .....	62
英語演習Ⅱ (滝 静寿) .....	62
英語演習Ⅲ (梅原 敏弘) .....	62
英語演習Ⅳ (吉沢 栄治郎) .....	62
英語演習Ⅴ (R. A. Moe) .....	62
英語演習Ⅵ (高野 秀夫) .....	62
ジャーナリズム研究 (三好 崇一) .....	63
同時通訳Ⅰ (R. A. Moe) .....	63
(平成4年度以前入学生: 同時通訳入門)	
イギリス文化事情 (P. Allum) .....	63
アメリカ文化事情 (R. A. Moe) .....	63
西洋古典文学 (安村 典子) .....	63
アメリカ演劇 (J. G. Garrison) .....	63
情報処理入門 (牧野 元治) .....	63
秘書概論 (湯浅 陽子) .....	64
秘書実務 (森本 正恵) .....	64
秘書英語 (森本 正恵) .....	64
国語表現法 (安藤 幸輔) .....	64
英会話Ⅱ (J. G. Garrison) .....	64
(平成4年度以前入学生)	
英会話Ⅱ (J. Pfeiffer) .....	65
(平成4年度以前入学生)	
作品作家研究 (ロマン派の詩) (熊崎 久子) .....	65
作品作家研究 (19世紀英文学) (高野 秀夫) .....	65
作品作家研究 (世紀末文学) (滝 静寿) .....	65
作品作家研究 (現代アメリカ文学) (吉沢栄治郎) .....	65
聖書研究 (高野 秀夫) .....	65
英文タイプライティングⅡ (竹内 美恵子) .....	65
ビジネスイングリッシュ (町井 靖) .....	65
言語と文化 (岡本 誠) .....	65
英語表現研究 (梅原 敏弘) .....	66

# 英 文 科

## 専 門 教 育 科 目

### 英 文 法 論

梅 原 敏 弘

従来の規範のないいわゆる「学校文法」とは一線を画しているものの、比較的「学校文法」に近いイギリスのQuirkを中心にしたグループの文法をとりあげ、検討してみることにする。折にふれて他の文法理論にも言及する予定。

〔教科書〕 追って指示する。

〔参考書〕 R. Quirk and S. Greenbaum,  
"A University Grammar of English"  
1987  
"A Student's Grammar of the English  
Language" 1990

### 英文講読 I

滝 静 寿

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』を読み、シェイクスピア劇の面白さを紹介していく。

〔教科書〕 未 定。

### 英文講読 I

竹 内 美 恵 子

イギリスの著名なイラストレーターが、19世紀末のロンドンやロンドン近郊を幼い日の思い出として描いた読みやすい物語です。ヴィクトリア時代の英国の一部をかい間見ることができると思います。

テキストは追って指示します。

### 英語音声学

R. A. Moe

This course will cover the basics of phonetics and discuss the theories related to the study of it. The purpose of the course will be to provide students with a better understanding of English pronunciation.

### 英米文学概論

熊 崎 久 子

英米両国の歴史の流れを背景に、さまざまな時代思潮の中で躍動した文学者、文学作品を概観する。

〔教科書〕 教場で指示します。

### Intensive English I (Basic Skills)

(平成4年度以前入学生:

オーラル・イングリッシュ I)

G. Dendo ・ E.M. Smith  
G. Wallace ・ 郷 司 正 彦

Grammar-intensive review of basic patterns of speech. Requires extensive preparation including daily review of audio tapes outside of class. Course conducted in English and held in the language laboratory. Regular tests.

〔Text〕 Kernal Lessons Intermediate Robert O'neill, et. al. Longman

### Intensive English II (Reading Skills)

J.G. Garrison ・ L. Mac Benneid  
E.M. Smith ・ G. Wallace

Emphasis on vocabulary acquisition and

content comprehension. Content analysis and critique required. Reading materials selected from sources designed primarily for native speakers of English including newspaper and magazine articles, short stories, scenarios, etc. Course conducted in English. Preparation required. Regular tests.  
〔Text〕未定

英語学概論

岡本 誠

英語なる言語が変化・進展してきたプロセスを概観し、次に、その英語が現代にあって世界各地でどのように用いられているか、を見てみる。  
〔教科書〕F.A.モセ著『英語史概説』（開文社）  
¥1,648  
〔参考書〕教場にて指示。

Intensive English III (Aural Skills)

J.G. Garrison ・ L. Mac Benneid  
J. Pfeiffer ・ 郷 司 正 彦

Emphasis on listening comprehension of recorded materials selected from sources such as film, television and radio. Course conducted in English and held in the language laboratory. Content analysis and critique required. Regular tests.  
〔Text〕未定

オーラル・イングリッシュⅡ  
(平成4年度以前入学生)

P. Allum

The course will allow students to improve their spoken English through role play and discussion. Vocabulary will be enlarged through the use of short simplified newspaper articles and aural comprehension through the use of video.

Intensive English IV  
(Structured Conversation)

J.G. Garrison ・ R.A. Moe

Application and development of conversational skills acquired in Intensive English I-III through pair and/or small-group discussions of a wide range of subjects decided in advance. Special attention to pronunciation and intonation as well as ability to communicate one's thoughts. Course conducted in English. Regular tests.  
〔Text〕未定

オーラル・イングリッシュⅡ  
(平成4年度以前入学生)

E.M. Smith

In this course students will be given an opportunity to express their opinions in English. They will be taught the basic vocabulary and patterns necessary to do this and then presented with intriguing problems to respond to.  
〔教科書〕CAN'T STOP TALKING, GEORGE BOOKS,  
(NEWBURY HOUSE)

Freshman English  
(平成4年度以前入学生：英会話Ⅰ)

B.P. Georgi

Basics of spoken English. Emphasis on development of oral skills. Course content and method to be explained by teacher at the first class. Regular attendance and active participation in classroom activities required. Class will be conducted entirely in English.  
〔Text〕未定

オーラル・イングリッシュⅡ  
(平成4年度以前入学生)

J. Pfeiffer

The aim of this course is to improve students' overall ability and confidence with English. Pair and group activities will be used to maximize each students' actual speaking time in a range of situations and tasks. An assigned text will not be used, but the instructor will provide handouts as needed. Grades will be based on attendance and class participation.

オーラル・イングリッシュⅡ  
(平成4年度以前入学生)

G. Dendo · L. Mac Benneid  
郷 司 正 彦

A continuation of Oral English I. Basic skills which were acquired are further developed and expanded. Course content and method to be explained by teacher at the first class. Regular attendance and active participation in classroom activities required. Class will be conducted entirely in English.

[Text] 未 定

英 文 学 史

滝 静 寿

歴史を背景に、イギリス文学の流れをその時代の代表的作品を取り上げながら概観する。

[参考書] 教場で紹介。

英文講読Ⅱ

熊 崎 久 子

D. H. ロレンスの紀行文、「エトルリア紀行」を読む。ローマ時代の初期にイタリア中西部に高度な文化・文明を築き、やがてローマ人によって抹殺されたエトルリア民族の遺跡をロレンスと共に辿り、同時にロレンスの詩的想像と生氣あふれる表現を味わいたい。

[教科書] D. H. Lawrence : 『Etruscan Places』  
(“ロレンスのエトルリア紀行”)  
(南雲堂)

英文講読Ⅱ

高 野 秀 夫

いわゆるクリスマスの読物のなかでディケンズの『クリスマス・キャロル』はとりわけ有名です。特に冷酷な主人公が亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進めていく予定です。

[教科書] Charles Dickens : *A Christmas Carol*  
(研究社)

英文講読Ⅱ

滝 静 寿

パール・バックの『聖書物語』を読み、旧約聖書の世界をのぞく。

[教科書] “*The Story Bible*” vol.1 by Pearl S. Back (英宝社)

英文講読Ⅱ

竹 内 美 恵 子

T. Hardy の作品中、特に短編をえらび読んでいきます。その中で、人生の皮肉な偶然、愚直な人間の中にひそむ悲劇などを一緒にさぐっていきます。

[教科書] 追って指示します。

英文講読Ⅱ

梅 原 敏 弘

文脈を正確に読みとることを主眼にした読みの訓練をする予定。

[教科書] 追って指示する。

英文講読Ⅱ

吉 沢 栄 治 郎

タイムの要約版から比較的最近の記事を読みます。新語も多少はみられるでしょうが、社会の変化を知る上でキー・ワードになります。タイムのきびきびした文体は手本としてよいものです。これを機会にジャーナリズム・イングリッシュにも馴染んでもらえればとおもいます。



英 作 文

岡 本 誠

「花が咲いている」という文があるとすると、その花が菊やパンジーのようなものか、あるいは桜や桃のようなものかを確認しなければ英語に訳せない。前者にflowerを用い、後者にblossomを用いることは御存知のとおり。文法上のことはもとより、適切に語を判断することにも留意してほしい。

〔教科書〕プリント使用。

英 作 文

梅 原 敏 弘

基本語彙を使いこなすことを主眼とした英作文の授業をする予定。

〔教科書〕追って指示する。

英 作 文

高 野 秀 夫

日常英会話、英字新聞・雑誌に役立つ英語を活用し、平易なコミュニケーションのできる英文が作れることを目的とする。

〔教科書〕*The Road From Writing To Speaking*  
(成美堂)

英 作 文

吉 沢 栄 治 郎

英作文の要諦は、平生から語彙を増やすようにし、短い構文にまとめ、simple, standard Englishをめざすことです。なにはともあれ和文を英語に直す練習を数多くこなしてほしい。口に出して言ってみる、紙に書いてみるという訓練を重ねるとよい。

〔教科書〕追って教場で指示します。

英 作 文

E. M. Smith

In this course students will do three things to help them improve their writing : (1) keep a diary in English to build writing fluency ; (2) practice sentence combining to gain control of sentence structure ; and (3) study paragraph organization to help them express their ideas clearly and logically.

戯 曲 研 究

熊 崎 久 子

現実的な町ヴェニスとロマンティックで牧歌的な町ベルモントを舞台に、有名な「人肉裁判」、「箱選び」の二つの筋と「指環」をめぐるエピソードがからみ合って展開するシェークスピアの傑作の一つ、『ヴェニスの商人』を読む。

〔教科書〕教場で説明します。

時 事 英 語

岡 本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してくること。

〔教科書〕テープ使用。

英文タイプライティング I

湯 浅 陽 子

これは、「タイプのキーボード配列を覚えたい」という人の為のコースです。今や社会ではOA化がほぼ浸透し、誰もがそれら機器を扱えるのが当然のような時代ですが、英文タイプ配列を覚えておけば、多機種の日本語ワープロもコンピュータも、ローマ字入力で簡単に操作できます。ただしキーボード操作は、ブラインド・タッチ（手元を見ないで打つこと）が原則で、それが一番大事なことなのです。

習得目標は第一にキーボードを覚えること。前期で完全にマスターします。後期から簡単な実務（レポート作成・作表）に入ります。

一つの技能を習得する為の努力は精神力をも養います。自分を積極的に駆り立てて練習に励み、何事も自分でやらなければ身につかないということを学んでください。出席を重視します。

〔教科書〕独自のプリント教材を使用します。

### 英文速記

竹内 美恵子

Gregg Shorthand Simplifiedを、メモやノートが自由、迅速にとれるまで根気強く学んでいきます。科目の性格上、人数制限をすることもありません。

なお、授業を進めるにあたっての細かい内容は教場で説明します。

### 米文学演習

吉沢 栄治郎

英米の平易な詩を選びすぐって読んでみようと思います。詩は音が6分、意味が4分といわれるほどに音楽的な要素が濃いのです。英語の持つ美しい響きに親しみ、深い詩想にふれて、自己陶冶の糧にしてもらいたいと思います。

〔教科書〕追って教場で指示します。

### 英語演習Ⅰ（ディクテーション）

岡本 誠

慣用句の成立背景を歴史的にみていく。例えば、OKという言い方はどのようないきさつで成立したのか。あるいはmaverickとはどうして「一匹狼」の意味になったのか。これを全講義ディクテーションで行なう。紙と鉛筆それに辞書を持ってくること。各自TOEFL500点以上をめざしてほしい。

〔教科書〕テープ使用。

### 英語演習Ⅱ（シャーロック・ホームズ）

滝 静 寿

推理小説の古典シャーロック・ホームズものの中から二、三篇を輪読し推理しながら、当時のロンドンの風俗やイギリス人気質などのぞいてみる。

〔教科書〕未定。

### 英語演習Ⅲ

梅原 敏 弘

ディクテーションを中心とした聴き取り練習をする予定。

### 英語演習Ⅳ（耳で聞く英字新聞）

吉沢 栄治郎

英文読解に資するようなテキストを読んでいく予定です。併せて、英字新聞を吹き込んだカセットを聴いて、耳を練るトレーニングもします。自宅でも努めてラジオ（FEN）、テレビ、カセット等を活用してもらいたい。結局、ヒアリングは実際に生の英語を聞いた時間数が決め手となります。

〔教科書〕追って指示します。

### 英語演習Ⅴ（異文化間コミュニケーション）

R. A. Moe

This course will cover and explore cultural differences between Japan and the United States and how they affect communication between the people of these two countries. This course is discussion-oriented and students taking it are expected to actively participate.

### 英語演習Ⅵ（英語表現）

高野 秀 夫

英作文の教科書と英字新聞で英語表現能力を高める。

〔教科書〕 *Unique English Composition*  
(Vol. I, II) (成美堂)

## ジャーナリズム研究

三好 崇一

現代の社会に生きる私たちは、さまざまな面で、マス・コミュニケーションの影響を大きく受けている。

この講義では、新聞や放送などを中心にした、現代ジャーナリズムの役割と問題点を多角的に考察し、「社会を見る眼」を養うことを目的にする。

毎回、授業のたびごとにプリントを配布し、教科書の代りとするが、ことに「人権と報道」「戦争と平和」「高度情報社会」「情報公開制度」など重要な問題にも言及したい。

希望が多ければ、新聞社などの見学をおこなう予定。

また、随時、時事問題についても学生の理解がえられるよう講義したい。

## 同時通訳 I

(平成4年度以前入学生：同時通訳入門)

R. A. Moe

Interpreting, unlike translation, requires both accuracy and speed in order to be effective. Principles of interpreting and techniques for consecutive and simultaneous interpreting will be introduced and practiced, both from Japanese into English and English into Japanese. The course will deal with a broad range of subjects, from the very general proceeding on to the more complex. This is designed to not only expand the students' vocabulary but to familiarize them with a number of different topics which they might be expected to discuss in normal conversations.

## イギリス文化事情

P. Allum

This course will give students a good background knowledge of Britain and British culture and will also cover modern British life. Students will come to know about the various regions of Britain. Materials such as videos and films will be used as well as photocopies from different texts. If numbers

are small, there will be chances for students to talk about current social, political and cultural topics.

〔教科書〕 No textbook.

〔参考書〕 Copies

## アメリカ文化事情

R. A. Moe

Customs, manners, attitudes, as well as events and circumstances both past and present, will be discussed in the context of how they have and continue to influence American culture.

## 西洋古典文学

安村 典子

本年はウェルギリウスの『アエネーイス』を読む。『アエネーイス』は約2000年前に創られた長大な叙事詩で、ローマ文学中の最高傑作の一つであり、後の西欧文学に大きな影響を与えた。ローマを創建する使命を与えられた英雄アエネーアースが、苦難の後にイタリアを平定していく波乱に富んだ物語を読み、詩人の意図、物語の構成の問題等について論じたい。

〔参考書〕岡 道男他編『ラテン文学を学ぶ人のために』（世界思想社）

## アメリカ演劇

J. G. Garrison

Readings and discussions of contemporary American plays. Classwork conducted primarily in English with some explanations in Japanese.

Regular attendance and participation in class activities required.

Grades based on classwork and two short papers.

〔教科書〕未定

## 情報処理入門

牧野 元治

1990年代は高度情報化社会の時代への幕開けと

言える。OA化は会社・産業界のみならず、一般家庭に至るまで、この波は押し寄せてきているのが現状である。これに対して学生はコンピュータ、ワープロに対して、一種のキーボード恐怖感(Key-board phobia)があると思う。この入門コースでは誰れもが容易にキーボードに親しめて、少なくとも日本語・英語のワープロ及び表計算等の機能を習得し、卒業後社会でのOAの即実践力となり得る事を目標としている。

従ってこのコースへの予備知識は一切必要とせず、成功不成功は本人の習得心に対する心構えによる。機器台数制限の為、定員76名とする。

- 〔教科書〕 沢部恭一『一太郎 Ver. 4』ハンディ、マニュアル(ナツメ社) ¥1,200  
戸内順一『WORDSTAR Ver. 6.0』(ナツメ社) ¥1,500  
鹿島 博『Lotus 1-2-3 実戦練習教本』(H J B 出版局) ¥2,500

- 日程管理
  - 出張事務
  - 一般知識
  - その他
- 〔教科書〕 開講時に指示します。

## 秘書英語

森本正恵

外資系企業において秘書として働く場合に必要な英語表現を学ぶ。テキストには、企業内によく見られる様々な情景が易しい英語で短くまとめられている。テキストの目読、音読、テープのリスキング、書取りなどで、オフィスでの必要最小限の英語を身につける。ビジネスレターの作り方も学ぶ。秘書英語検定の準備クラスでもある。

〔教科書〕 開講時に指示します。

## 秘書概論

湯浅陽子

秘書学の学習は、秘書理論と秘書実務との学習によって成り立つ。秘書理論の学習目的は、秘書の概念をつかみ、より望ましい秘書実践のための指針を得ることである。一方、秘書実務の学習目的は、秘書実践に必要な知識や技術を習得し、秘書の個々の仕事をもつ目標・目的にかなった手段を的確に選択することである。従って片方だけの学習で終わらせてしまっては不十分なのである。

秘書学はまだ学問としての第一歩を踏み出したに過ぎない。しかし、これまでの研究の成果を取り入れ、次の点に留意して講義する予定である。

- 1) 秘書の基本的職能、
- 2) 専門職としての秘書、
- 3) 秘書の資質の追求、
- 4) 秘書と人間関係、
- 5) 秘書に要求される関連分野の知識。

〔教科書〕 田中篤子著『秘書の理論と実践』(改訂版) (法律文化社) ¥2,200

## 国語表現法

安藤幸輔

- 日本人の生活や愛の表現を、各時代の代表的な文学作品によって考える。(短歌、物語、日記、随筆など)。
- 手紙、案内状など日常生活に必要なものの書き方を指導する。
- 文芸的な作品(小説・詩・随筆)が、ある程度書けるように指導する。
- 成果としてこの作品を〈雑誌〉を発行して掲載する予定を持つ。

〔教科書〕 葉山修平著『新しい文章作法』(笠間書院) ¥800

〔参考書〕 その都度、指示する。

## 英会話Ⅱ

(平成4年度以前入学生)

J. G. Garrison

Course designed to improve conversational fluency by maximizing opportunities for students to speak English in a supervised setting. Taped exercises and paired practice. Regular attendance required. Grades based on classwork, frequent quizzes and two interviews.

〔教科書〕 JACK C. RICHARDS, DAVID BYCINA  
『PERSON TO PERSON BOOK 2』  
(OXFORD UNIV. PRESS)

## 秘書実務

森本正恵

初級秘書のための実務を学ぶが、必ずしも秘書とならなくとも、社会で実務につく場合に必要な知識が身につくクラスである。

— 講義内容 —

- マナー・接遇
- 敬語
- 電話のかけ方・受け方
- 文書作成
- ファイリング
- 郵便の知識

英 会 話 Ⅱ  
(平成4年度以前入学生)

J. Pfeiffer

開講時に指示します。

作品作家研究 (ロマン派の詩)

熊 崎 久 子

英文学史上に一時期を画したロマン派の詩人たちの著名な作品を鑑賞し、過ぎ去った時代のロマンの香を味ってみる。

〔教科書〕追って指示します。

作品作家研究 (19世紀英文学)

高 野 秀 夫

英国の大学に於て英文学の入門書となっている「サイラスマーナ」の作品を読みながらその著者ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学のなかで特異な存在となったのかを考える。

〔教科書〕George Eliot : *Silas Marner*  
(研究社)

作品作家研究 (世紀末文学)

滝 静 寿

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。

〔教科書〕未 定。

作品作家研究 (現代アメリカ文学)

吉 沢 栄 治 郎

教材は、エッセーです。エッセーを読むと、筆者の「素顔」にじかにふれるおもしろいがあります。人にはさまざまな見方・考え方・感じ方があること

がわかります。そうしたものが生きていく上で抛り所となることも少なくありません。時には自らペンをとって日常の折り折りにうかぶ思いを綴ってみたいものです。

〔教科書〕追って教場で指示します。

聖 書 研 究

高 野 秀 夫

西洋の町にはまず教会が建てられると言われるほどキリスト教の影響は西洋人にとって計り知れない。世界の超ベストセラーであり、彼等の精神の糧でもある聖書を読み、西洋文化、思想の扉を開いてもらいたい。

〔教科書〕『和英対照新約聖書』(日本聖書協会)

英文タイプライティングⅡ

竹 内 美 恵 子

一年次に習得した基礎の上に、レター、各文書を中心に実務的な内容を学んでいきます。プリントしたものを課題とし、一定の時間内に文書等の処理ができるように授業を進めていきます。

なお、他学部の学生は、ブラインド・タッチをマスターしていること。

ビジネスイングリッシュ

町 井 靖

日本企業の国際的進出は、海外での子会社、合併会社の設立、外国企業の買収等めざましいものがあるが、「ビジネスイングリッシュ」では「商品の輸出入に関する英文の手紙」を勉強する。

取引先の発見、見積り、交渉、注文、船積み等、貿易取引の流れに従ってよく使用される基本的表現を修得する。貿易の専門的用語も解説する。

〔教科書〕町井 靖『基礎商業英語』(梓出版社)  
¥1,700

言語と文化

岡 本 誠

言語と文化は表裏一体のものである。英語という言語に接する際、我々はその英語を支えている人々のものの考え方・感覚にも留意せねばならぬ

い。それによって、真のコミュニケーションが成り立つといえる。また、翻って、我々も日本語の背後にある文化を念頭におき、そして、それらを紹介できるように努めるべきだ。これぞ真の国際感覚といえようか。クラスはディスカッションを中心にし、また適宜レポートを出してもらおう。

〔教科書〕プリント使用。

〔参考書〕教場にて指示。

## 英語表現研究

梅原敏弘

日本語と英語の比較・対照を主としてとりあげる予定。他の全ての分野と同じく、言語も異なる言語を比較・対照することによってその特質を明らかにすることが出来る。我々の母国語である日本語と対照させることによって、英語の語彙・表現構造・音声等の特徴を探っていくことにしたい。

〔教科書〕プリントを配布する予定。

〔参考書〕『日英語比較講座』全5巻（大修館）

# 放射線科

## 専門教育科目

解剖学(本間 襄) .....	68
生理学(樋口 雄三) .....	68
衛生学及び公衆衛生学(吉田 稔) .....	68
放射線基礎数学(清水 忠良) .....	68
近代物理学序論(清水 忠良) .....	68
放射線物理学Ⅰ(小山 正希) .....	68
放射化学序論(田島 隆) .....	69
電気工学(佐藤 昌憲) .....	69
放射線機器工学Ⅰ(榊 徳市) .....	69
放射線写真学(田本 祐作) .....	69
エックス線撮影技術学Ⅰ(金場 敏憲) .....	69
実験ⅠA(本間 襄・榊 徳市・ 金場 敏憲) .....	69
実験ⅠB(清水 忠良・佐藤 昌憲・ 松林 哲夫・水原 律子) .....	70
実験ⅠC(金場 敏憲・山本 裕右・ 田本 祐作) .....	70
実験ⅠD(田島 隆・山本 裕右・ 五百蔵 良・原田 和正) .....	70
計算機言語概論(杉田 徹) .....	70
医学概論(本間 襄) .....	70
臨床医学概論(本間 襄) .....	70
放射線生物学(山口 彦之) .....	71
生化学(田島 隆) .....	71
病理学(本間 襄) .....	71
応用数学(武中 英治) .....	71
放射線物理学Ⅱ(青木 清) .....	71
放射化学(山本 裕右) .....	71
電子工学(杉田 徹) .....	72
放射線機器工学Ⅱ(武中 英治) .....	72
放射線機器工学Ⅲ(榊 英次) .....	72
エックス線撮影技術学Ⅱ(金場 敏憲) .....	72
放射線計測学(小山 正希) .....	72
関係法規(油井 多丸) .....	72
実験ⅡA(金場 敏憲・榊 徳市・ 阿部 敏・金谷 信一) .....	73
実験ⅡB(小山 正希・武中 英治・ 佐藤 昌憲・小林 久夫) .....	73
実験ⅡC(杉田 徹・青木 清・ 木村 登・川副 護) .....	73
実験ⅡD(杉田 徹・青木 清・ 木村 登・吉田 正廣) .....	73
実験ⅡE(武中 英治・榊 英次・ 山口 彦之・牧野 元治) .....	73
臨床放射線特論Ⅰ(本間 襄) .....	74
臨床放射線特論Ⅰ(山口 彦之) .....	74
病院実習Ⅰ(榊 徳市) .....	74

放射線医学概論(本間 襄) .....	74
自動制御工学(青木 清) .....	74
放射線機器工学Ⅳ(中本 淳) .....	74
画像工学Ⅰ(榊 英次) .....	74
放射性同位元素検査技術学(榊 徳市) .....	75
放射線治療技術学(兼安 祐子) .....	75
放射線管理学(油井 多丸) .....	75
放射線学演習(杉田 徹) .....	75
実験ⅢA(小山 正希・佐藤 昌憲・ 牧野 元治) .....	75
実験ⅢB(青木 清・杉田 徹・ 永井 喜則) .....	76
実験ⅢC(山本 裕右・田島 隆・ 山口 彦之・大田 忠親) .....	76
実験ⅢD(榊 徳市・榊 英次・ 牧野 元治) .....	76
応用計測学(榊 英次) .....	76
化学特論(山本 裕右) .....	76
画像工学Ⅱ(榊 英次) .....	76
放射線学特論(山口 彦之) .....	76
放射線学特別演習(青木 清) .....	77
放射線学特別演習(金場 敏憲) .....	77
放射線学特別演習(佐藤 昌憲) .....	77
放射線学特別演習(清水 忠良) .....	77
放射線学特別演習(山本 裕右) .....	77
放射線学特別演習(榊 英次) .....	77
病院実習Ⅱ(榊 徳市) .....	77

# 放射線科

## 専門教育科目

### 解剖学

本 間 襄

診療放射線技師として必要な人体解剖学を学び、画像との関係を習得する。

〔教科書〕吉川・星・林共著『解剖生理学』

(金原出版) ¥3,000

### 生理学

樋 口 雄 三

生体は、各部分がばらばらに機能しているのではなく神経性調節と内分泌性調節の連関により、全体的つながりのもとに動き、恒常性を維持している。講義では、いろいろな生命現象がどのような機序で行われているのかをわかりやすく解説する。

〔教科書〕中野昭一他著、新臨床検査技師講座『生理学』(医学書院) ¥3,200

〔参考書〕古河・本田共著『現代の生理学』(金原出版) ¥9,800

### 衛生学及び公衆衛生学

吉 田 稔

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。このように公衆衛生は集団を対象とするため、そのアプローチには疫学的技法が用いられる。疫学は疾病の流行を客観的に示し、その予防対策に大きく寄与する。ここでは公衆衛生が果たす役割について学ぶ。

〔教科書〕石川哲也他著『新編公衆衛生学』(東京教学社) ¥1,854

〔参考書〕『国民衛生の動向』(厚生指標 臨時増刊)厚生統計協会  
厚生省編『厚生白書』  
(厚生省統計協会)  
環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

### 放射線基礎数学

清 水 忠 良

基礎数学について、演習を中心として行う。

行列・行列式

数値計算法

尚、計算機言語概論の内容を前提とします。

〔教科書〕矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)

### 近代物理学序論

清 水 忠 良

次の項目について学びます。

1. 古典力学の成立
2. 近代物理学の発生
3. 相対性理論
4. 量子論

〔教科書〕原 康夫『詳細物理学』(東京教学社) ¥2,266

### 放射線物理学 I

小 山 正 希

光子の発生と物質との相互作用を中心とする。主としてX線に関して

- (1) X線の発生
- (2) X線と物質との相互作用
- (3) 電子と物質との相互作用
- (4) X線の減弱
- (5) X線の線質評価



- (6) 光子と物質との相互作用に関する単位系
- (7) X線回折

### 放射化学序論

田 島 隆

2年次、3年次履修する「放射化学」「放射線生物学」「放射線医学概論」その他核医学関係の教科目と1年次で並行する「放射線写真学」の何れも「分子」のレベルで考えることによって発展、開発された学問である。これらを学ぶ上で「分子」の概念は基礎として、どうしても必要である。そこで、ここでは高校で学んだ化学と、これら各専門の学問を継ぐ架け橋としての化学を講ずる。特に演習の時間がないので学生諸君が各自で教科書にある練習問題をこなして欲しい。

〔教科書〕磯 直道著『化学通論』（東京教学社）  
¥1,957

### 電 気 工 学

佐 藤 昌 憲

電気全般にわたる広い知識を得ることを目的として、つぎのような内容で講義を行う。

- (1)直流回路 (2)電流と磁気 (3)静電気 (4)交流
- (5)変圧器 (6) 過渡現象

なお講義の間に演習問題を多く取り入れる。

〔教科書〕『新電気基礎問題集』（綜文館）  
¥800  
『電気基礎 上』（東京電機大学）  
¥2,000  
『電気基礎 下』（東京電機大学）  
¥2,100

### 放射線機器工学 I

榊 徳 市

各種エックス線撮影装置、附属装置、機器、用具を知り、動作原理、取り扱い法を習得させる。実験 I A・I B・II Aとの関連が深い。

〔教科書〕立入 弘監修『診療放射線技術』（上）  
（南江堂）¥6,800  
〔参考書〕村上晃一著『放射線機器工学』  
（南山堂）¥3,500  
青柳泰司著『放射線機器学』（通商産業研究社）¥12,000

### 放射線写真学

田 本 祐 作

放射線および光による医用画像について、その形成原理、形成手段、画像の解析法、および画質の評価法等を中心に実社会で真に有用な人材の育成をモットーに講義する。

- (1) 放射線写真と写真のシステム
- (2) 感光材料と増感紙
- (3) 感光および現像処理の理論と化学
- (4) センシトメトリー
- (5) 画像の写真特性
- (6) 画像の解析法と画質の評価法
- (7) フーリエ解析の基礎

〔教科書〕宮川俊夫・久江田昌著『新版 放射線写真学』（アドバンス出版）¥4,800

〔参考書〕江頭元樹著『放射線写真学』（金原出版）¥3,500  
友田宜忠著『写真科学』（通商産業研究社）¥8,000

### エックス線撮影技術学 I

金 場 敏 憲

X線撮影技術概論、X線撮影の基礎技術等に関する講義をする。概容は以下の通りである。

- (1)X線撮影技術学とは (2)X線像の形成 (3)撮影理論 (4)一般撮影 (5)特殊撮影 (6)その他撮影

〔教科書〕立入 弘監修『診療放射線技術』  
〔上巻〕（南江堂）¥6,800  
〔参考書〕多田信平著『X線解剖学図譜』（マグプロス）¥12,000  
蜂屋順一著『放射線と看護』（文光堂）  
¥1,600  
江副正輔他『X線撮影技術学』（南山堂）

### 実 験 I A

本 間 襄・榊 徳 市  
金 場 敏 憲

- 1) エックス線装置の構造と取り扱い
- 2) エックス線の照射条件設定と照射
- 3) 特殊撮影法の基礎
- 4) エックス線写真の各種の計測
- 5) 撮影室の放射線管理
- 6) 個人被曝管理の基礎

- 7) 写真技術の基礎  
 8) 暗室、現像装置の正しい使用方法  
 などを中心に各種の実験を行う  
 [教科書] 放射線機器工学 I と同じ

### 実験 I B

清水 忠良・佐藤 昌憲  
 松林 哲夫・水原 律子

次の項目を中心とした実験を行います。  
 (1) データー処理方法 (2) 基礎的計器の使い方  
 (3) 電流・磁場の測定 (4) 数値計算 (5) その他  
 [教科書] 『実験書 (I B・II B・II C・II D・  
 III B)』 [第3版] ¥2,300

### 実験 I C

金場 敏憲・山本 裕右  
 田本 祐作

医療用画像を理解する為に必要な写真化学の基礎実験からエックス線フィルムの処理、センチメートルに至る実験を行う。  
 (1) 写真化学基礎実験  
 (2) 一般写真概要実験  
 (3) エックス線フィルムの特性実験  
 (4) 感光材料のセンチメートル  
 (5) 画像処理  
 (6) 放射線管理に関すること  
 [教科書] 宮川俊夫他『新版 放射線写真学』  
 (アドバンス出版) ¥4,800  
 [参考書] 江頭元樹『放射線写真学』  
 (金原出版) ¥3,500  
 内田 他『放射線画像情報工学 I・II』  
 (通商産業研究社) ¥8,000・¥9,800

### 実験 I D

田島 隆・山本 裕右  
 五百蔵 良・原田 和正

2, 3年次の実験 II, III における化学分野の基礎となる操作法を修得することを目的とした実験を行う。ここでは個々の知識を学ぶことも必要であるが、科学者、技術者としての「ものの考え方」を身につけて貰うことが重要である。  
 1. 重量測定, ガス細工 6. 酸化還元滴定  
 2. 分子模型 7. pHの測定  
 3. 無機化合物の合成 8. 比色分析

4. 薄層クロマトグラフィー 9. イオン交換樹脂  
 5. 中和滴定  
 [教科書] プリント使用。

### 計算機言語概論

杉田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語である BASIC を中心に、アルゴリズム的発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行なう。

1. コンピュータ言語の基本理論
2. BASIC 言語
3. パーソナルコンピュータ (PC-9801) による実習

[教科書] コンピュータ教育工学研究所編ガイドブック『BASIC』 (サイエンス社)  
 ¥1,854

### 医学概論

本間 襄

医学とは何か。正しい医療はどうあるべきか。病気と人間のかかわり。診断・治療・予防について学ぶ。

[教科書] ① 日野原重明著『医学概論』 (医学書院) ¥1,200  
 ② 日本救急医学会救急法教育委員会編『図説 救急安全教本』 (大修館書店) ¥500

### 臨床医学概論

本間 襄

診療放射線技師がわきまえておく必要のある診断と治療に関する知識の修得を目的としている。  
 [教科書] 玉木正男・林 文子共著『臨床医学概論』 (名古屋大学出版会) ¥3,500

## 放射線生物学

山口彦之

放射線の生物に及ぼす作用は、放射線のもつ物理的特性と放射線に対する生物の特性によって生ずる。つぎのような内容で講義する。

- (1) 生体高分子の放射線化学反応
- (2) 細胞小器官に対する作用
- (3) 突然変異の誘発
- (4) 細胞に対する作用
- (5) 放射線感受性
- (6) 生体に対する作用
- (7) 放射線の防護

なお、該当する国家試験科目は「放射線生物学」である。

〔教科書〕山口彦之著『放射線と人間のからだ』（啓学出版）¥3,500

## 生化学

田島隆

病理・生理学、放射線治療への橋渡しとなることを目的とするが、時間の都合上物質論を省略し、代謝を中心に動的な面を重視する。

1. 生命現象（生体、生命、細胞、統一説と進化論）
2. 解媒作用（酵素の本体とその作用機構）
3. 生体成分（タンパク、炭水化物、脂質）
4. 代謝（異化作用と同化作用）
5. エネルギー（ATPとエネルギー変化）
6. 情報伝達（核酸、タンパク合成、遺伝暗号）
7. 調節機構（遺伝、神経、ホルモン・酵素の調節）
8. 今後の課題（分化、老化、脳、癌）

〔教科書〕入野・菅野・瀬山・山川共著『パラメディカルの生化学』（三共出版）¥2,600

## 病理学

本間襄

専門職に必要な病理学を学ぶ。

〔教科書〕中村・坂本編『系統看護学講座・病理学』（医学書院）¥1,700

## 応用数学

武中英治

微分、積分学を発展させて、関数の級数展開、波形分析、微分方程式の立式と解法などについて学ぶ。

1. 微分、積分の応用
2. 級数展開
3. フーリエ級数と波形分析
4. 一階微分方程式の解法
5. 二階微分方程式の解法

なお、随時演習を行う。

〔教科書〕矢野・石野共著『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

## 放射線物理学Ⅱ

青木清

放射線物理学Ⅰを基礎とし、主として放射能に関する講義を行う。

- (1) 原子核の性質（結合エネルギー、核模型）
- (2) 原子核壊変（ $\alpha$ ・ $\beta$ 壊変、 $\gamma$ 線放射）
- (3) 核反応（Q値、しきい値、複合核）
- (4) 中性子（発生、減速）
- (5) 原子炉
- (6) 素粒子

〔参考書〕田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）

## 放射化学

山本裕右

本講義においては、すでに1年で学んだ放射化学序論および放射線物理学Ⅰ、さらに2年で並行して学ぶ放射線物理学Ⅱで得た化学的、物理的知識を基に、R Iの化学について学ぶ。

- (1)放射性核種 (2)放射平衡 (3)R Iの製造
- (4)R Iの分離、精製 (5)放射能を利用する分析法 (6)標識化合物

〔参考書〕日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）¥1,133

## 電子工学

杉田 徹

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基盤技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い、講義を進める。基本的な知識の習得を心掛けて欲しい。

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

〔教科書〕宇佐美 晶, 曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論 (日本理工出版会)』¥2,500

## 放射線機器工学Ⅱ

武中 英治

診断用X線装置の動作理論とその特性について学ぶ。

1. 総論, 2. 診断用X線管, 3. 高電圧発生装置, 4. X線制御装置, 5. コンデンサ式X線装置, 6. X線機械装置, 7. X線映像装置

なお, 随時演習を行う。

〔教科書〕青柳泰司著『放射線機器工学 (I)』(コロナ社)

〔参考書〕村上晃一著『放射線機器工学』(南山堂)

## 放射線機器工学Ⅲ

櫃尾 英次

加速器は原子核物理学の研究のほか医療分野でも多く使われている。特に線形電子加速器は、放射線治療で重要な役割を担っている。この講義では、荷電粒子やX線を発生させる種々の加速器について、その動作原理、特長および性能について述べる。線形電子加速器については、治療に関する基礎的な知識が習得できるように講述する。

〔参考書〕熊谷寛夫編『実験物理学講座28 加速器』(共立出版)

## エックス線撮影技術学Ⅱ

金場 敏憲

近年における医用画像技術の進歩は著しく、医療の中での位置づけは増々重要になってきている。そこでこれら医用画像形成技術の中心であるエックス線撮影について学ぶ。この分野は多くの学問の上に立脚しているといっても過言ではない。とくに解剖学、生理学、X線解剖学、体表解剖学、機器工学、画像工学が重要な因子となる。

〔教科書〕立入 弘著『診療放射線技術』上巻(南江堂) ¥6,800

〔参考書〕江副正輔(他)『X線撮影技術学』(南山堂) ¥3,600

山下(他)『放射線検査学・X線』(通商産業研究社) ¥13,500

蜂屋順一『放射線と看護』(文光堂) ¥1,600

多田信平『X線解剖学図譜』(マグプロス) ¥12,000

## 放射線計測学

小山 正希

およそ次の項目に関する講義を行う。

- (1) 電離箱の動作原理, その種類と計測法。
- (2) 吸収線量の計測原理と方法。
- (3) 計数管の種類と計測法。
- (4) 半導体検出器の原理と応用。
- (5) 線量計の種類と応用。
- (6) 測定用電子回路の基本機能。
- (7) シンチレーション型検出器の種類と計測法。
- (8) 波高分析の原理と応用。
- (9) 組織照射に関する基本関数。

〔参考書〕プライス著『放射線計測学』(コロナ社)

## 関係法規

油井 多丸

診療放射線技師は放射線・ラジオアイソトープに関係する法体系を知り、技師の法的な立場を熟知しておく必要がある。また、職業から放射線障害の防止についても法規制の内容を十分に知っていなければならない。

関係法規とは医療法、技師法、電離則(労働法)、人事院規則、放射線障害防止法などである。

法律の講義は、とかく無味乾燥になりがちである。出来るだけ自然に必要な諸項目を諸君の身に付けられるように心掛けたい。

国家試験該当科目は「放射線管理学」である。  
〔教科書〕日本アイソトープ協会編『アイソトープ法令集1』（丸善）¥2,060

〔参考書〕同協会編、『アイソトープ法令集2及び3』、『アイソトープ手帳』¥1,200

## 実験 II A

金場敏憲・榊徳市  
阿部敏・金谷信一

人体ファントムを使って身体各部位のX線撮影をする実験で、X線撮影、X線像のヒズミ、感材系の選定法、被曝軽減のための技術を学ぶ。

毎回の実験終了後、実験結果をまとめた報告書を提出する。

〔教科書〕立入弘著『診療放射線技術』〔上巻〕（南江堂）¥6,800

〔参考書〕山下他著『放射線検査学（X線）』（通商産業研究社）¥13,500  
江副他『X線撮影技術学』（南山堂）¥3,600

## 実験 II B

小山正希・武中英治  
佐藤昌憲・小林久夫

主として放射線の測定に関する実験を行う。

- (1) 制動X線の実効エネルギーの決定。  
連続エネルギースペクトルである制動X線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
- (2) 2次電子平衡に達する物質の厚み決定。  
 $^{60}\text{Co}$ 線源によって電離箱の壁厚における2次電子平衡厚さを決定する。吸収線量率、照射線量率との係わりを知る。
- (3) GM計数管の基礎特性  
分解時間と弁別レベル、ダブルパルス分解能、プラトーの意味、印加電圧と有効体積、統計など。
- (4) 外挿電離箱による吸収線量の測定。

〔教科書〕実験プリント

〔参考書〕プライス著『放射線計測学』（コロナ社）

## 実験 II C

杉田徹・青木清護  
木村登・川副

下記の項目について実験を行う。

- (1) 真空管（三極真空管の静特性）
- (2) 半導体素子（ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性）
- (3) 集積回路（オペアンプとデジタル素子）
- (4) パルス波形の観測（シンクロスコープによる観測）
- (5) 波形変形回路（微、積分回路、ダイオードクリッパー）
- (6) 波形整形回路（シュミット・トリガー回路の特性）
- (7) パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅰ）
- (8) パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅱ）

〔教科書〕『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）』（第三版）¥2,300

## 実験 II D

杉田徹・青木清廣  
木村登・吉田正

下記の項目について実験を行う。

- (1) コンデンサーの充放電特性
- (2) 直、並列共振（共振現象の基礎知識を得る）
- (3) 交流ブリッジ（インダクタンス、キャパシタンス）
- (4) R-C回路（インピーダンスとベクトル）
- (5) 整流回路（整流と平滑、定電圧回路）
- (6) 変圧器（電磁誘導、巻数比と電圧比）
- (7) 三相12パルス整流回路（多相整流）
- (8) 高電圧発生回路（倍電圧、コッククロフト回路）

〔教科書〕『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）』（第三版）¥2,300

## 実験 II E

武中英治・榎尾英次  
山口彦之・牧野元治

放射線機器工学で履修する理論について、実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置の取扱法を習熟させることを目的としている。

1. X線管焦点の測定

2. 断層撮影装置の特性
3. 限時装置の特性
4. 单相全波整流装置の特性
5. 三相全波整流装置の特性

〔教科書〕プリント

〔参考書〕『JISハンドブック, 放射線(能)』  
(日本規格協会)

### 臨床放射線特論 I

本 間 襄

医療の中で、診療録・依頼箋の内容を理解し、相互のコミュニケーションに欠かせない外来医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

他学部履修では、将来病院や医学関係の仕事につく人に必要な知識といえる。

〔教科書〕定めず。

### 臨床放射線特論 I

山 口 彦 之

診療放射線技師として必要な外来医学用語、技術用語について講述する。

〔参考書〕二宮陸雄著『医学ラテン語』(講談社サイエンティフィック) ¥2,300

### 病院実習 I

榊 徳 市

1. 病院実習についての心構え。
2. 撮影装置、機器の予備知識。
3. X線撮影法の予備知識。
4. 患者の心理について。
5. 放射線技師としての患者接遇法。
6. 実習手続き。
7. 実習記録について。
8. 実習病院の決定。

〔教科書〕『病院実習要項』

### 放射線医学概論

本 間 襄

基礎医学(解剖学・生理学・病理学など)の復習と、実技との関連について学習する。

〔教科書〕加藤征治著『解剖学の要点』(金芳堂)  
¥3,800

### 自動制御工学

青 木 清

自動制御の基礎的な理論を解説する。内容は下記の通りである。

1. 自動制御の概要
2. フィードバック制御
  - (1) 伝達関数とブロック線図
  - (2) 動作特性(過度特性と定常特性)
  - (3) 周波数応答
  - (4) 安定判別
3. シーケンス制御
  - (1) 基本素子と論理図
  - (2) 基本回路

〔参考書〕柳瀬晴海著『自動制御の入門』  
(東京電機大学出版局) ¥550

### 放射線機器工学IV

中 本 淳

放射線計測に関するもののうち、主として次の項目について述べる。

1. 電子線計測の原理と実際
2. 各種線量計の原理と実際
3. 中性子計測の原理と実際
4. 多重波高分析の原理と実際
5. その他(液体シンチレーション計測法, 特殊放射線計測機器等)

〔参考書〕加藤弥次郎著『診療放射線計測法』  
(第2版) (医歯薬出版)  
阪井英次著『放射線計測の理論と演習』  
(現代工学社)

### 画像工学 I

檀 尾 英 次

最近のIC技術の進歩はめざましく、小型で大容量、高速のコンピュータがさまざまな分野で使われている。医学の分野でも、X線CT装置やMRI装置などの画像処理技術を利用した装置は、臨床診断に不可欠なものとなりつつある。

本講義においては、画像工学の基礎の習得に重点をおき、画像情報の特徴、視覚の特性、画像の表示および画像の変換について述べる。

〔教科書〕安居院猛・中嶋正之共著『画像工学の基礎』(昭晃堂) ¥2,900

〔参考書〕長谷川伸著『画像工学』(コロナ社) ¥2,000

### 放射性同位元素検査技術学

榊 徳 市

放射線医学の一部門である核医学の検査技術学である。非密封の放射性同位元素 (R I) の医学的利用であり, 生体内の各種の生理・生化学的過程に対応し, R I 標識化合物を, 物理的, 化学的, 生化学的トレーサとして多用している。これらの R I を直接体内に投与して体外より測定する in vivo 検査法と, 生体外で試料中の微量成分の分析に R I を応用する in vitro 検査法があり, さらに R I による治療も含め, 核医学に関する必要な生体の生理, 代謝機能, 病態および検査技術, 情報処理技術などについて講述する。

〔教科書〕『核医学検査技術 (インビボ編)』(通商産業研究社) ¥4,000

『核医学検査技術 (インビトロ編)』(通商産業研究社) ¥4,000

〔参考書〕木下文雄, 久保敦司著『核医学ノート』(金原出版株式会社) ¥3,800

### 放射線治療技術学

兼 安 祐 子

前半では放射線生物学や治療装置, 線量測定と線量分布等の基礎的項目について考える。また後半では放射線治療の計画と実技, 線量分布と照射法, 密封小線源治療等の実際の問題について検討してゆきたいと思う。

〔教科書〕村上晃一著『放射線治療技術』¥2,060  
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻  
改訂第5版 ¥5,800

### 放射線管理学

油 井 多 丸

放射線管理学は安全取り扱いの学問である。核物理, 化学, 生物学及び工学など技術的分野と法律や対人関係を包括する社会科学的分野など広範囲にわたる知識とその応用が要求される。

幸い診療放射線技師は, そのほとんどの分野の知識を講義として受けている。あとはその応用の

方法を会得することにある。まとめあげることが主眼としたい。

I C R P 勧告の理念から始まり, 放射線防護の原則, 環境管理と個人管理, 防護基準, 環境・個人モニタリング, 放射性廃棄物の処理, 放射線事故と対策および放射線管理の組織などについて述べる。

国家試験該当科目は「放射線管理学」である。

〔教科書〕辻本 忠/草間朋子著『放射線防護の基礎』第2版(日刊工業) ¥2,800

〔参考書〕『医療のための放射線防護』

(真興交易医書出版)

『障害防止法令集1』(前期使用)

『アイソトープ手帳』(丸善)

### 放射線学演習

杉 田 徹

診療放射線技師教育の全般にわたる復習及び演習を行う。

〔教科書〕『診療放射線技師国家試験対策全科(第4版)』(金芳堂) ¥8,200

### 実 験 III A

小 山 正 希・佐 藤 昌 憲  
牧 野 元 治

放射能の測定を中心とする。

テーマに関連する重要事項(例えば註)も取扱う。

- (1) 深部線量百分率の測定。(吸収線量測定の概念)
- (2) シングル及びマルチチャンネル波高分析器による $\gamma$ 線の測定。(パルス波高分析法の実際)
- (3) 半導体検出器による $\alpha$ 線の測定。
- (4) 同時計数回路によるサムピークの測定。
- (5) GM計数管による壊変率の測定。

- 註) ① 組織照射に関する諸関数。  
② 各回路の動特性 (パルス波形整形, など)  
③ 半導体検出器の静, 動特性。  
④ パルス計測システムの構成法。

〔教科書〕実験プリント (通商産業研究社)

### 実験 III B

青木 清・杉田 徹  
永井 喜 則

自動制御の基礎実験ならびに放射線機器で使用されている制御機構についての実験を行う。

- (1) フィードバック制御 (応答特性, 安定判別, 自動電圧調整)
- (2) シーケンス制御 (論理動作, タイマー)
- (3) コンピュータ制御 (入出力装置, A-D変換)

〔教科書〕『実験書 (I B・II B・II C・II D・III A・III B)』〔第三版〕¥2,300

### 実験 III C

山本 裕 右・田 島 隆  
山口 彦 之・大 田 忠 親

診断用放射性同位体として、現在最も広く使われている $^{99m}\text{Tc}$ のミルクングを行う。本実験では $^{98}\text{Mo}$ を原子炉で照射し、生成した $^{99}\text{Mo}$ から生じる娘核種である $^{99m}\text{Tc}$ を化学的に分離し、 $\gamma$ 線スペクトルおよび半減期を測定する。また、これらの操作を通し、非密封放射性物質を取扱う上での注意を体得してもらう。放射性同位体は医学、化学、生物などの研究において極めて有用なものであると同時に危険なものでもある。従って、事前に実験操作を十分理解しておくと同時に、取扱う放射性同位体の性質を十分調べておくことが必要である。

なお本実験のhot run は校外実習として行う。

### 実験 III D

榊 徳 市・樫 尾 英 次  
牧 野 元 治

以下のテーマについて実験を行う。

1. 甲状腺ヨード摂取率法
2. 超音波検査法
3. 同時計数法による吸収計数の消定
4. ポジトロンエミッションCT
5. ガンマカメラ性能評価
6. データ処理法

〔参考書〕厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準ハンドブック』(日本アイソトープ協会) ¥1,100  
『医療用アイソトープの取扱いと管理』

〔改訂3版〕(日本アイソトープ協会)

¥3,600

松平正道著『放射線検査学(核医学)』

(通商産業研究社) ¥9,500

### 応用計測学

樫 尾 英 次

医用画像診断装置は、コンピュータ技術の進歩と共に診断には不可欠なものとなってきた。この講義では、核医学機器(ガンマカメラ, シングルホトンECT, ポジトロンCT), X線CT装置, MRI装置のハードウェアとソフトウェアについて概説する。また超音波診断装置, DSA, CRならびにPACSについても、その概要を講述する。

〔参考書〕岩井喜典他編著『医用画像診断装置』(コロナ社)

### 化学特論

山本 裕 右

核医学で最もよく用いられているテクネチウムを中心に、キセノン、クリプトン、ガリウム、タリウム、ヨウ素等の元素の化学、および、それらの放射性核種の核的性質、製法について講義する。

### 画像工学II

樫 尾 英 次

画像工学Iで習得した知識を基に、画像の解析、画像の認識および画像情報機器についても講述する。また、コンピュータトモグラフィ(CT)とMRIイメージングの画像処理技術について習得を図る。

〔教科書〕安居院猛・中嶋正之共著『画像工学の基礎』(昭晃堂) ¥2,900

### 放射線学特論

山 口 彦 之

放射線防護の概念、放射線防護に必要な物理的・生物学的基礎、超音波および核磁気共鳴の影響、医療における患者の被曝、患者防護の方法、医療



従事者の職業上の被曝と防護などについて述べ、医療における放射線防護を実践する上で要求される知識を整理する。

〔教科書〕日本医学放射線学会・日本アイソトープ協会編『放射線診療における被曝の管理』（丸善）¥2,350

#### 放射線学特別演習

青 木 清

診断用エックス線およびその散乱線のエネルギースペクトルに関して、半導体検出器を用いた測定や、パソコンによるシミュレーションを行う。

#### 放射線学特別演習

金 場 敏 憲

撮影技術学に関するテーマを選び、簡単な実験を実施後、論文としてまとめ、発表出来るようにする。

#### 放射線学特別演習

佐 藤 昌 憲

電離箱による放射線計測、画像処理、レーザー工学分野におけるテーマで研究を行い、研究発表ができるように指導する。

#### 放射線学特別演習

清 水 忠 良

パソコンを用いて量子力学の入門を学ぶ。

#### 放射線学特別演習

山 本 裕 右

従来の写真フィルムとは異なる、X線画像形成用イメージングプレートの材料となる新しい発光体の開発、およびその諸特性の検討を行う。

#### 放射線学特別演習

櫃 尾 英 次

ニューロコンピュータは種々の分野で研究されているが、パソコンを利用してシミュレーションを行う。ニューロプログラムにより、手書きの文字や数字を認識する基礎的な研究を行う。

#### 病院実習Ⅱ

榊 徳 市

1. 病院実習についての心構え。
2. 核医学実習の予備知識。
3. 治療実習の予備知識。
4. 患者の心理について。
5. 放射線技師としての患者接遇法。
6. 実習手続き。
7. 実習記録について。
8. 実習病院の決定。

〔教科書〕『病院実習要項』



# 他学部履修科目

(全学部・短大共通)

※他学部科目の講義内容が掲載されているが、受講できる科目は各学部・短大によって異なっている。(履修についての詳細は、「他学部科目の履修方法」を参照すること。)

# 目 次

禅学特講Ⅰ(原田 弘道)……………	1	教育経済論(谷敷 正光)……………	12
禅学特講Ⅱ(黒丸 寛之)……………	1	アメリカ経済論(瀬戸岡 紘)……………	12
禅学特講Ⅲ(石井 修道)……………	1	財務会計論(遠藤 孝)……………	13
禅学特講Ⅳ(鈴木 格禅)……………	1	管理会計論(中原 章吉)……………	14
禅学思想史(峰岸 孝哉)……………	1	会計監査論(飯岡 透)……………	14
哲学史(中村 友太郎)……………	1	商業政策(岩下 弘)……………	15
インド仏教史(田上 太秀)……………	2	貿易論(古沢 紘造)……………	16
中国仏教史(佐藤 達玄)……………	2	マーケティング(曾我 信孝)……………	16
日本仏教史(石川 力山)……………	2	原価計算論(加藤 利安)……………	17
日用經典(皆川 広義)……………	2	労務管理論(前期:石井 脩二)……………	18
仏教美術(中島 亮一)……………	2	(後期:庄村 長)	
現代哲学概説(田島 節夫)……………	2	行政法Ⅱ(齊藤 寿)……………	18
上代文学(小野 寛)……………	3	民法Ⅳ(1)(青山 尚史)……………	19
中世文学(水原 一)……………	3	民法Ⅳ(2)(青山 尚史)……………	19
近世文学(富士 昭雄)……………	3	比較憲法(竹花 光範)……………	19
近代文学(菊地 弘)……………	3	経済法(川井 克俊)……………	19
中国文学(中村 璋八)……………	3	国際関係論(首藤 素子)……………	19
英文学特講Ⅰ(石原 孝哉)……………	3	西洋政治史(浦田 早苗)……………	20
英文学特講Ⅱ(高野 正夫)……………	3	宣伝広告論(上條 末夫)……………	20
英文学特講Ⅲ(岡崎 寿一郎)……………	3	政党論(岩井 奉信)……………	20
英文学特講Ⅳ(中岡 洋)……………	4	経営統計(後藤 儀一郎)……………	20
英文学特講Ⅴ(高松 雄一)……………	4	国際経営論(桑名 義晴)……………	20
英文学特講Ⅵ(丸小 哲雄)……………	4	保険経営論(石名坂 邦昭)……………	20
英米演劇特講(落合 和昭)……………	4	財務会計論(渡邊 恵一郎)……………	21
米文学特講Ⅰ(東 雄一郎)……………	4	経営分析論(片桐 伸夫)……………	21
米文学特講Ⅲ(原川 恭一)……………	4	税務会計論(高木 克己)……………	21
時事英語(坂本 武)……………	5	経営労務論(中村 真人)……………	21
地形学Ⅰ(小池 一之)……………	5	商業史(山田 勝)……………	21
地質学(貝塚 爽平)……………	5	国文講読Ⅰ(上代)(佐原 作美)……………	21
人口地理学(土谷 敏治)……………	5	国文講読Ⅱ(中古)(鈴木 裕子)……………	21
応用地理学Ⅰ(鶴見 英策)……………	5	国文講読Ⅲ(中古)(蘭部 幹生)……………	22
文化地理学(菱口 善美)……………	5	国文講読Ⅳ(近世)(清田 啓子)……………	22
日本史特講Ⅶ(近代)(山口 一之)……………	5	国文講読Ⅴ(近・現代)(田澤 英藏)……………	22
東洋史特講Ⅹ(近・現代)(安藤 正士)……………	5	国文講読Ⅴ(近・現代)(尾形 国治)……………	22
歴史哲学(麻生 建)……………	6	国文特講Ⅴ(近・現代)(大室 英爾)……………	22
哲学史(丸山 豊樹)……………	6	英文タイプライティングⅡ(竹内 美恵子)……………	22
日本民俗学(谷口 貢)……………	6	時事英語(岡本 誠)……………	22
マスコミュニケーション(川本 勝)……………	6	英語演習Ⅰ(岡本 誠)……………	22
産業社会学(安藤 喜久雄)……………	6	計算機言語概論(杉田 徹)……………	23
都市社会学(江上 涉)……………	6	臨床放射線特論Ⅰ(本間 襄)……………	23
社会福祉発達史(林 千代)……………	6	応用計測学(櫃尾 英次)……………	23
ロシア・東欧経済論(山縣 弘志)……………	7		
社会政策(光岡 博美)……………	7		
国民所得論(吉野 紀)……………	8		
中国経済論(小杉 修二)……………	9		
アジア経済論(小林 英夫)……………	10		
日本経済史(古庄 正)……………	10		
中小企業論(三井 逸友)……………	11		

# 他学部履修科目

## 禅学特講Ⅰ

原田弘道

### 禅宗と公案

公案は禅宗における經典観と深いかわりをもつ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。

(1)公案の起源と歴史、看話禅の成立 (2)曹洞宗と公案 (3)公案の諸相、公案の意義と機能。以上の順序で講義を進める。

## 禅学特講Ⅱ

黒丸寛之

道元禅師と『法華経』について、『正法眼蔵』の所説を中心として講述し、併せて良寛の『法華転』『法華讃』を読む。主な講本となる『正法眼蔵』は、既刊本の何れでもよいから、各自に必ず用意して受講されたい。

## 禅学特講Ⅲ

石井修道

平成4年度について『大慧書』を読む。大慧宗杲は看話禅の大成者である。その後の禅思想に大きな影響を与えた大慧の看話禅の性格は、『大慧書』に最もよくあらわれている。書とは、手紙のことであり、大慧が居士に与えた手紙を中心としているので、主張は明瞭である。宋代禅の性格を知る入門書と言えるであろう。荒木見悟博士の訳注本もあるが、まず禅録になれる意味もふくめて和刻本をテキストにして、和刻本の誤読についても言及したい。

〔参考書〕石井修道『禅語録』（中央公論社）  
¥5,200  
荒木見悟『大慧書』（筑摩書房）  
¥3,500

## 禅学特講Ⅳ

鈴木格禅

### 『見聞宝永記』講読

本書は通常『損翁老人見聞宝永記』と呼ばれる。損翁老人とは、仙台の泰心院に往した損翁宗益（1649～1708）のことである。損翁は面山瑞方（1683～1769）の師であり、面山の宗教的人格形成に頗る影響を与えた古聖である。面山が損翁に随侍したのは約二年間程にすぎないが、その間における損翁の法益を集録したのが本書である。従って本書は、損翁における面山の「随聞記」といってよく、内容は多岐にわたるが、その根底には、現状にもなお光輝を放つ洞門の宗教的志操が一貫して流れている。

本学年度は、前年度にひきつづき本書を講読し、学道の資助としたい。

〔教科書〕教員より配布する。

## 禅学思想史

峰岸孝哉

禅学思想史の範囲はもとより広く考えられるが、本年は日本禅、とりわけ永平道元（1200～53）の流れを汲む曹洞教団の展開に注目し、そこにみられる教学・思想の歴史的性格を跡付けてみたい。

〔教科書〕『道元禅の歴史』〔講座道元Ⅱ〕  
（春秋社）

〔参考書〕鈴木泰山著『禅宗の地方発展』  
（吉川弘文館）

廣瀬良弘著『禅宗地方展開史の研究』  
（吉川弘文館）

## 哲学史

中村友太郎

西洋の思想と文化は、ヘレニズムとヘブライズム、ギリシア哲学と聖書的信仰の結合の上に形成されてきた。ここではとくにキリスト教的な中世哲学の形成とその展開をあとづけることを主眼と

したい。それは、神・自然・人間をめぐる理性的立場と信仰の立場との対決・調和・抗争の思想史という様相を呈するであろう。なお前期にはその背景となるギリシヤ哲学史を簡単に展望することから始めたい。

〔教科書〕開講時までに決定する。

〔参考書〕その都度指示する。

## インド仏教史

田上太秀

1. 仏教の起源と発展
2. 経典の成立・種類・思想など。
3. 仏教の人間観・政治批判・経済倫理・自然観・教育思想・家庭倫理など。

〔教科書〕プリント使用

〔参考書〕田上太秀『禅の思想』（東京書籍）

¥1,009

『禅語散策』（東京書籍）¥1,000

## 中国仏教史

佐藤達玄

中国民衆の仏教受容と、固有思想との関係を概観した上で、隋代より唐宋代に至る間の儒仏道三教の交渉史を中心に考察したい。

〔教科書〕『仏教史概説—中国篇』（平楽寺書店）

## 日本仏教史

石川力山

日本における「仏教伝来の意義」といった課題を軸にして、日本に仏教が伝来した当初からの歴史を辿りつつ、日本思想史・宗教史上において果たしてきた仏教の役割を明らかにしたい。特に、中世における鎌倉新仏教の成立は、急速に仏教が社会のすみずみにまで浸透する契機となり、それにとともに、さまざまな社会問題にも関与することになって、正・負の両面に機能を果たすことになった。この授業では、仏教思想の流れとともに、こうした社会的機能の側面についても、あわせて検討していきたい。

〔参考文献〕辻善之助『日本仏教史』（全10巻、岩波書店刊）

家永三郎・圭室諦成・赤松俊秀監修  
『日本仏教史〈古代篇〉〈中世篇〉

〈近世・近代篇〉』（全3巻、法蔵館刊）

川岸宏教・速水侑等篇『論集・日本仏教史』（全11巻、雄山閣出版刊）

## 日用経典

皆川広義

曹洞宗における日常依用の経典ならびに宗典について解説し、宗門儀礼の意義と新しい表詮を考察する。

〔教科書〕テキスト、プリント配布

## 仏教美術

中島亮一

仏教の発生から仏像の誕生、そして敦煌を経て竜門・雲岡へ、更に日本へと東漸した遺跡を眺め（スライドで）、仏像の様式の変遷を通観し、あわせてその底流にある信仰思想の歴史も考えることとする。

従来ともすると様式史偏重であった仏教美術を、精神史（特に信仰思想史）の面からも考察し、政治と仏教、風土と仏教、特に道教とのかわりなど、広く深く仏教美術の遺産をとおして新しい視点から考えなおしてみる。

〔教科書〕佐和隆研著『仏教美術入門』（社会思想社・教養文庫576）¥720

〔参考書〕久野健著『仏像の歴史』（山川出版社）¥1,600

## 現代哲学概説

田島節夫

今世紀哲学の多岐にわたる動向を統一ある視点から概説することは容易でないが、まず固有な意味での現代哲学の創始者たちとして、現象学におけるフッサール、分析哲学におけるフレーゲ、プラグマティズムおよび記号論におけるパースの各場合をとりあげ、相互の関連を考えながらそれぞれの業績に注目したい。西洋哲学の過去の遺産にたいして彼らのもたらしたものを問いなおすことから、今日までにあらわれた今世紀の重要な哲学的営為の意味を再考しつつ、哲学の新しい可能性をひらく道を探ることにしよう。本講義の主要部分を含むテキストとしては田島著『現象学と記号

論』を参照されたい。ただし講義ではテーマに即し新たな題材をも取り扱うであろう。

〔教科書〕田島節夫著『現象学と記号論』  
(世界書院) ¥2,500

## 上代文学

小野 寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』をよむにあたって、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについても詳細にしらべながらよんでゆく。

〔教科書〕小野 寛著『新選万葉集抄』  
(笠間書院)

〔参考書〕金井清一・小野 寛編『年表資料上代文学史』(笠間書院)

## 中世文学

水原 一

『新古今和歌集』は『万葉集』『古今集』と共に和歌史上特視すべき勅撰集である。日本美学史の上にも画期的な中世美を実現させた。これを教材として作品の解釈・鑑賞、歌人・歌壇の考察・言語美の探求などを実践する。

〔教科書〕久保田 淳『新古今和歌集』(桜楓社)

## 近世文学

富士 昭雄

芭蕉の『おくのほそ道』の講読を通して、芭蕉の俳諧文学の特質を考察する。

〔教科書〕萩原恭男 校注『芭蕉おくのほそ道』  
(岩波文庫) ¥410

## 近代文学

菊地 弘

前期は有島武郎の小説と評論と、後期は芥川龍之介の小説と評論をとりあげ、その固有の文学を考察する。

## 中国文学

中村 璋八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕『五行大義』(明德出版) ¥2,170

## 英文学特講 I

石原 孝哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を、過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ、文化のさまざまな方面から論じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』(三修社)

## 英文学特講 II

高野 正夫

イギリス・ロマン派の詩人、ワーズワス、キーツ、ブレイクなどの物語詩を中心に読んでいく予定です。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 英文学特講 III

岡崎 寿一郎

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく現代という言葉を理解することはむづかしい。この認識の方法によって、十九・二十世紀の英詩について、その現代的意味を確認したい。具体的には、十九世紀ロマン派の詩人たち、テニスン、M.アーノルドの詩の

検証を経て、ハーディ、イェイツ、D.H.ロレンス、さらに、エズラ・パウンド、T.S.エリオットの現代詩（モダニズム）について論究する。

〔教科書〕教場にて指示。

〔参考書〕教場にて指示。

#### 英文学特講IV

中 岡 洋

イギリス小説の代表的傑作*Jane Eyre*や*Wuthering Heights*を残したBrontë sistersについて、彼女たちの文学史的位相を見定め、彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕教場にて指示する。

#### 英文学特講V

高 松 雄 一

20世紀イギリスのモダニズム文学の種々相を考察する。世紀末の唯美主義批評、イェイツ、イマジズム、エリオット、ジョイスらの作品や批評を取りあげて、モダニズム文学運動の意味を考えたい。

〔教科書〕必要があれば開講時に指示する。

#### 英文学特講VI

丸 小 哲 雄

文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題であるから、批評研究は最終的には世界解釈あるいは世界認識ということになる。そのための有効な方法として伝統批評、ロシア・フォルマリズム；ニュー・クリチシズム、受容理論（読者の立場）、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズムなどの批評的考え方を講義します。同時に、作品の読み方と研究の仕方を覚えるためにテキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになる。

〔教科書・参考書〕開講時に指示します。読書のためのプリント・リスト、および、適宜必要に応じてプリントを配布します。

#### 英米演劇特講

落 合 和 昭

前期は悲劇、メロドラマ、コメディの劇の要素（筋、登場人物、テーマ、台詞、音楽、背景等）について学ぶ。

後期は演劇史に見られる主義（～ism）をギリシャ時代から現代にいたるまでを時間が許すかぎり追ってみたい。

また、講義用のテキストとしては、図や写真が多く載っているアメリカの大学生用テキストを用いる。課題としてはレポートを十数回（一回につき四百字の原稿用紙二枚程）ほど提出してもらう。

#### 米文学特講I

東 雄 一郎

十七世紀のアメリカ女流詩人、アン・ブラッドストリートから二十世紀のシルヴィア・プラスまで、約四十六人の詩人の作品を読みます。ホイットマンの〈自我の歌〉、ポーの「詩の原理」、世紀末から出発したフロスト、パウンドやエリオットのモダニズム、フォーマリストのステイーヴンズ、客観主義の即物的実践者ウィリアムズ、物質文明の神を呪詛したギンズバーグとビート詩人たち（デニーズ・レバトフ、ロバート・クリーリー等）の作品から、新世界・「楽園」の夢への憧憬、自負、挫折を考えてみます。アメリカ詩の新鮮な驚きを堪能して下さい。さらに、ハート・クレインに見られる原始主義を考え、神話のない国の包括性に言及します。

〔教科書〕新倉俊一著『アメリカ詩の世界』

（大修館）¥1,900

#### 米文学特講III

原 川 恭 一

世界最大の内乱アメリカ南北戦争は、敗者南部に復しえぬ荒廃と頽廃とをもたらした。その廢墟の中から、この南部の特殊状況を踏まえて、数多くの文学者が、文学作品が生まれ出たが、いわゆる「南部文芸復興」（Southern Renaissance）の興隆の様相を、William Faulkner以下数人の代表的作家の作品世界を中心に据えながら、歴史的、社会的視点をも構えて、出来る限り詳細に講じていきたい。

〔参考書〕福田陸太郎編著『アメリカ文学名作選—風土と文学』（中教出版）



## 時事英語

坂本 武

放送英語、新聞英語その他時事面に関する英語について、テープ等も随時併用して講義する。また、時事文を多用しての英作文の作法についても採り上げ、「読み書き聴く」の三点を重視していきたい。別名、Living Englishと呼ばれる程「生き役立つ」英語の筈である。積極的に受講してほしい。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 地形学 I

小池 一之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心に。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにしたい。(内容は最先端の知見を含む)

〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』(東大出版会) ¥4,532

## 地質学

貝塚 爽平

前期には関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象(たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成)についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論を交えて解説する。

〔教科書〕貝塚爽平著『平野と海岸を読む』(岩波書店) ¥1,200

## 人口地理学

土谷 敏治

人口の分布やその変化、人口移動について、研究の方法やこれまでの地理学の分野からの研究成果を紹介する。

## 応用地理学 I

鶴見 英策

地理学の知識と考え方及び手法を用いて行う環境調査、災害調査と予測、土地評価など、各種の調査について具体的な事例をもとに解説する。

## 文化地理学

こも  
菱 口 善 美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史(誌)、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

## 日本史特講 VII (近代)

山 口 一 之

日清戦争とその後の中国問題を講義する。

## 東洋史特講 X (近・現代)

安 藤 正 士

第2次大戦後から現在に至る日中関係を考察する。主な観点は、

- I. 時期区分
- II. 国際政治における日中関係の位置づけ
- III. 各時期における両国間を連系する主要な要素と 이슈
- IV. 日本の各時期における代表的な中国論など、政治、経済、文化など広い視野から資料を提示して講義を行う。

## 歴史哲学

麻 生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で、歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を、「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは、今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが、そもそもは「他者理解」の問題、「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）  
¥2,500

## 哲学史

丸 山 豊 樹

この講義「哲学史」の内容は「近世哲学史」である。しかし、近世哲学も古代および中世の哲学の発展・展開であるから、まず始めに古代・中世の哲学を概観した後で、近世哲学を論ずることにする。

「イギリス経験論」と「大陸合理論」によって、近世哲学の歴史は開始されるが、それはカントの「批判哲学」によって総合され、後さらに幾多の曲折を経て、現代の哲学に結実する。それらの哲学の特色を捕らえて、現代の哲学との関係を明確に示せるように講義を進めたい。

〔教科書〕講義中に、その都度指示する。

## 日本民俗学

谷 口 貢

民俗学は世代を越えて受け継がれてきたさまざまな生活慣習を通して、日本人の生活文化を明らかにしようとする学問である。授業では、各地に伝承されている具体的な民俗事例を紹介しながら、通過儀礼（人生儀礼）、年中行事、祭り、信仰、家族・親族、社会組織などについての理解を深め、民俗学の基礎的視点を学んでいきたい。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## マスコミュニケーション

川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容

過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようなかかわりをもっているか、社会学的に分析する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 産業社会学

安 藤 喜久雄

産業社会学の主要領域 — 組織、企業経営と労働者生活および労働者意識、労使関係、労働組合、職業・産業と社会、などについて概観し、そこでの社会学的諸問題が現代人にとってどのような意味をもっているか検討する予定である。

〔教科書〕安藤喜久雄『産業社会学』（学文社）¥2,500

## 都市社会学

江 上 渉

都市社会学の主要なテーマは、都市という環境がいかなる人間を生み出すのかというところにあるが、これは2つに分けて考えられる。すなわち、環境としての都市そのものが何かということと、そこで生成する都市社会とはどのような社会かという問題である。このテーマをめぐって蓄積されてきた都市構造論、都市類型論、都市機能論、都市化論、生活構造論、ライフスタイル論、都市的生活様式論、ネットワーク論、コミュニティ論などを順次考えていくことにする。

なお、テキストは特に指定しないが参考文献を適宜紹介するので、それを読むことが重要である。

## 社会福祉発達史

林 千 代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、

方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他編『社会福祉事業発達史』  
(ミネルヴァ書房)

〔参考書〕随時紹介

## ロシア・東欧経済論

山 縣 弘 志

### 〈授業内容と目標〉

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、いかなる方向かとはかくとして移行過程にあるがこの地域が従来からの歴史的経緯を背負って今後も多少とも他と区別される経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてそれはまぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義になりえたか否か自体が問われなければならないという認識が、同時代史によって求められている。社会主義であれ資本主義であれ、個別の体制は独特のあり方として捉えなければならない。その意味からも、ロシア革命による歴史の断絶か連続かの問題は、今日においては、後者に重点を置いた捉え方が妥当であるということが明らかになったのであるから、しからばロシア・東欧圏の歴史的連続性と独自性を何に求めるか、という問題も併せて探究していく必要がある。

社会主義論の原理的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制への認識が深まり、我々の時代の当面している課題が明らかになれば、自らの姿を鏡に映すという外国研究の基本的役割をいささかでも果たすことになるであろう。

### 〈授業予定〉

トピックスにコメントする機会が多いと思われるので、以下はあくまで予定とと考えて頂きたい。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論の歴史
  - (2) マルクスの社会主義論
  - (3) ロシア革命のめざしたもの — レーニン時代 —
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代

- (1) 1920年代から30年代への根本的転換
  - (2) 工業化と農業集団化
  - (3) ソ連型「社会主義」の特質
  - (4) ソ連・東欧経済圏の形成
3. 「計画経済」と经济管理システム
    - (1) 「計画経済」の成立
    - (2) 「計画化」と「計画経済」の実態
    - (3) ソ連型经济管理システム
  4. ソ連経済の到達水準
    - (1) 経済構造の特質
    - (2) 軍事生産と工業生産力
    - (3) 工業技術の諸問題
    - (4) 農業政策と農業制度
    - (5) 農業生産力
  5. 停滞からペレストロイカへ
    - (1) 経済改革の時代
    - (2) ブレジネフと停滞の時代
    - (3) ペレストロイカとその挫折
  6. ロシア・東欧経済の現状と課題
    - (1) ロシア・東欧社会の特質
    - (2) 史上経済化の諸問題 — 何から何への移行か —

### 〈成績評価〉

本講義に限らず、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを求めたい。そのような観点で、成績評価はレポート(9月提出、40点配点)と定期試験(自筆ノート持込み可、60点配点)によって行なう。

〔教科書・参考書〕

教科書はない。授業中にノートを取るのとは当然である。参考書は適宜指示する。

## 社会政策

光 岡 博 美

### 〈社会政策の内容〉

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、当時ヨーロッパの後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から、社会政策学は日本の経済学の中なかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提として、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は、政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労

働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題研究へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても、欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、日本の労働問題や労使関係の実態を分析し、労使関係をその実態に即して理解しようとする研究が大きな影響を及ぼしている。

〈本年度の講義内容〉

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会政策学の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史（戦前期）
- (4) 日本における社会政策の歴史（戦後期）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代日本の社会政策と労働問題
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上に述べた(1)～(7)の項目について、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介や解説、最近注目されている外国人労働者問題や女性労働問題などの時論、私が専門的に研究してきた問題なども、できるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

また、授業とは直接関連はないが、労働問題を考えるうえでも有益と思われるような名作（映画）を鑑賞する機会も準備してみたい。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。そして、われわれにとっての“より良い”社会とはどのような社会であるのかといった事柄にも思いをめぐらしてみたい。

〈履修条件と成績評価〉

履修条件は特にないが、教場では私語を慎むこと。また必要に応じて、出欠の点検を行う場合もある。成績の評価基準や答案作成の注意は、年度末試験の2週間ほど前の授業で説明する。

〔教科書〕なし

〔参考書〕必要に応じて講義のなかで紹介する。

国民所得論

吉野 紀

220万の法人企業、6,200万人の就業者、そして4,200万の世帯、これらの間でさまざまな生産

活動や取引が営まれている。これに政府や海外取引を含めると、日本経済では正に無数といってよいほどの取引関係が日々結ばれていることになる。これらの取引関係は複雑に入りこんでおり、その1つ1つを追跡すると、経済という森に歩み入って、森全体の状況についての認識に到達することが難しくなる。そこで、森の上に飛び上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。こうして、上空から眺めると複雑に入りこんだ諸取引はいくつかの類似した性質を共有するグループに分けられることに気付くであろう。このような諸活動の1年間の成果が、たとえば、日本経済の場合、国民総生産（GNP）440兆円に結実してゆくのである。

「国民所得論」はこのような視点に立脚した経済分析方法である。しばしば、マクロ（巨視的）分析とよばれる所以である。モデル・アナリシスと、現実に観察される日本経済との対応が常に懸けられるであろう。

〈授業計画〉

「国民経済計算」……………5回

GNP、GDPなど、国民経済全体をとらえるための経済指標の理解と、さまざまな諸取引間の相互関係をとらえることが主題となる。

「平成2年日本経済の循環図」（配布資料）

『国民経済計算の知識』西嶋・藤岡（日経文庫）

「総需要、均衡産出量、均衡所得……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に即して説明される。このテーマの終了後、練習問題が宿題として課される。解答と解説は授業中に示される。

『入門マクロ経済学』中谷（日本評論社）第3章

「貨幣・利子率および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣のはたす役割が導入され、前回までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の置かれている現況との関わりが登場する機会も徐々に増えてゆくであろう。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題が宿題として課される。正解と解説は授業中に示す。

「金融政策、財政政策」……………4回

前回までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。ただし、金融政策、財政政策ともに、その効果という点では1律ではなく、機動的なポリシー・ミックスが望まれる、といった点にも触れなければならない。

『マクロ経済学（上）』ドーンブッシュ・フィッシャー（マクローヒル）第4章

「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」  
..... 4回

これまでに扱われてきたのは、財やサービスの取引と貨幣市場であったが、これに労働力市場が明示的に組み合わされる。

「最終講義」..... 1回  
平成5年日本経済の予想。

海外経済との関わりは、主に為替レートを中心にここで触れられる。

〈成績評価〉

期末試験 ..... 85%

2回の練習問題の提出（2回とも提出することが条件） ..... 15%

なお、練習問題を教場で黒板に解答して見せてくれる学生諸君（年間15名前後）には、学生諸君全体の意見を反映しつつ別途配点することもある。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 中国経済論

小杉修二

1. 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6・4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

2. 前期授業のはじめに、キー・ワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

3. 2につづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)鄧小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というもの、あまりに近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在

および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれまいであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

4. 上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また、中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

5. 授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ（1-201または1-301教室）上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオをみる。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

6. 受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である（学説の受け入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

7. 学習が正解当てクイズに終るかどうかは諸君の学習意欲にも関わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

〔教科書〕小杉修二著『現代中国の国家目的と経済建設—超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）¥3,300

## アジア経済論

小林英夫

今日ほどアジアが注目されるようになった時期もめずらしい。アジア一般というより、その目ざましい経済成長が注目されたのである。1970年代は韓国、台湾、香港そしてシンガポールが、そして80年代後半になるとタイやマレーシアといったアセアン諸国が、その高成長のゆえに注目された。韓国をはじめとする4ヵ国は、一つの高成長グループとしてくられ、その名をニックス(NICS)と称された。

では、なぜ、この時期、アジアで経済成長が生じたのであろうか。それは、どのような歴史を背景に生まれたのか。そして、こうした成長地域の出現は、世界政治と経済にどのような影響を与えたのであろうか。アジア経済論は、こうしたアジアの経済成長の歴史的背景と現状そして将来を展望し、それが日本と世界の政治、経済に与えたインパクトを考察することにある。

授業は、講義形式で行なう。ただし、原則として年間2回外部講師をまねいて、実際のアジアの実情を紹介してもらっている。昨年は残念ながら実現できなかったが、一昨年は野村証券の調査員にシンガポールの金融事情を、ジェトロの調査員にマレーシアの実情を紹介してもらった。今年も同様の“アジア・ガイド”を計画している。

今年度の授業項目と授業スケジュールは以下の通りである。

4月

アジアの実情

5月～7月

日本とアジアの経済関係(戦後日本とアジアの関係を、I. 賠償過程、II. 借款過程、III. 直接企業進出の3期に分けその過程を追うと同時に、それが日本の産業構造に与えた影響について検討する。7月の夏休み前に、外部講師をよび、直接企業進出に的をしぼった、実態報告を行なう。

9月～12月

東南アジアの日本企業の活動(1972年以降開始された日本企業の東南アジアでの活動実態について、主に輸出加工区でのそれをめぐってその活動実態を検討する)

1月

まとめ(1年間の講義について、まとめを行なう)

授業の受講にあたっては、あらかじめ指示した教科書を講読しておくこと。テストは、夏休み直前と期末のテストの2回を実施し、両者の総合成績で決定する。

- [参考書] 小林英夫『戦後日本資本主義と「東アジア経済圏」』(御茶の水書房) ¥3,200  
小林英夫『東南アジアの日系企業』(日本評論社) ¥3,200

## 日本経済史

古庄正

幕末期の日本は、極東の一封建国家に過ぎなかった。にもかかわらず、開港後わずか数十年の間に日本は工業化を達成し、アジアにおける唯一の帝国主義国にのしあがった。幕末開港後のこうした日本経済の歩みを、出来るだけ系統的に、また分かり易くお話ししてみたいと思っている。お話す中身としては、今のところ次のテーマを予定している。

- (1) 幕藩体制の動搖
- (2) 開港と植民地化の危機
- (3) 明治維新
- (4) 明治政府の工業化政策
- (5) 政商と華族の資本蓄積
- (6) 農民の半プロ化と士族の没落
- (7) 自由民権運動と天皇制国家
- (8) 産業革命と工業化
- (9) 紡績業と製糸業の発展
- (10) 海運と鉄道の発展
- (11) 鉱山業と重工業
- (12) 寄生地主制と資本主義
- (13) 外国貿易の発展
- (14) 産業革命と公害
- (15) 産業革命と民衆
- (16) 日清・日露戦争と植民地支配

ところで、経済史をも含めて、いま、なぜ歴史を学ぶ必要があるのか。講義要綱を書くたびに、いつも気になるのはこの点である。経済史研究の究極的課題は、人類史の中で今われわれがどのような地点に立っているのか、また、どこに行こうとしているのかを、「経済の深み」から具体的・歴史的に明らかにすることにある。日本経済史の場合もちろんその例外ではない。かつて、圧政と貧困から人類を救い出す社会体制として期待された社会主義がソ連・東欧諸国を初めとして瓦解し、残存する社会主義大国中国も、ある種の資本主義国に転換しつつある今日、来し方は分かっても、行く末は不透明なものとなった。「昔は歴史というものがあったが、今はもうない」ということになるのかどうか、この点についての回答は近い将来には期待できそうもない。それだけに、歴史を学ぶ必要は一層強まった、と行ってよい。新聞を読んでいて「中国や韓国などアジアの人たち

と話していて感じるの、日本についての権威と信頼のギャップである。日本の権威は高まっているものの、信頼の方は逆に低下しているのだ」（『毎日新聞』1992・11・27）という記事が目に入った。「信頼は金では買えない」という表題のこの囲み記事で筆者が言いたかったことは、アジアの民は、日本が大国として行動することを受入れながらも、日本に対して不安と警戒心を強めている、ということであろう。第二次大戦中、日本はアジアの諸民族に計り知れない被害をあたえた。にもかかわらず、戦後半世紀たった今日でも戦後責任には目をつむり、その反面では、PKOへの参加を突破口として海外派兵の実績を積み重ねていることがその背景にある。特に植民地朝鮮からは、百万人を越える人々を軍人・軍属・従軍慰安婦・一般労務者として強制連行し、多くの人々を死傷させたにもかかわらず、日本政府と関係企業は何の補償もしなかったばかりか、謝罪さえ拒否してきた。軍の関与を示す決定的な証拠を突きつけられ、従軍慰安婦問題については一応「謝罪」し「真相究明と適切な措置」を約束したが、結局「真相究明」はせず、若干の補償金を支払うことで解決を図ろうとして、被害者と韓国政府の強い反発を招いている。日本政府と関係企業の韓国・朝鮮をはじめとするアジアの被害者に対するこうした傲慢な対応は、決して許されるべきではない。が、それと同時に、過去百年の日韓・日朝間の歴史についてのわれわれの無知・無関心が、これを放任していることも忘れてはならないだろう。日本が再びアジアの、そして世界の孤児にならないためには、日本政府と関係企業のこうした歴史認識を根本的に改めさせねばならない。しかし、そのためには、われわれ自身が歴史について無知・無関心であってはならない。歴史を学ぶことの必要性は、もちろんアジア諸民族との関係だけではない。国内問題についても同様のことがいえる。例えば、今日最大の社会問題となっている「環境問題」について、日本政府も企業もしばしば言及している。しかし「環境破壊」の主因をなす公害については、政府も企業も足尾鋳毒事件からは何一つ学ぼうとはしていない。水俣病患者の訴訟に対する冷酷な措置は、それを例証している。

## 中小企業論

三井逸友

「中小企業」を論じるというのは実は存外に容易ではない。世界的な「中小企業フィーバー」の続いた80年代をへて、今日こそさまざまな俗論や安直な先入観念を排し、きちんとした学問的方法と総合的でグローバルな現状認識をはかり、さら

に21世紀を展望した「政策観」をつくり上げていく必要がある。

日本の中小企業は約600万、企業の99%、従業員80%を占め、製造業中小企業に限っても80万をこえ、付加価値の50%以上を生み出している。つまり、日本の経済社会にとって中小企業はきわめて重要な「メジャー」な存在であるとともに、諸外国からうらやましがられる「日本産業の競争力」を支えているのである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が恵まれていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差、不利、経営不安などの「問題状況」も依然広くみられる。しかもこうした「期待」と「困難」の交錯する事態は先進国に共通して確認されているのである。

この講義ではこうした中小企業の存在状況と役割、当面する問題を概観し、次にこうした中小企業の存立と問題性をめぐるこれまでの理論・研究を批判的に検討し、「中小企業問題」の二面性と、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけを明らかにする。講義の後半では、「下請制」、「地場産業産地」などの中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追い、結合生産力の「効率性」と、これに対する競争と統制・管理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうえでの問題状況を示す。事態は独占大企業の「支配・利用」と「過剰・淘汰」の間で現われるのである。さらにこうした「中小企業問題」に対応して展開されてきた「中小企業政策」の国際比較研究を行い、「生産力」的に成功を収めてきた日本の「中小企業近代化政策」の特徴と限界、これに対する欧米の政策の相違点と近年の「収斂傾向」を解明する。加えて補論として、最近の政策課題として注目される、分業にもとづく結合生産力の目的意識的な組織としての、企業間連携・共同促進策、新規開業促進策、そして「基本法30年」での中小企業政策の見直しの動きについてもふれてみたい。

授業は主に講義の形で進めるが、企業経営のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、企業経営者の方の話などもとり入れたい。その中で産業分析の基礎知識も伝え、さらに担当者の世界各地や全国での見聞も活用する。

<構成予定>

- I. 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況
- II. 「中小企業論」研究の方法と「存立」論・「問題」論
- III. 中小企業の現代的存在形態
- IV. 「中小企業政策」の展開と国際比較

なお、毎年夏休みには、補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。成績評価は、他の

専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。

〔教科書〕三井逸友『現代経済と中小企業』  
(青木書店) ¥2,800 (税抜)

〔参考書〕巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』  
(有斐閣)

中小企業庁編『中小企業白書』

〔各年次〕

『エコノミスト増刊, 図説日本経済  
1993』(毎日新聞社)

## 教育経済論

や しき  
谷 敷 正 光

### 〈授業内容〉

経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について考察する。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を究明するとともに、2,000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2,000年のアメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランス「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした各国の経済再建と教育改革の動向と、日本の現状をまず考察する。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した復興期から平成景気までを中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の教育要求と国の教育政策、産業教育政策を考察する。

### 〈授業形態〉

講義の他、年間5～6回程、その都度現実的理解のために視聴覚教室でビデオを使用する。

### 〈授業項目と授業スケジュール〉

- (1) 欧米先進国の経済の現状と教育  
①アメリカ, ②イギリス, ③フランス, ④ドイツ, ⑤日本
- (2) 戦前の経済発展と実業教育の振興  
①学制時代, ②学校令時代, ③実業学校令時代
- (3) 戦後の経済発展と産業教育の振興  
①復興期, ②高度成長期, ③1970年代,

④1980年代, ⑤1990年代

(1)(2)は前期に, (3)は後期に講義する予定。

### 〈履修条件〉

欠席しないこと。

### 〈評価方法〉

定期試験の成績

〔教科書〕特に使用しない。年間25～30枚のプリントを講義資料として配布する。

〔参考書〕豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』  
(東大出版)

文部省『産業教育百年史』

(ぎょうせい)

本庄良邦『産業教育体制研究』

(三和書房)

## アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をします。それとともに、アメリカのできごとと関係の深い世界の情勢を、ひろく検討します。

とりあげるテーマには、おおむね次のようなものを予定しています。

### 前期

#### 〔導入の話題〕

◇新大統領の経済政策とアメリカ経済の近況

#### 〔総論〕

◇アメリカ的特質

◇アメリカ経済の歴史的背景

#### 〔アメリカ経済各論〕

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家

◇アメリカの労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの金融

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

### 後期

#### 〔世界とアメリカ〕

◇国際通貨ドルの地位とIMF

◇アメリカと貿易(GATT)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

〔アメリカと世界の諸地域〕



- ◇アメリカとEC
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカと発展途上諸国
- ◇アメリカとカナダ・メキシコ

[むすびの話題]

- ◇アメリカの現状と経済学（あたらしい学派の見解）

講義では、一回ごとにひとつずつ（上記の◇）テーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

この講義を受講するためには、特別な経済学の予備知識などは必要ありません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥ふかく興味のつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものです。

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、楽しくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるように心がけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。今、どうしてもといわれれば、日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書です。

なお、この講義は、3年生、4年生いずれもが受講できることはいまでもありませんが、さきに述べたこの講義の性格からいえば、3年生のうちに受講することをすすめます。また、この講義

については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりです。

## 財務会計論

遠藤孝

### 〈授業の主たる内容〉

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計（FINANCIAL ACCOUNTING）について、その伝達、開示の手段である貸借対照表（BALANCE SHEET）、損益計算書（INCOME STATEMENT）を中心に、その性質、内容、役割などについて講義する。

財務会計論は会計学原理ともいえるもので、企業会計とは何か、企業が作成する貸借対照表などの決算書は、どのようにして作成されるか、それはどのような性質、内容をもつものであるか、それはどのような役割を果すものであるか、また決算書はどのように読んだら良いのか、など実例をもって説明する。

### 〈授業形態、講義〉

できるだけ多くプリントを配る予定。

### 〈授業項目と授業スケジュール〉

前期

- ① 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か、その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- ② 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- ③ 5月第1週  
財務会計の制度性について。企業会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- ④ 5月第2週  
先週に引続き、日本の企業会計制度の問題点、「企業会計原則」について。
- ⑤ 5月第3週  
貸借対照表論、貸借対照表とは何か。実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- ⑥ 6月第1週  
資産評価について。流動資産 — 棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- ⑦ 6月第2週

資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。

- ⑧ 6月第3週  
繰延資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- ⑨ 6月第4週  
引当金について、引当金とは何か、引当金の設定基準—商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- ⑩ 7月第1週  
同上
- ⑪ 7月第2週  
資本会計について。

後期

- ⑫ 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- ⑬ 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- ⑭ 9月第3週  
同上
- ⑮ 10月第1週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表(書)
- ⑯ 10月第2週  
同上
- ⑰ 10月第3週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- ⑱ 10月第4週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。
- ⑲ 11月第1週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- ⑳ 11月第2週  
同上
- ㉑ 11月第3週  
日本、世界企業会計の最新動向。
- ㉒ 12月第1週  
同上
- ㉓ 12月第2週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。  
—総括
- ㉔ 最終週  
予備

以上のスケジュールは学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

〈成績評価の方法〉

試験による。

〔教科書〕講義の際指示。

## 管理会計論

中原章吉

〈授業の主たる内容〉

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って始めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段上がってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。

「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期は、管理会計の本質、体系その中での意思決定会計と業績管理会計をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思ひます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。

「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

〈予め読むべき文献など〉

1年度で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思ひます。例えば、『企業会計の基礎構造』創成社

〔教科書〕中原章吉編著『経営財務と管理会計』  
(中央経済社)

## 会計監査論

飯岡透

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することにあり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化および企業活動の複雑化に伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。

本講座では、次の内容につき順次講義する。

1. 会計監査の意義と役割
  - (1) 会計監査の意義と機能
  - (2) 会計監査の種類
  - (3) 監査基準の必要性とその構造
2. わが国における監査制度の発展
  - (1) 戦前におけるわが国の監査制度の展開
  - (2) 戦後におけるわが国の監査制度の展開
3. 監査役と会計監査人
  - (1) 監査人の種類とその要件
  - (2) 監査役および会計監査人の選任と解任
  - (3) 監査役および会計監査人の職務権限
  - (4) 監査役および会計監査人の義務と責任
4. 監査証拠の種類と内容
  - (1) 監査証拠の意義と分類
  - (2) 合理的証拠とその決定要因
5. 監査手続の種類と内容
  - (1) 監査手続の意義と分類
  - (2) 監査手続の内容
6. 内部統制と試査
  - (1) 内部統制の意義と構成内容
  - (2) 内部統制の調査範囲と調査手続
7. 予備調査と監査計画
  - (1) 監査契約と予備調査
  - (2) 監査計画の目的と種類
8. 監査調書の目的と種類
  - (1) 監査調書の目的と作成要件
  - (2) 監査調書の種類と保存
9. 監査報告書と監査概要書
  - (1) 監査報告書の意義と機能
  - (2) 監査報告書の種類
  - (3) 監査報告書の記載内容
  - (4) 監査概要書の目的と記載内容

会計監査は、財務諸表の適否についての意見表明を目的とするものであるから、簿記、財務会計論の講義を履修し、財務諸表について、十分に理解していることが望まれる。なお、成績は、レポートおよびテストの結果によって評価する。また、教材については、最初の授業時に指示する。

## 商 業 政 策

岩 下 弘

### <授業項目>

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 80年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策
  - 2 流通近代化政策
  - 3 流通システム化計画

- 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 79年改正法
    - 3) 91年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導=抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法  
街づくりと都市計画
- 五 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
    - 2) 日曜営業問題-商店法
  - 2 フランス-ロワイエ法
  - 3 ドイツ-土地利用計画
  - 4 アメリカ-ゾーニング規制
- 六 「大型店問題」と訴訟-中小事業者運動論
  - 1 大型店の出店をめぐる諸問題
    - 1) 社会問題としての大型店の出店
    - 2) 消費者と大型店
  - 2 江釣子訴訟
    - 1) 北上市の商業とジャスコの出店及びその影響
    - 2) 訴状と判決の問題点
  - 3 生業権訴訟
    - 1) 名古屋市の大型店問題
    - 2) 名古屋市の商業と小売市場
    - 3) 生業権論
- 七 流通問題と消費者保護政策
  - 1 消費者問題論
  - 2 消費者保護基本法
  - 3 消費者行政
  - 4 生協
- 八 流通問題と独禁政策
  - 1 独占禁止法
  - 2 不公正取引
  - 3 取引慣行

以上

### <成績評価>

試験、レポート、出席により評価する。

[教科書] 教科書は特に指定しない。必要な文献は指示する。

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って日本の対外経済関係（貿易、投資、援助）を批判的に考察したいと思います。その際、構造的に、また、人々の生活の実態に触れながら検討をすすめます。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 〈授業内容〉

- I. 農産物と貿易
- II. 水産物と貿易
- III. 林産物と貿易
- IV. 資源と貿易
- V. 工業製品と貿易
- VI. 援助と貿易
- VII. 企業進出と貿易
- VIII. 総括

I～VIIIの具体的な内容については、最初の講義のときに話したいと思います。

#### 〈評価方法〉

基本的にはペーパー・テストにより評価しますが、自主的にレポートを提出してもらい、それを含めて評価することも考えています。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたいと思います。思考の跡がうかがえないものは評価の対象にはならないでしょう。

#### 〈教材〉

とくにこれといった教科書はありません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえば内容は充分理解できると思います。講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいということがありましたら、遠慮なく話に来て下さい。いろいろな文献や訪ねたらよい機関を紹介します。講義の内容と卒業論文のテーマが関連しているということで研究室（第2研究室館4階34号室）を訪ねる人もいます。

1. 前期はマーケティングの基本政策を収奪構造の観点から解明する。

#### (1) 製品政策

- ① 概念と差別化政策
- ② 多様化・細分化政策
- ③ ライサイクルと計画的陳腐化政策

#### (2) 価格政策

- ① 概念と価格設定の方法(1)
- ② 価格設立の方法(2)と消費者支配
- ③ 差別価格と収奪

#### (3) チャンネル政策

- ① 概念と流通機構
- ② 商業の排除と系列化政策
- ③ 流通支配の形態

#### (4) 販売促進政策

- ① 概念と人的販売政策
- ② 広告政策と広告業界

#### (5) マーケティング・ミックス

※前期の講義のねらいは、マーケティングの基本理論を理解してもらうことにある。しかし、講義中は理論の説明に固執するわけではなく、とりわけ消費財のマーケティング事例を豊富に取り入れるつもりである。それは学生諸君が今後マーケティングを応用できる能力をつけることを期待しているためである。

2. 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングの分析を課題にする。とりわけ、総合商社を軸として、日本企業が激変する国際市場にどのように対応しているかを、マーケティングの観点から分析する。

#### (1) 激変する市場環境

- ① 国内市場の変化
- ② ブロック経済化
- ③ 経済規制の緩和

#### (2) 総合商社の新事業

- ① 川下戦略
- ② 消費財生産部門への参入
- ③ 新事業への対応政策

#### (3) 総合商社の国際マーケティング戦略

- ① 消費財マーケティングの展開
- ② 総合商社の需要創造活動
- ③ ネットワークと支配

#### (4) 総合商社と子会社

- ① 子会社戦略
- ② マーケティング管理と子会社

#### (5) 情報化戦略

- ① 国際化と情報の対応

- ② 通信事業と支配
- ③ 情報関連事業と支配

※地球規模での市場の変化は、日本企業だけではなく、世界の企業がマーケティングを限定した地域で展開することはできなくなっている。また、日本市場だけを考えても、生産から消費までを考えなければならないマーケティングでは、国際マーケティングを抜きには論じられなくなっている。そのなかで、日本企業の国際マーケティングに総合商社は深く関与している。したがって、総合商社の行動を分析することで、総合商社の国際マーケティングはもとより、日本企業の国際マーケティングの実態を解明することにねらいがある。

#### 〈評価の方法〉

- ① 年一回の定期試験…70%
  - 夏休中の課題 …20%
  - 出席状況 …10%
- ② 評価基準
  - 講義内容の理解 …60%
  - 問題意識 …30%
  - 分析力・応用力 …10%

〔教科書〕 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）¥4,000

〔参考書〕 三浦信・来住元郎・市川貢『マーケティング』（ミネルヴァ書房）¥2,200  
石原武政『マーケティング競争の構造』（千倉書房）¥2,800

### 原価計算論

加藤利安

#### 〈基本的な視点（問題意識）〉

経済的、社会的環境の構造的変化（たとえば、為替相場の変動、国際貿易摩擦、国際化、ハイテク化、高度情報化、経済のソフト化やサービス化、高齢化、就業意識の変化、消費者の価値観の多様性、女性の社会進出、環境問題の対応）によって抜本的な経営改革の必要性の強調＝リストラクチャリング（生産、販売システム等すべての事業組織の再構築）とグローバル経営が標榜されている今日、これら経済的、社会的環境の構造的変化は企業会計の研究にとっても無関係ではないだろう。もし、そうであるならば、それは原価計算の領域にとってもあてはまるだろう。なぜならば、原価計算は計数的技法として企業会計の一領域を形成し、諸種の計算目的の達成を通じて企業経営組織に貢献するものと考えられてきたし、また今後ともそうであると考えられるからである。

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的

手段体系として、その成立の当初から現在に至るまで、さまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に答えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果す目的を5つ列挙している。換言すると、ここでは財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに、最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が議論されている。このように、一定の時代的環境状況の認識の下である特定の社会的役割を果すべく設定されてきた「原価計算基準」も、変容した今日的な経済的、社会的環境下においてその現実的課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしているが、一定の経済的、社会的環境の下で企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、計数的技法としての原価計算が当該目的達成のための手段であるとすれば、目的手段体系の因果的把握が可能となるのではないだろうか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の「原価計算基準」を所論展開の出発点としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを会計現象の一つとして捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することを心掛けることにした。

#### 〈授業計画〉

前期では、原価計算の基礎的考察として原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算について検討を加える。

#### 〈評価方法〉

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験を行う。

〔教科書〕 最初の授業前に指示する。

〔参考文献〕 授業時に適宜挙げる。

## 労務管理論

前期：石井 脩 二  
後期：庄 村 長

### 〈講義目的〉

日本経済の繁栄を支えてきた日本企業の存在意義が問われはじめている。国際的には依然としてくすぶり続ける経済摩擦や経済ブロック化への動き、国内的には政財界ゆ着による倫理性のない企業犯罪の頻発、過労死や長時間労働に示される労働生活の貧しさ、いわゆるバブル崩壊に伴う企業業績の悪化といった情勢のなかで、あらためて日本企業のあり方が問われている。日本企業をとり巻くこれらの環境変動は、今後どのような方向へ進んでいくのかという「将来予測」を難しくしている。この変化の激しい時代に必要なことは、現実に生起している事実を可能な限り把握し、そのなかで次なる時代の方向を自分なりに見定めることである。この講義の目的は、日本企業の現実に焦点を併せ、これから到来するであろう社会がいかなる様相をもつことになるかを考えるための情報を提供することにある。

### 〈講義内容〉

企業は、一般にヒト・モノ・カネ・さらに情報といったさまざまな経営資源を調達・購入し、その効果的な組み合わせによって目的とするものを実現していく。日本企業が国際的に強い競争力を発揮しえたのは、これら諸資源のうちヒト資源つまり人的資源の活用 of 卓越性によるといわれている。企業活動のうちで人事・労務管理といわれてきたものが専らこのヒト資源の有効利用に関係している。

ところが現在、日本企業がつくりあげてきた強い競争力そのものが問われはじめている。このことは、競争力の源であった日本企業での人的資源管理つまり人事・労務管理そのものが妥当性を問われているということにほかならない。この講義では、日本企業が直面している企業環境の変化のなかで、どのような人的資源管理が展開されようとしているのかを極力最新の情報によりつつ明らかにし、新しい制度・方式の展開の先にどのような日本企業の将来が浮上してくるかを考える。

前期は、人的資源管理に関わるもののうち、一般に「雇用管理」といわれている領域の問題を扱う。雇用管理とは、企業が必要とする量と質の人的資源を調達し育成する一連の計画的・組織的活動である。この雇用管理を貫いていた原理・原則は、周知の終身雇用慣行であり、年功制度であった。しかし、今日、日本企業を取りまく環境変動は、従来の雇用管理の原理・原則をゆり動かし、解体の様相さえみせはじめている。この講義では、その変動に関する事実情報を可能な限り把握し伝

えようというわけである。講義は、以下の順序で進めていく。

### 序 章

労務管理ないし人的資源管理とは（4月）

### 第1章

日本企業が直面している諸問題（4月～5月）

第1節 企業環境の変化と日本企業の戦略転換

第2節 事例研究

### 第2章

雇用管理の内容と新しい動き（6月）

第1節 募集・選考

第2節 教育訓練・配置

第3節 昇進・昇格

第4節 給料・報酬

第5節 労働時間

第6節 定年退職

### 第3章

人事制度の新しい展開（6～7月）

第1節 変化を促進した要因

第2節 具体的制度とその有する意味

### 〈授業方式〉

授業は、講義方式、板書。出欠にはこだわらない。但し前期・後期それぞれに試験を行う。

### 〈成績評価〉

前期（50点）、後期（50点）を総合して判定する。試験内容の評価は、答案の論理性と説得性にもとづく。勿論、講義内容をふまえていることを条件とする。優・良・可・不可の配分は行わない。全員の答案がすぐれていれば全員が優と判定されることもありうる。また、その逆も極端な場合には生じうる。

### 〔教科書・参考書〕

テキストは使用しない。しかし、以下の文献は必読。

①日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』（日本経済新聞社）¥2,800

②日本経済新聞社編『会社解体新書』（日本経済新聞社）¥1,300

③日本経済新聞社編『テラスで読む当世労働事情』（日本経済新聞社）¥1,300

④佐野陽子『企業内労働市場』（有斐閣）¥1,700

## 行政法Ⅱ

齊藤 寿

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・営造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて学んでいきます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間(環境)形成行政法などにも、およぶ予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕『現代行政法論』(勁草書房)、  
『行政法Ⅰ・Ⅱ』(評論社)など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

## 民法Ⅳ(1)

青山尚史

生活の基盤であり根源をなす家族生活を規律した親族法は、最も身近な法律である。講義では、夫婦・親子・親族を中心としつつ、民法全般の基礎知識をも加えるつもりである。すなわち、民法総則の簡単な説明、ついで物権と債権につき必要最小限度の説明、そして親族法に大部分の時間を充て、最後に時限の残余状況により相続法の概要を体系的に説明しようと考えている。

〔教科書〕鍛治良堅著『親族法講義』(啓文社)

## 民法Ⅳ(2)

青山尚史

民法Ⅳ-(2)は、相続法(民法典第5編 882条～1044条)である。親族法が人間生活の基礎であり根源をなすところの種族保存の生活関係を直接規律する純粹身分法を中心とするのに対して、相続法は親族生活の裏づけをなす身分財産法が中心となる。民法第5編は、大別すると、相続法と遺言法そしてこの両者の調節機能を果たしている遺留分法とから成り立っている。

〔教科書〕鍛治良堅著『相続法講義』(啓文社)

## 比較憲法

竹花光範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは
2. 憲法概念と分類
3. 国体と元首(共和制と君主制、元首、国の

シンボル等)

4. 統治の原理と構造(民主政治の基本原則、議院内閣制と大統領制、一院制と二院制、社会主義国における議会制度等)

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

## 経済法

川井克倭

経済法—独占禁止法を中心として—

第1部 経済法概説。経済法とは何か。経済法と競争政策。経済法における独占禁止法の位置づけ。

第2部 独占禁止法。独占禁止法の目的。その他私的独占、カルテル、企業結合、独占的状态、不公正な取引方法等について、なるべく条文に即して講義する。

このほか、最近でいえば経済の国際化を迎えて、国の内外で競争政策に対する関心が高まっている。日米構造問題協議しかり、臨行審の公的規制の見直ししかりである。このようなアップトゥデートの問題に対して講義し、学生の社会的問題に対する学問的素養を高める。

〔教科書〕川井克倭著『競争政策法概説』(高文堂) ¥3,600

〔参考書〕講義の中で紹介する。

川井克倭著『カルテルと課徴金』

(日本経済新聞社)

川井克倭著『いやでもわかる公取委』

(日本経済新聞社)

## 国際関係論

首藤素子

第1に、冷戦後の国際関係の特徴と問題についてできる限り具体的に現状分析をする。第2に、戦後日本の対外関係について、日米経済摩擦、東南アジア諸国に対する援助の2点を中心に、これでもできる限り新しい資料をふまながら問題の所在を理解できるようにしたい。第3に、現代の国際関係における紛争の問題について、とくに南北問題及び第3世界諸国における紛争と軍事化の構造をとりあげ、暴力と平和の問題に対する関心を深めるようにしたい。

〔教科書〕細谷千博・臼井久和編『新版 国際政治の世界』(有信堂高文社) 1993年

〔参考書〕有賀貞他編『講座 国際政治』(東大出版会) 1989年(第2, 3, 4巻)

## 西洋政治史

浦田 早苗

世界は今、大きな転換期にある。冷戦構造の崩壊と社会主義体制の変革、高度産業化に伴う社会の変質などによって、国家や政党、制度や組織、国民や民族などの近代政治の概念に基本的な検討がせまられている。講義では、歴史政治学的アプローチに則った大局的視方から現在ヨーロッパで問題になっている制度や事件の検討を行う。

## 宣伝広告論

上 條 末 夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人との関係をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕その都度指示する。

## 政 党 論

岩 井 奉 信

政党は民主政治の要であるといわれてきた。事実、民主主義国家で政党を主体とする政治が行われていない国はない。しかし、近年、社会的価値の多元化と共に従来の政党政治のあり方が大きな曲り角に来ているともいわれる。本講義では変貌する政党政治という視点から政党とは何か、政党制と選挙システム、政党組織形態などという基本的な問題を論じた上で、日本における政党と議会政治との関係とその変化について、実証的に学んでゆく。とりわけ自民党とその政治のあり方については最新の資料やデータを用いて、派閥や族議員の問題など今日的なテーマを取り上げ、具体的にかつ体系的に論じてゆく予定である。

〔教科書〕岩井奉信『国会議員の研究』（日本経済新聞社）近刊

岡沢憲芙『政党』（東京大学出版会）

〔参考書〕岩井奉信『族議員の研究』

（日本経済新聞社）

岩井奉信『政治資金の研究』

（日本経済新聞社）

## 経 営 統 計

後 藤 儀 一 郎

統計学、特に推測統計学の知識は経営学あるいは経済学の分野においても広く用いられている。統計学は、もはや資料の収集とそれを表や図で表わすだけのものではない。不確実性と危険を含むあらゆる状況を理論的かつ組織的な方法で考察する。推測統計学の理論を学びながら、それらが実際においてどのように応用（たとえば統計的品質管理）されるかを学習する。

〔教科書〕吉野紀・後藤儀一郎著『現代統計解析』（芦書房）¥2,700

## 国際経営論

桑 名 義 晴

われわれの住む地球は、かつての人間が想像もしなかったほどに時間的にも空間的にも狭くなっている。このため現在、世界の企業の国際化やグローバル化も非常に活発になってきている。とくに近年の日本企業は、地球規模で事業活動を展開するようになってきている。

本講義では、近年の日本企業にとって最も重要な経営課題の1つになってきている国際経営の諸問題を多面的な角度から検討していく。たとえば、国際環境の激変と政治リスク管理、グローバル競争戦略、国際情報システム、国際経営組織、国際人事管理、日本の経営の国際的適用性などの諸問題を、日本や欧米のグローバル企業のケースも織り込みながら講義していく予定である。

〔教科書〕中村久人・桑名義晴『最新国際経営論』（中央経済社）¥2,800

〔参考書〕講義中に紹介します。

## 保険経営論

石 名 坂 邦 昭

今日、日本経済は世界的な景気の停滞と貿易摩擦の激化から輸出の減少傾向となり、一方国内の個人消費、住宅投資、設備投資が伸び悩むなど景気回復に暗い材料が多い。こうした中において高齢化問題など企業が克服しなければならないリスクが山積されている。そこで本講義においては、いかに各企業が企業危険に対処したらよいかといった観点から、リスク・マネジメントおよび保険を科学的にかつ実際的问题を取りあげながら行う。



〔教科書〕石名坂邦昭著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）¥2,500

### 財務会計論

渡 邊 恵一郎

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の財政状態と経営成績を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を持つ経営者が、投資者、債権者、その他企業活動に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が貸借対照表、損益計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規を取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

〔教科書〕染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

### 経営分析論

片 桐 伸 夫

経営分析の方法を大略、以下の要領で講義する予定ですが、特に伝統的、基本的方法である収益性、流動性の分析にポイントを置きます。

1. 収益性分析
2. 流動性分析
3. 生産性分析
4. 成長性分析

〔教科書〕開講の時指示します。

### 税務会計論

高 木 克 己

我々が社会生活を送って行く上で、一生逃れることが出来ないものに税の問題がある。その中で特に重要な位置を占めている法人税法を中心に講義を行う。法人税法の中心課題である課税所得計算の構造を明らかにし、企業会計と税務会計の考え方や処理の違いを、広範な事例を解説しながら講義を進めて行く。なお、テキスト、参考書は開講時に指示する。

### 経営労務論

中 村 眞 人

企業社会と言われる今日の日本社会で、人々はどうのように働き、生活を支えているのだろうか。企業を社会経済のなかに位置づけた上で、企業に働く人々の仕事の現実について考えていきたい。現代日本企業の労務管理諸制度と労働問題を考察の素材とする。

はじめに、問題をとらえるための基本的枠組として、労働市場と分業について話す。つづいて、雇用管理（人事管理）、賃金、労働時間、労使関係という個別の事柄へと話を進めていく予定である。

### 商 業 史

山 田 勝

現代商業の生成過程を、貿易を中心に講義する。特に商人（社）を中心にすえ、現代商業との関連に留意しつつ行う。対象とする時代は欧米については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕開講時に指示する。

### 国文講読Ⅰ（上代）

佐 原 作 美

『万葉集』の中から代表的歌人である柿本人麻呂や山上憶良などの歌を中心に鑑賞しながら講読していきたい。

〔教科書〕土橋 寛編『作者別 万葉集』（桜楓社）¥1,600

### 国文講読Ⅱ（中古）

鈴 木 裕 子

今年度は、『源氏物語』を、若紫巻から読む。本文を正確に読みながら光源氏の青春期の喜びや苦悩というものについて考えてみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『源氏物語』一（新潮社）

国文講読Ⅲ（中世）

菌 部 幹 生

『発心集』を読む。本作品は鴨長明の有名な説話集であるが、本講座では、著者の思想そのものよりも、一つ一つの説話が担っている歴史的背景や意味、及び他作品との関連について考えてみたい。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕その都度指示する。

国文特講Ⅴ（近・現代）

大 室 英 爾

島崎藤村の作品を読む。その人間と文学の統一されたかたちを長い作家生涯をかけてどのように作りあげていったか。詩及び散文の読みを通し、彼をとりまくあらゆる「外圧」を視野に入れつつ考えていきたい。本年度は「春」が中心となろう。

〔教科書〕各種文庫本。開講時に指示。

国文講読Ⅳ（近世）

清 田 啓 子

安永天明期の知識人の機智をあつめて成立した黄表紙を、その生成から完成、下降まで、作者の個性を追いながらたどってみたい。

〔教科書〕プリント

英文タイプライティングⅡ

竹 内 美 恵 子

一年次に習得した基礎の上に、レター、各文書を中心に実務的な内容を学んでいきます。プリントしたものを課題とし、一定の時間内に文書等の処理ができるように授業を進めていきます。

なお、他学部の学生は、ブラインド・タッチをマスターしていること。

国文講読Ⅴ（近・現代）

田 澤 英 藏

「吾輩は猫である」（夏目漱石）を通読する。また、同じ頃に書かれた「倫敦塔」「カーライル博物館」などにも触れてみたい。

〔教科書〕開講後に指示する。

時 事 英 語

岡 本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してくること。

〔教科書〕テープ使用。

国文講読Ⅴ（近・現代）

尾 形 国 治

明治・大正・昭和期の名作を1年間でおよそ12～3作品じっくりと読む。作者とその時代、生い立ちの問題、さらにはその文学的特色と可能性、その限界など、さまざまな角度から考察してみたいと思う。

〔教科書〕各種文庫本

英語演習Ⅰ（ディクテーション）

岡 本 誠

慣用句の成立背景を歴史的にみていく。例えば、OKという言い方はどのようないきさつで成立したのか。あるいはmaverickとはどうして「一匹狼」の意味になったのか。これを全講義ディクテーションで行なう。紙と鉛筆それに辞書を持ってくること。各自TOEFL 500点以上をめざしてほしい。

〔教科書〕テープ使用。

## 計算機言語概論

杉 田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語であるBASICを中心に、アルゴリズム的発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行う。

1. コンピュータ言語の基本理論
2. BASIC 言語
3. パーソナルコンピュータ (PC-9801)による  
実習

〔教科書〕コンピュータ教育工学研究所編  
ガイドブック『BASIC』  
(サイエンス社) ¥1,854

## 臨床放射線特論 I

本 間 襄

医療の中で、診療録・依頼箋の内容を理解し、相互のコミュニケーションに欠かせない外来医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

他学部履修では、将来病院や医学関係の仕事につく人に必要な知識といえる。

〔教科書〕定めず

## 応用計測学

櫃 尾 英 次

医用画像診断装置は、コンピュータ技術の進歩と共に診断には不可欠なものとなってきた。この講義では、核医学機器（ガンマカメラ、シングルホトンECT、ポジトロンCT）、X線CT装置、MRI装置のハードウェアとソフトウェアについて概説する。また超音波診断装置、DSA、CRならびにPACSについても、その概要を講述する。

〔参考書〕岩井喜典他編著『医用画像診断装置』  
(コロナ社)



教職および資格講座  
(国文科・英文科)

教 職 課 程  
学校図書館司書教諭講座

## I 教職課程

### (1) 教職に関する専門科目（必修）

教育原理（国）（上岡 安彦）	1
教育原理（英）（北村 三子）	1
教育心理学（教育方法論を含む） （国眼 真理子）	1
青年心理学（教育方法論を含む） （小宮山 要）	1
国語科教育法（鈴木 裕子）	1
英語科教育法（梅原 敏弘）	1
特別活動（原口 盛次）	1
生活指導（佐藤 尚人）	2
道德教育の研究（坂本 信昭）	2
教育実習（国）（坂本 信昭）	2
教育実習（英）（村山 輝吉）	2

### (2) 教職に関する専門科目（選択）

教育関係法規（広沢 明）	3
図書館学Ⅰ（山崎 慶子）	(3)
図書館学Ⅱ（山崎 慶子）	(3)

## II 学校図書館司書教諭講座

図書館学Ⅰ（山崎 慶子）	3
図書館学Ⅱ（山崎 慶子）	3

※（ ）頁は他の課程・講座と兼用科目のため、  
講義内容は主たる課程・講座にのみ掲載し、  
その頁を表示している。

# I 教 職 課 程

## (1) 教職に関する専門科目（必修）

### 教育原理(国)

上岡安彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次に、出てくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕『エミール』（上・中・下）  
（岩波文庫）

上 ¥590 中 ¥520 下 ¥520

### 教育原理(英)

北村三子

女性史や女子教育史などの文献を読み、女性にとって教育とは何であったかを考えてみたい。

### 教育心理学（教育方法論を含む）

国眼眞理子

教育心理学は、教育という場に応用された心理学である。したがって広汎な領域が含まれるが、中学の免許状取得を念頭において、「青年期」、「心の健康」、「対人関係とパーソナリティ」、「学習意欲と教育評価」の四領域を重点的に学び、考えていきたい。

### 青年心理学（教育方法論を含む）

小宮山 要

前半では青年期の発達課題、自我、感情、知性等について考察する。また、後半では親子関係、

恋愛・結婚、職業、問題行動、時間的展望等について検討し、自己と他者の理解を深めていく。  
〔教科書〕使用しない。

### 国語科教育法

鈴木裕子

平成五年度より、新学習指導要領が全面実施となる。本講座では、その解説をはじめとして国語科教育の内容を概説し、実際に中学校教科書を用いての模擬授業を行い、実践に備えたい。

〔教科書〕全国大学国語教育学会編『新版 中学校・高等学校 国語科教育研究』  
（学芸図書株式会社）

〔参考書〕『国語Ⅰ』（光村図書出版株式会社）

### 英語科教育法

梅原敏弘

英語教師になるためには、英語の能力はもちろんのこと、英語教授法の知識、英語圏の文化に対する幅広い知識、教育機器に対する関心等、様々な能力や知識が必要とされる。本講義では、教授法の解説を中心にしながらも、海外におけるESLの現状等、英語教育に関する様々な問題を具体的にとりあげて、検討していくことにする。

〔教科書・参考書〕教場にて指示する。

### 特別活動

原口盛次

特別活動は各教科や道徳とともに、教育課程の一領域として、全人的な人間形成に重要な役割を果たしている。このような特別活動の理論と実践についての研究を行うが、主として次のような諸問題を扱う。

(1)特別活動の教育的意義、(2)特別活動の目標と特質、(3)特別活動の内容と特質、(4)指導計画の作

成と内容の取扱い, (5)集団活動の理論と実践, (6)生徒指導の理論と特別活動, (7)学校・学級経営と特別活動, (8)特別活動の今後の課題

また, これらの研究を通して, 特別活動についての指導力, 実践力を身に付けることを目指すものである。

- 〔教科書〕○『特別活動の研究』(教育出版)  
○文部省『中学校指導書特別活動編』(ぎょうせい) ¥80

## 生活指導

佐藤尚人

児童・生徒の教育を考える時, 教科学習の指導はもちろん, 学習がスムーズに行われるための環境づくり, わけても1人ひとりの子どもの学習への積極的な姿勢を導き出すことは極めて重要である。

本講義では, 友だちができない・学習に集中できない・登校拒否・非行など具体的事例をもとに, 子どもの精神発達の道すじを理解し, 教師として子どもにどのように関わってゆくかについて考える。

教科書は使用せず, 講義ノートに基づき進めてゆく。

- 〔参考書〕大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) ¥2,200

## 道徳教育の研究

坂本信昭

明治「学制」以降, 今日に至る道徳教育の史的変遷にそって検討し, ことに学校教育における道徳教育の成立過程と事情について探究したいと思う。参考書については, 授業で適宜紹介する。

- 〔参考書〕教師養成研究会『道徳教育の研究』(学芸図書) ¥650

## 教育実習(国)

坂本信昭

教育実習前の段階では, 教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し, 教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は, できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は, 口頭報告, レポート作成-提出, 教育問題にかかわるVTRの視聴, グループ編成による授業(ディスカッション)を行い, 教育への理解を深め, 望ましい教師像について一緒に考えたいと思う。

- 〔参考書〕大村はま著『教えるということ』

(共文社) ¥480

田村皖司他著『きょういく』ビジュアルノート(エイデル研究所) ¥1,800

西村絢子他『現代教育を考える』

(昭和堂) ¥2,600

## 教育実習(英)

村山輝吉

学生が教育実習に主体的にとりくみ, 教育実践について理解を深めるよう, 年間を通じ次の事項をとりあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで, 講義, 討議, レポート作成, 面接指導等, 適宜の方法と形態で進めていく。



## (2) 教職に関する専門科目（選択）

教育関係法規

広 沢 明

憲法，教育基本法，子どもの権利条約など教育に関する基本法規につき，具体的事例に触れながら講義を行なう。校則，体罰，内申書，日の丸・君が代，教科書検定，学校事故，障害児教育，民族教育など今日的な教育問題について，法的観点から検討をしたい。

〔教科書〕 開講時に指示する。

〔参考書〕 開講時に指示する。

図書館学 I

山 崎 慶 子

(P. 3) 参照

図書館学 II

山 崎 慶 子

(P. 3) 参照

## II 学校図書館司書教諭講座

図書館学 I

山 崎 慶 子

小学校，中学校，高等学校各々の学校の教育目標を達成するために学校図書館はなくてはならぬ設備である。

人格形成期にある児童生徒たちが，多くの事を学び教養や趣味を豊かに育てるためには教科書の他にたくさんの資料が必要となる。児童生徒たちが生涯にわたって学ぶことの面白さを知る魅力ある学校図書館はどうあるべきか，そのためにはどのような研究や工夫が必要か。学校図書館を預り教員の中心的存在として活躍する司書教諭の職務内容全般について，特に読書指導の意義及び資料利用の技能育成について考察を深めたい。

前期講義は「学校図書館通論」「学校図書館の管理と運用」，後期は「学校図書館の利用指導」「読書指導」。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』改訂版（学芸図書）¥1,442

図書館学 II

山 崎 慶 子

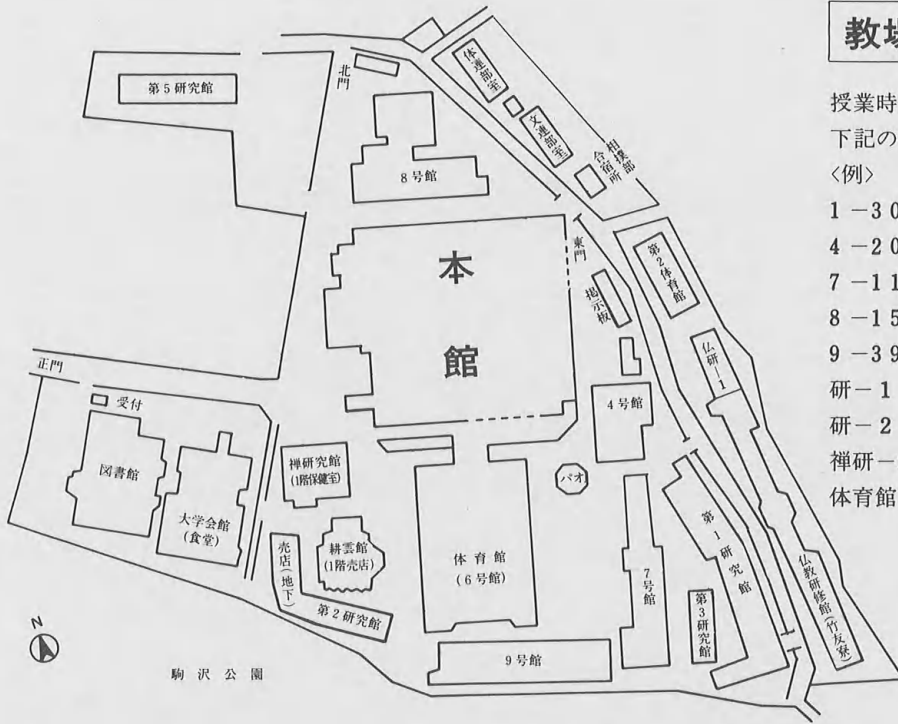
小・中・高校における教育活動の肉付けとなる教材資料のうちで最も基本的な図書資料を主とし，それに図書以外の資料を加えて，各種資料の収集・整理・利用のために必要とされる知識・技能の修得を目指している。

講義の内容は，「図書の分類」，「図書の目録」，「資料の選択」，「図書以外の資料の利用」である。目録の作成，資料の分類では演習を実施する。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』改訂版（学芸図書）  
全国学校図書館協議会『図書館学演習』（全国学校図書館協議会）



# 駒澤大学の構内図



## 教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

<例>

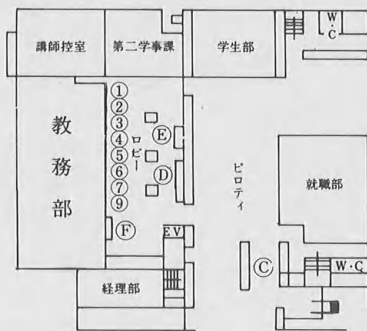
- 1-301 本館(1号館)3階
  - 4-204 4号館2階
  - 7-110 7号館1階
  - 8-150 8号館1階
  - 9-390 9号館3階
  - 研-1 第2研究館1階
  - 研-2 第2研究館1階
  - 禅研-201 禅研究館2階
  - 体育館 体育館2階
- (ただし選択種目により第2体育館になる)

## 各事務室・掲示板配置図

### 教務部窓口

- ①教職課程  
学校図書館司書教諭講座
- ②博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会教育主事講座
- ③科目等履修生聴講生卒業証書
- ④証明書(教務関係)申込受付・発行  
<健康診断書および在学証明書は学生部>
- ※ 諸証明书中込用紙は経理部前にあります。
- ⑤諸届願  
(休学・復学・退学・死亡改氏名・本籍地変更・保証人変更・保証人住所変更)
- ⑥大学院関係・留学生関係  
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦時間割変更・休講・外国語指定届  
卒業証書・転部転科
- ⑧履修・試験・成績・学業相談  
学部演習(仏教学部・経済学部  
法学部・経営学部)

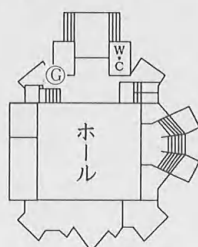
### 本館 1F



### 掲示

- Ⓐ第1掲示板(表面)  
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項、教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項、その他
- Ⓑ第2掲示板(裏面)ー臨時掲示板ー  
教務部関係連絡事項(12月~3月)  
就職部関係連絡事項(8月)
- Ⓒ第3掲示板ー臨時掲示板ー  
教務部関係連絡事項(12月~3月)  
就職関係連絡事項(4月~11月)
- Ⓓ休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- Ⓔ授業時間表カウンター・教場変更掲示板
- Ⓕ大学院・留学生関係掲示板
- Ⓖ国際センター掲示板
- Ⓗ留学生専用・海外留学掲示板  
学外諸機関からの案内・募集広告等

### 耕雲館 2F



### 体育館 1F

